

HP EliteBook ユーザー ガイド

© Copyright 2010 Hewlett-Packard
Development Company, L.P.

Bluetooth は、その所有者が所有する商標であり、使用許諾に基づいて Hewlett-Packard Company が使用しています。Intel は米国 Intel Corporation の米国およびその他の国または地域における登録商標です。Java は、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国またはその他の国における商標です。Microsoft、Windows、および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。SD ロゴは、その所有者の商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2010 年 1 月

製品番号：590177-291

製品についての注意事項

このユーザー ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターで対応していない場合もあります。

安全に関するご注意

-
- △ **警告！** ユーザーが火傷をしたり、コンピューターが過熱状態になったりするおそれがありますので、ひざの上に直接コンピューターを置いて使用したり、コンピューターの通気孔をふさいだりしないでください。コンピューターは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。通気を妨げるおそれがありますので、隣にプリンターなどの表面の硬いものを設置したり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。また、ACアダプターを肌に触れる位置に置いたり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものの上に置いたりしないでください。お使いのコンピューターおよびACアダプターは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment (IEC 60950) で定められた、ユーザーが触れる表面の温度に関する規格に準拠しています。
-

目次

1 機能

ハードウェアの確認	1
表面の各部	1
ポインティング デバイス	1
ランプ	3
ボタン、スイッチ、および指紋認証システム	5
キー	7
前面の各部	7
右側面の各部	9
左側面の各部	9
背面の各部	10
裏面の各部	11
ディスプレイ	12
無線アンテナ（一部のモデルのみ）	12
その他のハードウェア コンポーネント	13
ラベルの確認	14

2 無線、モデム、およびローカル エリア ネットワーク

無線デバイスの使用（一部のモデルのみ）	16
無線アイコンとネットワーク アイコンの確認	17
無線コントロールの使用	17
無線ボタンの使用	18
[HP Wireless Assistant]ソフトウェアの使用（一部のモデルのみ）	18
[HP Connection Manager]ソフトウェアの使用（一部のモデルのみ）	19
オペレーティング システムの制御機能の使用	19
無線 LAN の使用	20
無線 LAN のセットアップ	20
無線 LAN の保護	20
無線 LAN への接続	21
他のネットワークへのローミング	22
HP モバイル ブロードバンドの使用（一部のモデルおよび一部の国や地域のみ）	23
SIM の挿入	23
SIM の取り出し	24
Bluetooth 無線デバイスの使用（一部のモデルのみ）	26

Bluetooth とインターネット接続共有 (ICS)	26
無線接続に関する問題のトラブルシューティング	27
無線 LAN 接続を作成できない場合	27
優先ネットワークに接続できない場合	28
ネットワーク アイコンが表示されない場合	28
現在のネットワーク セキュリティ コードが使用できない場合	28
無線 LAN 接続が非常に弱い場合	29
無線ルーターに接続できない場合	29
モデムの使用 (一部のモデルのみ)	30
モデム ケーブルの接続	30
各国仕様のモデム ケーブル アダプターの接続	31
所在地設定の選択	31
現在の所在地設定の表示	31
旅行先の所在地の新規追加	32
国外での接続に関する問題の解決	33
ローカル エリア ネットワーク (LAN) への接続	35

3 ポインティング デバイスおよびキーボード

ポインティング デバイスの使用	36
ポインティング デバイス機能のカスタマイズ	36
タッチパッドの使用	36
ポインティング スティックの使用	36
外付けマウスの接続	36
キーボードの使用	36
ホットキーの使用	36
システム情報の表示	37
スリープを開始する	38
画面を切り替える	39
バッテリー残量についての情報を表示する	40
画面の輝度を下げる	40
画面の輝度を上げる	40
周辺光センサーの有効化	40
[HP Quick Launch Buttons] (HP クイック ローンチ ボタン) の使用	41
[HP Quick Launch Buttons]の[設定]の起動	42
[HP QuickLook]の使用	43
[HP QuickWeb]の使用	44
内蔵テンキーの使用	44
別売の外付けテンキーの使用	44
タッチパッドとキーボードの清掃	45

4 マルチメディア

マルチメディア機能	46
音量の調整	46

マルチメディア ソフトウェア	47
プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアへのアクセス	48
プリロードされているマルチメディア ソフトウェアのインストール	48
ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール	49
オーディオ	50
外付けオーディオ デバイスの接続	50
オーディオ機能の確認	50
動画	52
外付けモニターまたはプロジェクターの接続	52
外付けモニター コネクタの使用	52
DisplayPort の使用	52
DreamColor ディスプレイの使用 (一部のモデルのみ)	53
オプティカル ドライブ (一部のモデルのみ)	54
取り付けられているオプティカル ドライブの確認	54
オプティカル ディスクの使用 (CD、DVD、および BD)	54
正しいディスク (CD、DVD、および BD) の選択	55
CD-R ディスク	55
CD-RW ディスク	55
DVD±R ディスク	55
DVD±RW ディスク	55
LightScribe DVD+R ディスク	55
ブルーレイ ディスク (BD)	56
CD、DVD、または BD の再生	56
自動再生の設定	57
DVD の地域設定の変更	57
著作権に関する警告	58
CD、DVD、または BD のコピー	58
CD、DVD、または BD の作成 (書き込み)	58
オプティカル ディスク (CD、DVD、または BD) の取り出し	59
トラブルシューティング	60
オプティカル ディスク トレイが開かず、CD、DVD、または BD を取り出 せない場合	60
コンピューターがオプティカル ドライブを検出しない場合	61
ディスクが再生できない場合	62
ディスクが自動再生されない場合	63
動画が停止したりコマ落ちしたりする場合や、再生が不安定な場合	63
動画が外付けディスプレイに表示されない場合	63
ディスクへの書き込み処理が行われない、または完了する前に終了してし まう場合	63
デバイス ドライバーを再インストールする必要がある場合	64
最新の HP デバイス ドライバーの入手	64
Microsoft デバイス ドライバーの入手	64
Web カメラ	66
Web カメラ使用上の注意	66

Web カメラ プロパティの調整	67
名刺画像の取り込み	67

5 電源の管理

電源オプションの設定	70
省電力設定の使用	70
スリープの開始および終了	70
ハイバネーションの開始および終了	71
バッテリー メーターの使用	71
電源プランの使用	72
現在の電源プランの表示	72
異なる電源プランの選択	72
電源プランのカスタマイズ	72
復帰時のパスワード保護の設定	72
外部電源の使用	73
AC アダプターの接続	73
バッテリー電源の使用	74
[ヘルプとサポート]でのバッテリー情報の確認	75
[HP バッテリー チェック]の使用	75
バッテリー充電残量の表示	75
バッテリーの着脱	76
バッテリーの充電	77
バッテリーの放電時間の最長化	78
ロー バッテリー状態への対処	78
ロー バッテリー状態の確認	78
ロー バッテリー状態の解決	79
外部電源を使用できる場合のロー バッテリー状態の解決	79
充電済みのバッテリーを使用できる場合のロー バッテリー状態の解決	79
電源を使用できない場合のロー バッテリー状態の解決	79
ハイバネーションを終了できない場合のロー バッテリー状態の解決	79
バッテリー ゲージの調整	79
手順 1 : バッテリーを完全に充電する	79
手順 2 : ハイバネーションとスリープを無効にする	80
手順 3 : バッテリーを放電する	81
手順 4 : バッテリーを完全に再充電する	82
手順 5 : ハイバネーションとスリープを再び有効にする	82
バッテリーの節電	82
バッテリーの保管	83
使用済みバッテリーの処理	83
バッテリーの交換	83
AC アダプターのテスト	84

コンピューターのシャットダウン	84
6 ドライブ	
取り付けられているドライブの確認	86
ドライブの取り扱い	86
ハードドライブ パフォーマンスの向上	88
ディスク デフラグの使用	88
ディスク クリーンアップの使用	88
[HP 3D DriveGuard]の使用	89
[HP 3D DriveGuard]の状態の確認	89
[HP 3D DriveGuard]ソフトウェアの使用	90
ハードドライブ ベイ内のハードドライブの交換	91
アップグレード ベイ内のドライブの交換	94
ハードドライブの交換	94
オプティカル ドライブの交換	97
7 外付けデバイス	
USB デバイスの使用	100
USB デバイスの接続	100
USB デバイスの停止および取り外し	101
USB レガシー サポートの使用	101
1394 デバイスの使用	102
1394 デバイスの接続	102
1394 デバイスの停止および取り外し	102
eSATA デバイスの使用	104
eSATA デバイスの接続	104
eSATA デバイスの停止および取り外し	104
外付けドライブの使用	106
別売の外付けデバイスの使用	106
ドッキング コネクタの使用	107
8 外付けメディア カード	
メディア カード リーダーでのカードの使用	108
メディア カードの挿入	108
メディア カードの停止と取り出し	109
ExpressCard の使用（一部のモデルのみ）	110
ExpressCard の設定	110
ExpressCard の挿入	110
ExpressCard の停止と取り出し	111
スマート カードの使用（一部のモデルのみ）	112
スマート カードの挿入	112
スマート カードの取り出し	112

9 メモリ モジュール

拡張メモリ モジュール スロットのメモリ モジュールの追加または交換	115
メイン メモリ モジュール スロットのメモリ モジュールのアップグレード	119

10 セキュリティ

コンピューターの保護	123
パスワードの使用	124
Windows でのパスワードの設定	124
[Computer Setup]でのパスワードの設定	125
BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード)	125
BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の管理	126
BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の入力	127
[Computer Setup]の DriveLock (ドライブロック) の使用	127
DriveLock パスワードの設定	128
DriveLock パスワードの入力	129
DriveLock パスワードの変更	130
自動 DriveLock パスワードの入力	131
[Computer Setup]の自動 DriveLock の使用	131
自動 DriveLock パスワードの入力	131
自動 DriveLock による保護の解除	132
[Computer Setup]のセキュリティ機能の使用	133
システム デバイスのセキュリティ保護	133
[Computer Setup]のシステム情報を表示する	133
[Computer Setup]のシステム ID の使用	134
ウイルス対策ソフトウェアの使用	135
ファイアウォール ソフトウェアの使用	136
緊急アップデートのインストール	137
[HP ProtectTools Security Manager] (HP ProtectTools セキュリティ マネージャ) の使用 (一部のモデルのみ)	138
セキュリティ ロック ケーブルの取り付け	139

11 ソフトウェアの更新

ソフトウェアの更新	140
BIOS の更新	142
BIOS のバージョンの確認	142
BIOS アップデートのダウンロード	143
プログラムおよびドライバーの更新	145
[HP SoftPaq Download Manager] (HP SoftPaq ダウンロード マネージャ) の使用	146

12 バックアップおよび復元

情報のバックアップ	149
復元の実行	151
Windows リカバリ ツールの使用	151

f11 キーによるハードドライブの復元	152
別売の Windows 7 オペレーティング システムの DVD を使用した情報の復元	153

13 Computer Setup

[Computer Setup]の開始	154
[Computer Setup]の使用	154
[Computer Setup]での移動および選択	154
[Computer Setup]の工場出荷時設定の復元	155
[Computer Setup]のメニュー	156
[File] (ファイル) メニュー	156
[Security] (セキュリティ) メニュー	157
[System Configuration] (システム コンフィギュレーション) メニュー	158

14 マルチブート

ブート デバイスの順序について	164
[Computer Setup]でのブート デバイスの有効化	166
ブート順序の変更に関する注意	167
マルチブート設定の選択	168
[Computer Setup]での新しいブート順序の設定	168
f9 キーの画面を使用したブート デバイスの動的な選択	169
MultiBoot Express プロンプトの設定	169
MultiBoot Express 設定の入力	169

15 管理および印刷

[Client Management Solutions]の使用	170
ソフトウェア イメージの設定および展開	170
ソフトウェアの管理およびアップデート	171
HP Client Manager for Altiris (一部のモデルのみ)	171
HP CCM (HP Client Configuration Manager) (一部のモデルのみ)	173
HP SSM (HP System Software Manager)	174
Intel Active Management Technology (iAMT : インテル アクティブ・マネジメント・テクノロ ジー) の使用 (一部のモデルのみ)	175
iAMT ソリューションの有効化	175
MEBx セットアップ ユーティリティ メニューの使用	175
HP ユニバーサル プリンター ドライバーの使用 (一部のモデルのみ)	177

索引	178
----------	-----

1 機能

ハードウェアの確認

コンピューターに取り付けられているハードウェアの一覧を参照するには、以下の操作を行います。

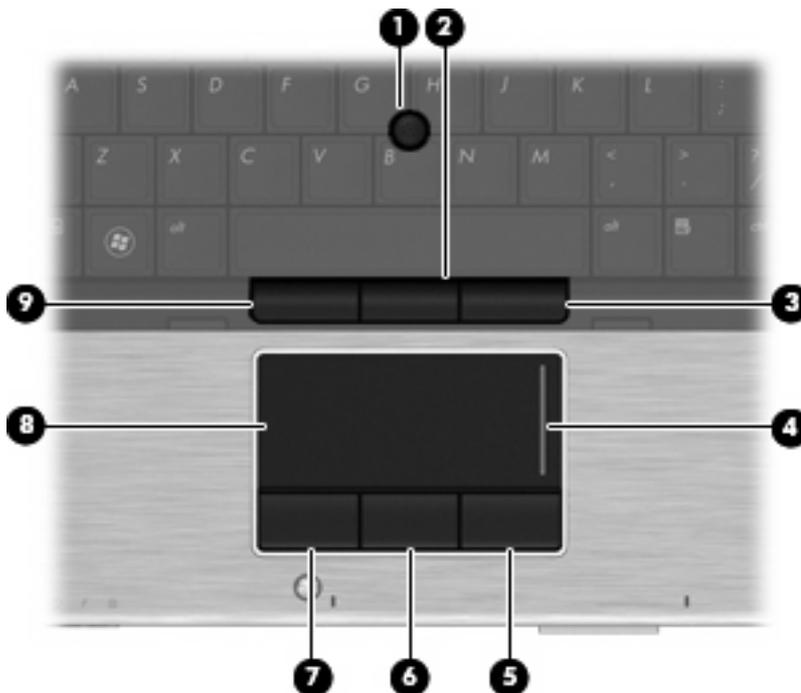
1. [スタート]→[コンピューター]→[システムのプロパティ]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[デバイス マネージャー]をクリックします。

[デバイス マネージャー]を使用して、ハードウェアの追加またはデバイス設定の変更もできます。

 **注記：** Windows®には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。アプリケーションのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、Windows の[ヘルプとサポート]を参照してください。

表面の各部

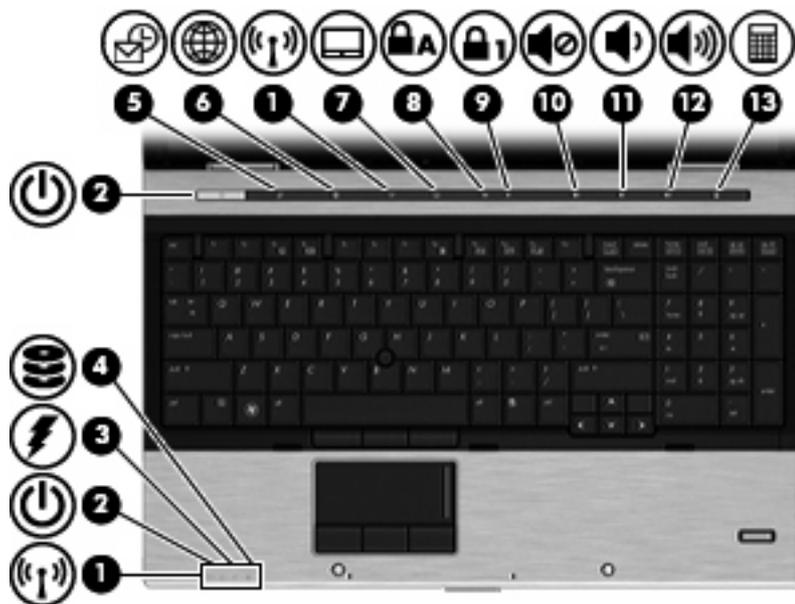
ポインティング デバイス



名称	説明
(1) ポインティング スティック*	ポインターを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(2) 中央のポインティング スティック ボタン*	外付けマウスの中央ボタンと同様に機能します
(3) 右のポインティング スティック ボタン*	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します
(4) タッチパッドのスクロール ゾーン	画面を上下にスクロールします
(5) 右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します
(6) 中央のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの中央ボタンと同様に機能します
(7) 左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(8) タッチパッド*	ポインターを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(9) 左のポインティング スティック ボタン*	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します

*この表では初期設定の状態について説明しています。ポインティング デバイスの設定を表示したり変更したりするには、**[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[マウス]**の順に選択します。

ランプ



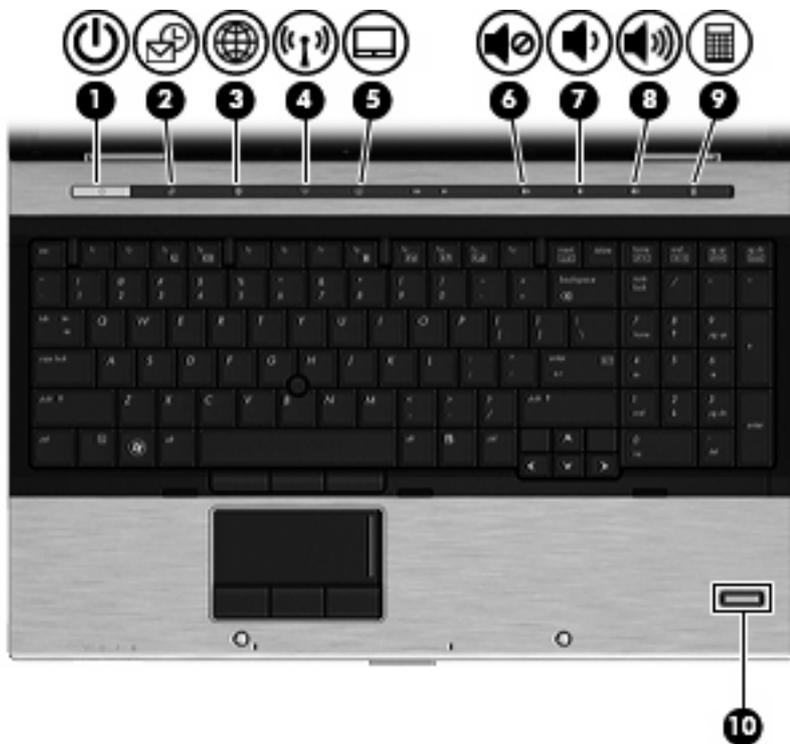
名称	説明
(1) 無線ランプ (×2) †	<ul style="list-style-type: none"> 青色：無線 LAN デバイスや Bluetooth®デバイスなどの内蔵無線デバイスの電源がオンになっています オレンジ色：すべての無線デバイスがオフになっています
(2) 電源ランプ (×2) *	<ul style="list-style-type: none"> 点灯：コンピューターの電源がオンになっています 点滅：コンピューターがスリープ状態になっています 消灯：コンピューターの電源がオフになっているか、ハイバネーション状態になっています
(3) バッテリー ランプ	<ul style="list-style-type: none"> オレンジ色に点灯：バッテリーが充電中です 青緑色：バッテリーが完全充電時に近い状態です オレンジ色で点滅：コンピューターの電源としてバッテリーのみを使用していて、ロー バッテリー状態になっています。完全なロー バッテリー状態になった場合は、バッテリー ランプがすばやく点滅し始めます 消灯：コンピューターが外部電源に接続されている場合、コンピューターに装着されているすべてのバッテリーが完全に充電されると、このランプは消灯します。コンピューターが外部電源に接続されていない場合は、ロー バッテリー状態になるまでランプは消灯したままです
(4) ドライブ ランプ	<ul style="list-style-type: none"> 青緑色で点滅：ハードドライブまたはオプティカル ドライブにアクセスしています オレンジ色：[HP 3D DriveGuard]によってハードドライブが一時停止しています
(5) QuickLook ランプ	<ul style="list-style-type: none"> 点灯：コンピューターの電源がオンになっています 消灯：コンピューターの電源がオフになっているか、スリープまたはハイバネーション状態になっています
(6) HP QuickWeb ランプ	<ul style="list-style-type: none"> 点灯：Web ブラウザーを使用しています

名称	説明
(7) タッチパッド ランプ	<ul style="list-style-type: none"> 青色：タッチパッドがオンになっています オレンジ色：タッチパッドがオフになっています
(8) Caps Lock ランプ	点灯：Caps Lock がオンの状態です
(9) Num Lock ランプ	点灯：Num Lock がオン（内蔵テンキーがオン）の状態です
(10) ミュート（消音）ランプ	<ul style="list-style-type: none"> 点灯：コンピューターのサウンドがオンになっている状態です オレンジ色：コンピューターのサウンドがオフになっている状態です
(11) 音量下げランプ	点滅：音量調整スライダーを使用してスピーカーの音量を下げている状態です
(12) 音量上げランプ	点滅：音量調整スライダーを使用してスピーカーの音量を上げている状態です
(13) 計算機ランプ	<ul style="list-style-type: none"> 点灯：Windows の計算機機能がオンになっています 点滅：Windows 計算機を使用しています

*電源ランプは2つあり、両方とも同じ情報を通知します。電源ボタンのところにある電源ランプはコンピューターを開いているときのみ見えます。コンピューターの前面にある電源ランプは、コンピューターを開いているときも閉じているときも見えます

†無線ランプは2つあり、両方とも同じ情報を通知します。電源ボタンのところにある無線ランプはコンピューターを開いているときのみ見えます。コンピューターの前面にある無線ランプは、コンピューターを開いているときも閉じているときも見えます

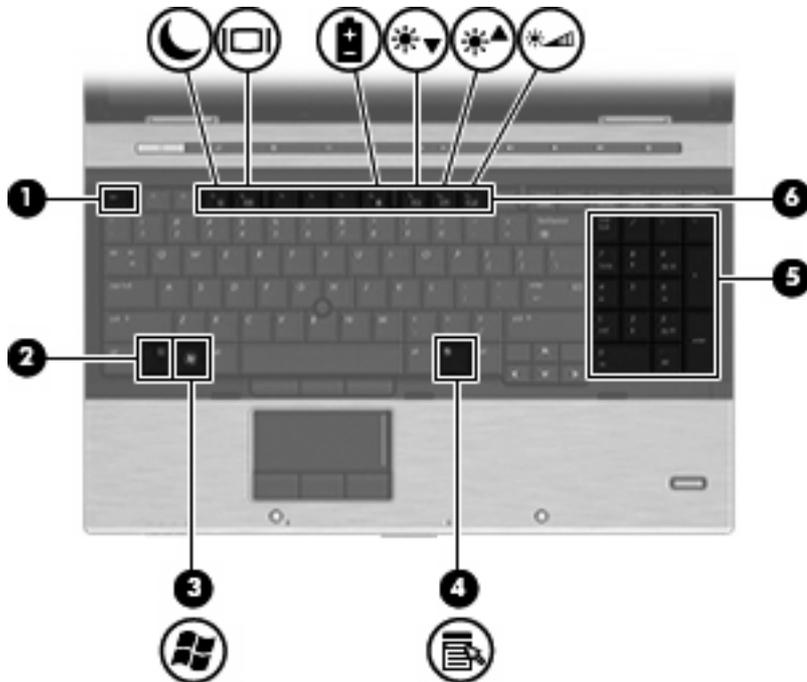
ボタン、スイッチ、および指紋認証システム



名称	説明
(1) 電源ボタン	<ul style="list-style-type: none">• コンピューターの電源が切れているときにボタンを押すと、電源が入ります• コンピューターの電源が入っているときにボタンを押すと、電源が切れます• コンピューターがスリープ状態のときにボタンを短く押すと、スリープが終了します• コンピューターがハイバネーション状態のときにボタンを短く押すと、ハイバネーションが終了します <p>コンピューターが応答せず、Windows のシャットダウン手順を実行できないときは、電源ボタンを 5 秒程度押したままにすると、コンピューターの電源が切れます</p> <p>電源設定について詳しく調べるには、[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します</p>
(2) QuickLook ボタン	<ul style="list-style-type: none">• コンピューターの電源が切れているときにこのボタンを押すと、[HP QuickLook]が起動します• コンピューターの電源が入っているときにこのボタンを押すと、[HP Software Setup] (HP ソフトウェア セットアップ) が起動します <p>注記： [HP Software Setup]が使用できない場合は、初期設定の Web ブラウザーが起動します</p>

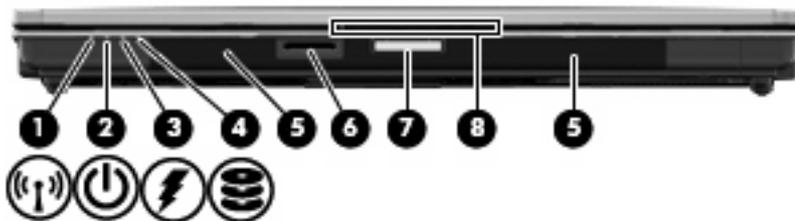
名称	説明
(3) QuickWeb ボタン	<ul style="list-style-type: none"> • コンピューターの電源が切れているときにこのボタンを押すと、[HP QuickWeb]が起動します • コンピューターの電源が入っているときにこのボタンを押すと、初期設定の Web ブラウザーが起動します
(4) 無線ボタン	無線機能をオンまたはオフにしますが、無線接続は確立されません
(5) タッチパッド ボタン	タッチパッドの有効/無効を切り替えます
(6) ミュート（消音）ボタン	スピーカークの音を消したり音量を元に戻したりします
(7) 音量下げボタン	コンピューターの音量を下げます
(8) 音量上げボタン	コンピューターの音量を上げます
(9) 計算機ボタン	Windows の計算機機能をオンにします
(10) 指紋認証システム	パスワードの代わりに指紋認証を使用して Windows にログオンできます

キー



名称	説明
(1) esc キー	fn キーと組み合わせて押すことによって、システム情報を表示します
(2) fn キー	ファンクション キーまたは esc キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します
(3) Windows ロゴ キー	Windows の[スタート]メニューを表示します
(4) Windows アプリケーション キー	ポインターを置いた項目のショートカット メニューを表示します
(5) 内蔵テンキー	外付けテンキーと同じように使用できます。上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです
(6) ファンクション キー	fn キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します

前面の各部



名称	説明
(1) 無線ランプ	<ul style="list-style-type: none"> 青色：無線 LAN デバイス、HP モバイル ブロードバンド モジュール（一部のモデルのみ）、または Bluetooth デバイスなどの内蔵無線デバイスがオンになっています オレンジ色：すべての無線デバイスがオフになっています
(2) 電源ランプ	<ul style="list-style-type: none"> 点灯：コンピューターの電源がオンになっています 点滅：コンピューターがスリープ状態になっています 消灯：コンピューターの電源がオフになっているか、ハイバネーション状態になっています
(3) バッテリー ランプ	<ul style="list-style-type: none"> オレンジ色に点灯：バッテリーが充電中です 青緑色：バッテリーが完全充電時に近い状態です オレンジ色で点滅：コンピューターの電源としてバッテリーのみを使用していて、ロー バッテリー状態になっています。完全なロー バッテリー状態になった場合は、バッテリー ランプがすばやく点滅し始めます 消灯：コンピューターが外部電源に接続されている場合、コンピューターに装着されているすべてのバッテリーが完全に充電されると、このランプは消灯します。コンピューターが外部電源に接続されていない場合は、ロー バッテリー状態になるまでランプは消灯したままです
(4) ドライブ ランプ	<ul style="list-style-type: none"> 青緑色で点滅：ハードドライブまたはオプティカル ドライブにアクセスしています オレンジ色：[HP 3D DriveGuard]によってハードドライブが一時的に停止しています
(5) スピーカー (×2)	サウンドを出力します
(6) メディア カード リーダー	<p>以下のフォーマットの別売のメディア カードに対応しています</p> <ul style="list-style-type: none"> メモリースティック メモリースティック Duo (アダプターが必要) メモリースティック PRO (アダプターが必要) マルチメディア カード SD (Secure Digital) メモリーカード xD ピクチャーカード xD ピクチャーカード タイプ H xD ピクチャーカード タイプ M
(7) ディスプレイ リリース ボタン	コンピューターを開くときに使用します
(8) 名刺スロット	Web カメラが画像を撮影できる位置に名刺を固定します

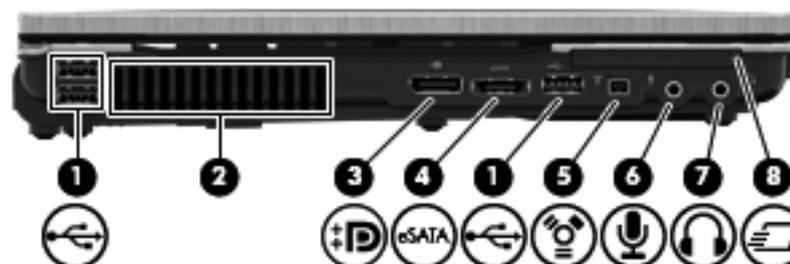
右側面の各部



名称	説明
(1) スマート カード リーダー	別売のスマート カードおよび Java™ Card に対応しています
(2) アップグレード ベイ	オプティカル ドライブまたはハードドライブを装着できます
(3) 3.0 SuperSpeed USB コネクタ (×2)	別売の USB デバイスを接続して、USB 2.0 デバイスよりも高速にデータを転送します
(4) RJ-45 (ネットワーク) コネクタ	ネットワーク ケーブルを接続します
(5) RJ-11 (モデム) コネクタ	モデム ケーブルを接続します
(6) セキュリティ ロック ケーブル用スロット	別売のセキュリティ ロック ケーブルをコンピューターに接続します

注記： セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません

左側面の各部



名称	説明
(1) USB コネクタ (×3)	別売の USB デバイスを接続します
(2) 通気孔	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します
(3) DisplayPort	高性能なモニターやプロジェクターなどの別売のデジタル ディスプレイ デバイスを接続します
(4) eSATA コネクタ	eSATA 外部ハードドライブなどの高性能な eSATA コンポーネントを接続します

注記： 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です

名称	説明
(5) 1394 コネクタ	ビデオ カメラなど、別売の IEEE 1394 または 1394a デバイスを接続します
(6) オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売のコンピューター用ヘッドセットのマイク、ステレオ アレイ マイク、またはモノラル マイクを接続します
(7) オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカー、ヘッドフォン、イヤホン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオを接続したときに、サウンドを出力します 注記： ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります
(8) ExpressCard スロット	別売の ExpressCard をサポートしています

背面の各部

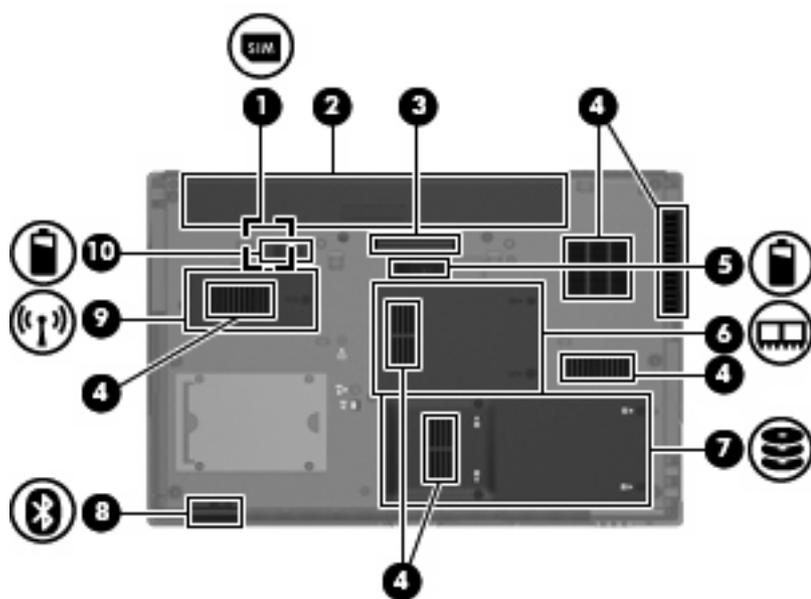


コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通す通気孔です。

注記： 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です

名称	説明
(1) 外付けモニター コネクタ	外付け VGA モニターまたはプロジェクターを接続します
(2) 電源コネクタ	AC アダプターを接続します

裏面の各部



名称	説明
(1) SIM スロット	無線 SIM (Subscriber Identity Module) カードがあります (一部のモデルのみ)。SIM スロットは、バッテリー ベイの中にあります
(2) バッテリー ベイ	バッテリーが装着されています
(3) ドッキング コネクタ	別売のドッキング デバイスを接続します
(4) 通気孔 (×6)	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します 注記： 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
(5) オプション バッテリー コネクタ	別売のオプション バッテリーを接続します
(6) メモリ モジュール コンパートメント	2 基の拡張メモリ モジュール スロットがあります
(7) ハードドライブ ベイ	ハードドライブが装着されています
(8) Bluetooth コンパートメント	Bluetooth デバイスを取り付けます
(9) 無線モジュール コンパートメント	HP モバイル ブロードバンド モジュールがあります 注記： システムの応答停止を防ぐため、無線 LAN モジュールを交換する場合は、日本国内の無線デバイスの認定/承認機関でこのコンピューター用に認定された無線モジュールのみを使用してください。モジュールを交換した後にエラー メッセージが表示される場合は、モジュールを取り外してコンピューターを元の状態に戻した後で、[ヘルプとサポート]からサポート窓口にお問い合わせください
(10) バッテリー リリース ラッチ	バッテリー ベイからバッテリーを取り外します

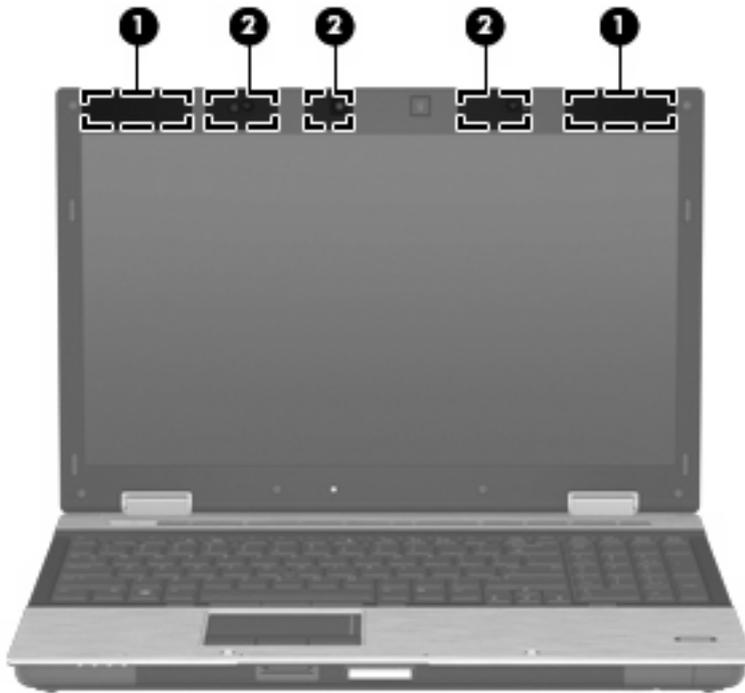
ディスプレイ



名称	説明
(1) 内蔵ディスプレイ スイッチ	コンピューターの電源が入っている状態でディスプレイを閉じると、ディスプレイの電源が切れます
(2) 内蔵マイク (×2)	サウンドを録音します
(3) Web カメラ ランプ	点灯 : Web カメラを使用しています
(4) Web カメラ	サウンドを録音したり、動画を録画したり、静止画像を撮影したりします
(5) キーボード ライト	暗い場所でキーボード ライト ボタンが押されると、キーボードを照らします
(6) キーボード ライト ボタン	キーボード ライトを消します
(7) 周辺光センサー	周囲の明るさに合わせて画面の輝度を自動的に調節します

無線アンテナ (一部のモデルのみ)

無線アンテナは 1 台以上の無線デバイスとの間で信号を送受信します。アンテナはコンピューターの外側からは見えません。



名称	説明
(1) 無線 WAN アンテナ (×2) *	無線ワイドエリア ネットワーク (無線 WAN) で通信する無線信号を送受信します
(2) 無線 LAN アンテナ (×2) *	無線ローカル エリア ネットワーク (無線 LAN) で通信する無線信号を送受信します

*アンテナはコンピューターの外側からは見えません。転送が最適に行われるようにするため、アンテナの周囲には障害物を置かないでください。

お住まいの地域の無線に関する規定情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。これらの規定情報には、[ヘルプとサポート]からアクセスできます。

その他のハードウェア コンポーネント



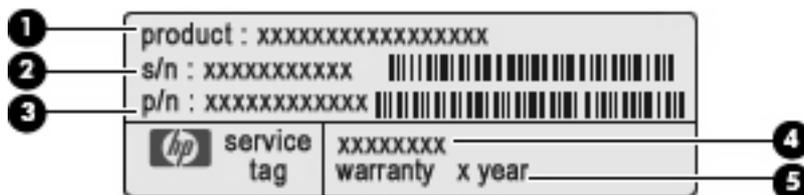
名称	説明
(1) 電源コード*	AC アダプターを電源コンセントに接続します
(2) バッテリ*	コンピューターが外部電源に接続されていないときに、コンピューターに電力を供給します
(3) AC アダプター	AC 電源を DC 電源に変換します
(4) モデム ケーブル (一部のモデルのみ) *	内蔵のモデムを RJ-11 電話コネクタや、各国または各地域仕様のモデム ケーブル アダプターに接続するときに使用します
(5) 各国または各地域仕様のモデム ケーブル アダプター (アダプターが必要な国や地域で販売されるモデルのみ。日本向け製品には付属していません) *	モデム ケーブルを RJ-11 電話コネクタ以外のコネクタに接続するときに使用します (日本国内で使用する場合は必要ありません)

*モデム ケーブル、バッテリー、モデム ケーブル アダプター、および電源コードは、国や地域によって外観が異なります。このコンピューターを日本国内で使用する場合は、製品に付属の電源コードをお使いください。付属の電源コードは、他の製品では使用できません。

ラベルの確認

コンピューターに貼付されているラベルには、システムの問題を解決するときに必要な情報や、コンピューターを日本国外で使用したりするときに必要な情報が記載されています。

- サービス タグ：以下の情報を含む重要な情報が記載されています。



- (1) 製品名：コンピューターの前面に貼付されている製品名です。
- (2) シリアル番号 (s/n)：各製品に一意の英数字 ID です。
- (3) 製品番号 (p/n)：製品のハードウェア コンポーネントに関する固有の情報を提示する番号です。製品番号は、サービス担当者が必要なコンポーネントや部品を確認する場合に役立ちます。
- (4) モデルの記載：お使いのコンピューターに関する文書、ドライバー、サポート情報を得るときに使用する英数字 ID です。
- (5) 保証期間：このコンピューターの標準保証期間が (年数で) 記載されています。

この情報は、サポート窓口にお問い合わせするときに必要です。サービス タグ ラベルは、コンピューターの裏面に貼付されています。

- Microsoft® Certificate of Authenticity：Windows のプロダクト キー (Product Key、Product ID) が記載されています。プロダクト キーは、オペレーティング システムのアップデートやトラブルシューティングのときに必要になる場合があります。このラベルは、コンピューターの裏面に貼付されています。
- 規定ラベル：コンピューターの規定に関する情報が記載されています。規定ラベルは、バッテリー ベイ内に貼付されています。

- モデム認定/認証ラベル：モデムの規定に関する情報、および認定各国または各地域の一部で必要な政府機関の認定マーク一覧が記載されています。日本国外でモデムを使用するときに、この情報が必要になる場合があります。モデム認定/認証ラベルは、メモリ モジュール コンパートメント内に貼付されています。
- 無線認定/認証ラベル（一部のモデルのみ）：オプションの無線デバイスに関する情報と、認定各国または各地域の一部の認定マークが記載されています。別売のデバイスは、無線 LAN デバイスまたは Bluetooth デバイスなどです。1つ以上の無線デバイスを使用している機種には、1つ以上の認定ラベルが貼付されています。日本国外でモデムを使用するときに、この情報が必要になる場合があります。無線認定/認証ラベルは、コンピューターの裏面に貼付されています。
- SIM（Subscriber Identity Module）ラベル（一部のモデルのみ）：SIM の ICCID（Integrated Circuit Card Identifier）が記載されています。このラベルは、バッテリー ベイの中に貼付されています。
- HP モバイル ブロードバンド モジュール シリアル番号ラベル（一部のモデルのみ）：HP モバイル ブロードバンド モジュールのシリアル番号が記載されています。このラベルは、バッテリー ベイの中に貼付されています。

2 無線、モデム、およびローカル エリア ネットワーク

無線デバイスの使用（一部のモデルのみ）

無線技術では、有線のケーブルの代わりに電波を介してデータを転送します。お買い上げいただいたコンピューターには、以下の無線デバイスが1つ以上内蔵されている場合があります。

- 無線 LAN デバイス：会社の事務所、自宅、および公共の場所（空港、レストラン、コーヒーショップ、ホテル、大学など）で、コンピューターを無線ローカル エリア ネットワーク（一般に、無線 LAN ネットワーク、無線 LAN、WLAN と呼ばれます）に接続します。無線 LAN では、各モバイル無線デバイスは無線ルーターまたは無線アクセス ポイントと通信します。
- HP モバイル ブロードバンド モジュール：モバイル ネットワーク事業者のサービスが利用できる場所であればどこでも情報にアクセスできる、無線ワイド エリア ネットワーク（無線 WAN）デバイスです。無線 WAN では、各モバイル デバイスはモバイル ネットワーク事業者の基地局と通信します。モバイル ネットワーク事業者は、地理的に広い範囲に基地局（携帯電話の通信塔に似ています）のネットワークを設置し、県や地域、場合によっては国全体にわたってサービスエリアを効率的に提供します。
- Bluetooth デバイス：他の Bluetooth 対応デバイス（コンピューター、電話機、プリンター、ヘッドセット、スピーカー、カメラなど）に接続するためのパーソナル エリア ネットワーク（PAN）を確立します。PAN では、各デバイスが他のデバイスと直接通信するため、デバイス同士が比較的近距离になければなりません（通常は約 10 m 以内）。

無線 LAN デバイスを搭載したコンピューターは、以下の IEEE 業界標準のうち 1 つ以上に対応しています。

- 802.11b：最初に普及した規格であり、最大 11 Mbps のデータ転送速度をサポートし、2.4 GHz の周波数で動作します。
- 802.11g：最大 54 Mbps のデータ転送速度をサポートし、2.4 GHz の周波数で動作します。802.11g の無線 LAN デバイスは下位の 802.11b デバイスに対応していて、両方を同じネットワークで使用できます。
- 802.11a：最大 54 Mbps のデータ転送速度をサポートし、5 GHz の周波数で動作します。

 **注記：** 802.11a は、802.11b および 802.11g とは互換性がありません。

- 802.11n は最大 450 Mbps のデータ速度をサポートし、2.4 GHz または 5 GHz で動作します。802.11a、b、g に対応しています。

 **注記：** 802.11n 無線 LAN の仕様は暫定的なものであり、最終版ではありません。最終仕様は暫定版と異なる場合、コンピューターと他の 802.11n 無線 LAN デバイスとの通信に支障が生じる可能性があります。

無線技術について詳しくは、[ヘルプとサポート]の情報および Web サイトへのリンクを参照してください。

無線アイコンとネットワーク アイコンの確認

アイコン	名前	説明
	無線 (接続済み)	コンピューターのハードウェアとしての無線ランプおよび無線ボタンの位置を示します。ソフトウェアとしては、コンピューター上の[HP Wireless Assistant]ソフトウェアを示し、また 1 つ以上の無線デバイスがオンになっていることを表します
	無線 (切断済み)	コンピューター上の[HP Wireless Assistant]ソフトウェアおよびすべての無線デバイスがオフになっていることを示します
	HP Connection Manager	[HP Connection Manager]を開きます。[HP Connection Manager]では、HP モバイル ブロードバンド デバイスを使用した接続を作成できます (一部モデルのみ)
	有線ネットワーク (接続済み)	1 つ以上のネットワーク ドライバーがインストールされていて、1 つ以上のネットワーク デバイスがネットワークに接続されていることを示します
	ネットワーク (接続済み)	1 つ以上のネットワーク ドライバーがインストールされ、1 つ以上のネットワーク デバイスが無線ネットワークに接続されていて、1 つ以上のネットワーク デバイスを有線ネットワークに接続できることを示します
	ネットワーク (切断済み)	1 つ以上のネットワーク ドライバーがインストールされていて、無線接続を使用できるが、どのネットワーク デバイスも有線または無線ネットワークに接続されていないことを示します
	ネットワーク (無効/切断済み)	1 つ以上のネットワーク ドライバーがインストールされていて、使用できる無線接続がないか、すべての無線ネットワーク デバイスが無線ボタンまたは[HP Wireless Assistant]によって無効になっていて、どのネットワーク デバイスも有線ネットワークに接続されていないことを示します
	有線ネットワーク (無効/切断済み)	1 つ以上のネットワーク ドライバーがインストールされていて、すべてのネットワーク デバイスまたはすべての無線デバイスが Windows の[コントロール パネル]によって無効になっていて、どのネットワーク デバイスも有線ネットワークに接続されていないことを示します

無線コントロールの使用

以下の機能を使用して、コンピューター本体の無線デバイスを制御できます。

- 無線ボタンまたは無線スイッチ (このガイドでは無線ボタンと呼びます)
- [HP Wireless Assistant]ソフトウェア (一部のモデルのみ)
- [HP Connection Manager]ソフトウェア (一部のモデルのみ)
- オペレーティング システムの制御機能

無線ボタンの使用

モデルにもよりますが、コンピューターには無線ボタン、1つ以上の無線デバイス、1つまたは2つの無線ランプがあります。出荷時の設定では、コンピューターのすべての無線デバイスは有効になっていて、コンピューターの電源を入れると青い無線ランプが点灯します。

無線ランプは、無線デバイスの全体的な電源の状態を表すものであり、個々のデバイスの状態を表すものではありません。青い無線ランプが点灯している場合は、1つ以上の無線デバイスが有効になっていることを示しています。無線ランプが点灯していない場合は、すべての無線デバイスが無効になっていることを示しています。

 **注記：** モデルによっては、すべての無線デバイスがオフになっているとオレンジ色のランプが点灯します。

すべての無線デバイスが工場出荷時に有効に設定されているため、複数の無線デバイスのオンとオフの切り替えを、無線ボタンで同時に行うことができます。無線デバイスのオン/オフを個別に制御するには、[HP Wireless Assistant]ソフトウェア（一部のモデルのみ）または[Computer Setup]を使用します。

 **注記：** 無線デバイスが[Computer Setup]で無効になっている場合、無線ボタンはそのデバイスを再び有効にするまでは使用できません。

[HP Wireless Assistant]ソフトウェアの使用（一部のモデルのみ）

無線デバイスのオンとオフは、[HP Wireless Assistant]ソフトウェアを使用して切り替えることができます。無線デバイスが[Computer Setup]で無効になっている場合、そのデバイスのオンとオフを[HP Wireless Assistant]を使用して切り替えるには、あらかじめ[Computer Setup]で有効に設定しておく必要があります。

 **注記：** 無線デバイスを有効にしても（オンにしても）、コンピューターがネットワークまたはBluetooth 対応デバイスに自動的に接続されるわけではありません。

無線デバイスの状態を表示するには、**[隠れているインジケーターを表示します]**（通知領域の左側にある矢印）をクリックし、無線アイコンの上にカーソルを置きます。

[無線]アイコンが通知領域に表示されていない場合、以下の手順に沿って[HP Wireless Assistant]のプロパティを変更します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[Windows モビリティ センター]の順に選択します。
2. [Windows モビリティ センター]の最下部の[HP Wireless Assistant]の領域にある無線アイコンをクリックします。
3. [プロパティ]をクリックします。
4. 通知領域にある[HP Wireless Assistant]アイコンの横のチェック ボックスにチェックを入れます。
5. [適用]をクリックします。
6. [閉じる]をクリックします。

詳しくは、[HP Wireless Assistant]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

1. [Windows モビリティ センター]にある無線アイコンをクリックして[HP Wireless Assistant]を開きます。
2. [ヘルプ]ボタンをクリックします。

[HP Connection Manager]ソフトウェアの使用（一部のモデルのみ）

お使いのコンピューターの HP モバイル ブロードバンド デバイスを使用して無線 LAN に接続するには、[HP Connection Manager]を使用します。

[HP Connection Manager]を開くには、タスクバーの右端の通知領域にある **[HP Connection Manager]** アイコンをクリックします。

または

[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP]→[HP Connection Manager]の順に選択します。

[HP Connection Manager]の使用方法について詳しくは、[HP Connection Manager]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

オペレーティング システムの制御機能の使用

一部のオペレーティング システムでは、オペレーティング システム自体の機能として内蔵無線デバイスと無線接続を管理する方法が提供されています。たとえば、Windows では、[ネットワークと共有センター]によって、接続またはネットワークのセットアップ、ネットワークへの接続、無線ネットワークの管理、およびネットワークの問題の診断と修復が行えます。

[ネットワークと共有センター]にアクセスするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]の順に選択します。

詳しくは、Windows の[ヘルプとサポート]を参照してください。アクセスするには、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。

無線 LAN の使用

無線 LAN デバイスを使用すると、無線ルーターまたは無線アクセス ポイントによってリンクされた、複数のコンピューターおよび周辺機器で構成されている無線 LAN にアクセスできます。

 **注記：** 無線ルーターと無線アクセス ポイントという用語は、同じ意味で使用されることがよくあります。

- 企業無線 LAN や公共無線 LAN などの大規模無線 LAN では通常、多数のコンピューターや周辺機器に対応できる無線アクセス ポイントを使用することによって、重要なネットワーク機能を他のサービスから切り離すことができます。
- ホーム オフィス無線 LAN やスモール オフィス無線 LAN では通常、無線ルーターを使用して、複数台の無線接続または有線接続のコンピューターでインターネット接続、プリンター、およびファイルを共有できます。追加のハードウェアやソフトウェアは必要ありません。

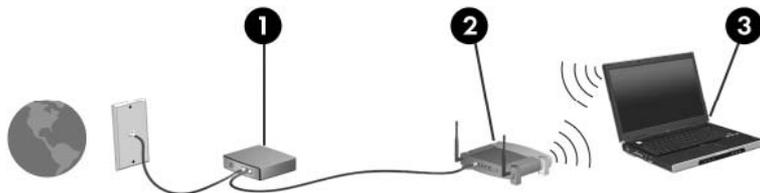
お使いのコンピューターに搭載されている無線 LAN デバイスを使用するには、無線 LAN インフラストラクチャ（サービス プロバイダーか、公共または企業ネットワークを介して提供される）に接続する必要があります。

無線 LAN のセットアップ

無線 LAN をセットアップし、インターネットに接続するには、以下のような準備が必要です。

- ブロードバンド モデム（DSL または ケーブル）(1) およびインターネット サービス プロバイダー（ISP）が提供する高速インターネット サービス
- 無線ルーター（別売）(2)
- 無線コンピューター (3)

下の図は、インターネットに接続している無線ネットワークのインストール例を示しています。



お使いのネットワークを拡張する場合、インターネットのアクセス用に新しい無線または有線のコンピューターをネットワークに追加することができます。

無線 LAN のセットアップについて詳しくは、ルーターの製造元または ISP から提供されている情報を参照してください。

無線 LAN の保護

無線 LAN の標準仕様に備わっているセキュリティ機能は限られていて、基本的には大規模な攻撃ではなく簡単な盗聴を防ぐための機能しかありません。そのため、無線 LAN には、既知でよく確認されているセキュリティの脆弱性があると認識しておくことが大切です。

「無線 LAN スポット」と呼ばれるインターネット カフェや空港などで利用できる公衆無線 LAN では、セキュリティ対策が取られていないことがあります。公共の場でのセキュリティと匿名性を高める新しい技術は、無線デバイスの製造元や無線 LAN スポットのサービス プロバイダーによって開発されている段階です。無線 LAN スポットを利用するときコンピューターのセキュリティに不安があ

る場合は、ネットワークに接続しての操作を、重要でない電子メールや基本的なネットサーフィン程度にとどめておいてください。

無線 LAN をセットアップする場合や、既存の無線 LAN にアクセスする場合は、常にセキュリティ機能を有効にして、不正アクセスからネットワークを保護してください。一般的なセキュリティレベルは、WPA (Wi-Fi Protected Access) と WEP (Wired Equivalent Privacy) です。無線信号はネットワークの外に出てしまうため、他の無線 LAN デバイスに保護されていない信号を拾われ、(許可しない状態で) ネットワークに接続されたり、ネットワークでやり取りされる情報を取得されたりする可能性があります。ただし、事前に対策を取ることで無線 LAN を保護できます。

- **セキュリティ機能内蔵の無線トランスミッタを使用する**

無線基地局、ゲートウェイ、またはルーターといった無線トランスミッタの多くには、無線セキュリティプロトコルやファイアウォールといったセキュリティ機能が内蔵されています。適切な無線トランスミッタを使用すれば、無線セキュリティでの最も一般的ナリスクからネットワークを保護できます。

- **ファイアウォールを利用する**

ファイアウォールは、ネットワークに送信されてくるデータとデータ要求をチェックし、疑わしいデータを破棄する防壁です。利用できるファイアウォールにはさまざまな種類があり、ソフトウェアとハードウェアの両方があります。ネットワークによっては、両方の種類を組み合わせで使用します。

- **無線を暗号化する**

さまざまな種類の高度な暗号プロトコルが、無線 LAN ネットワークで利用できます。お使いのネットワークのセキュリティにとって最適な解決策を、以下の中から探してください。

- **WEP (Wired Equivalent Privacy)** は、すべてのネットワーク データを送信される前に WEP キーで符号化または暗号化する無線セキュリティプロトコルです。通常は、ネットワーク側が割り当てた WEP キーを使用できます。また、自分でキーを設定したり、異なるキーを生成したり、他の高度なオプションを選んだりすることもできます。正しいキーを持たない他のユーザーが無線 LAN を使用することはできなくなります。
- **WPA (Wi-Fi Protected Access)** は、WEP と同じように、セキュリティ設定によってネットワークから送信されるデータの暗号化と復号化を行います。ただし、WEP のように 1 つの決められたセキュリティ キーを利用して暗号化を行うのではなく、**TKIP** (temporal key integrity protocol) を使用してパケットごとに新しいキーを動的に生成します。また、ネットワーク上にあるコンピューターごとに異なるキーのセットを生成します。

無線 LAN への接続

無線 LAN に接続するには、以下の操作を行います。

1. 無線 LAN デバイスがオンになっていることを確認します。オンになっている場合は、無線ランプが青色に点灯します。無線ランプが点灯していない場合は、無線ボタンを押します。

 **注記：** モデルによっては、すべての無線デバイスがオフになっているとオレンジ色のランプが点灯します。

2. タスクバーの右端の通知領域にあるネットワーク アイコンをクリックします。
3. 一覧から無線 LAN を選択します。
4. **[接続]** をクリックします。

ネットワークがセキュリティ設定済みの無線 LAN である場合は、セキュリティ コードであるネットワーク セキュリティ キーの入力を求めるメッセージが表示されます。コードを入力し、[OK] をクリックして接続を完了します。

 **注記：** 無線 LAN が一覧に表示されない場合は、無線ルーターまたはアクセス ポイントの範囲外にいることを示します。

注記： 接続したいネットワークが表示されない場合は、[ネットワークと共有センターを開く] → [新しい接続またはネットワークのセットアップ] の順にクリックします。オプションの一覧が表示されます。手動での検索や、ネットワークへの接続、新しいネットワーク接続のセットアップなどのオプションを選択できます。

接続完了後、タスクバー右端の通知領域にあるネットワーク アイコンの上にマウス ポインターを置くと、接続の名前およびステータスを確認できます。

 **注記：** 動作範囲（無線信号が届く範囲）は、無線 LAN の実装、ルーターの製造元、およびその他の電子機器ならびに壁や床からの干渉に応じて異なります。

無線 LAN の使用方法について詳しくは、以下のリソースを参照してください。

- インターネット サービス プロバイダー（ISP）から提供される情報や、無線ルーターやその他の無線 LAN 機器に添付されている説明書等
- [ヘルプとサポート] で提供されている情報や、そこにある Web サイトのリンク

近くにある公共無線 LAN の一覧については、ISP に問い合わせるか Web を検索してください。公共無線 LAN の一覧を掲載している Web サイトは、「無線 LAN スポット」などのキーワードで検索できます。それぞれの公共無線 LAN の場所について、費用と接続要件を確認します。

企業無線 LAN へのコンピューターの接続について詳しくは、ネットワーク管理者または IT 部門に問い合わせてください。

他のネットワークへのローミング

お使いのコンピューターを他の無線 LAN が届く範囲に移動すると、Windows はそのネットワークへの接続を試みます。接続の試行が成功すると、お使いのコンピューターは自動的にそのネットワークに接続されます。新しいネットワークが Windows によって認識されなかった場合は、お使いの無線 LAN に接続するために最初に行った操作をもう一度実行してください。

HP モバイル ブロードバンドの使用（一部のモデルおよび一部の国や地域のみ）

HP モバイル ブロードバンドを使用すると、コンピューターで無線ワイド エリア ネットワーク（無線 WAN）を使用できるため、無線 LAN の使用時よりも、より多くの場所のより広い範囲からインターネットにアクセスできます。HP モバイル ブロードバンドを使用するには、ネットワーク サービス プロバイダー（モバイル ネットワーク事業者と呼ばれます）と契約する必要があります。ネットワーク サービス プロバイダーは、ほとんどの場合、携帯電話事業者です。HP モバイル ブロードバンドの対応範囲は、携帯電話の通話可能範囲とほぼ同じです。

モバイル ネットワーク事業者のサービスを利用して HP モバイル ブロードバンドを使用すると、出張や移動中、または無線 LAN スポットの範囲外にいても、インターネットへの接続、電子メールの送信、および企業ネットワークへの接続が常時可能になります。

HP は、次のテクノロジーをサポートしています。

- HSPA（High Speed Packet Access）は、GSM（Global System for Mobile Communications）電気通信標準に基づいてネットワークへのアクセスを提供します。
- EV-DO（Evolution Data Optimized）は、CDMA（Code Division Multiple Access）電気通信標準に基づいてネットワークへのアクセスを提供します。

モバイル ブロードバンド サービスを有効にするには、HP モバイル ブロードバンド モジュールのシリアル番号が必要な場合があります。シリアル番号は、コンピューターのバッテリー ベイの内側に貼付されているラベルに印刷されています。

モバイル ネットワーク事業者によっては、SIM（Subscriber Identity Module）が必要な場合があります。SIM には、PIN やネットワーク情報など、ユーザーに関する基本的な情報が含まれています。一部のコンピューターでは、SIM がバッテリー ベイにあらかじめ装着されています。SIM があらかじめ装着されていない場合、SIM は、コンピューターに付属の HP モバイル ブロードバンド情報に含まれているか、モバイル ネットワーク事業者から別途入手できることがあります。

SIM の装着と取り出しについての詳しい情報は、この章の「SIM の装着」と「SIM の取り出し」の項を参照してください。

HP モバイル ブロードバンドに関する情報や、推奨されるモバイル ネットワーク事業者のサービスを有効にする方法については、コンピューターに付属のモバイル ブロードバンド情報を参照してください。詳しくは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/go/mobilebroadband/>（英語サイト）を参照してください。

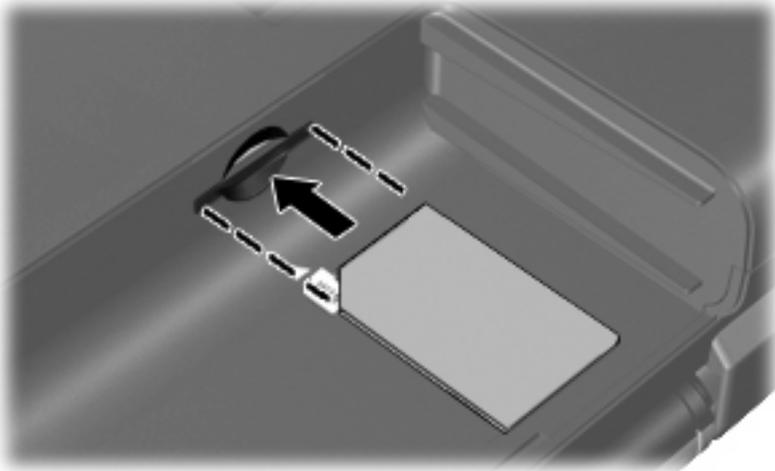
SIM の挿入

△ **注意：** コネクタの損傷を防ぐため、SIM を挿入するときは無理な力を加えないでください。

SIM を挿入するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターをシャットダウンします。コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
2. ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。

5. バッテリー ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリーを取り外します。
7. SIM を SIM スロットに挿入し、しっかり固定されるまでそっと押し込みます。



8. バッテリーを取り付けなおします。

 **注記：** バッテリーを装着しなないと、HP モバイル ブロードバンドは無効になります。

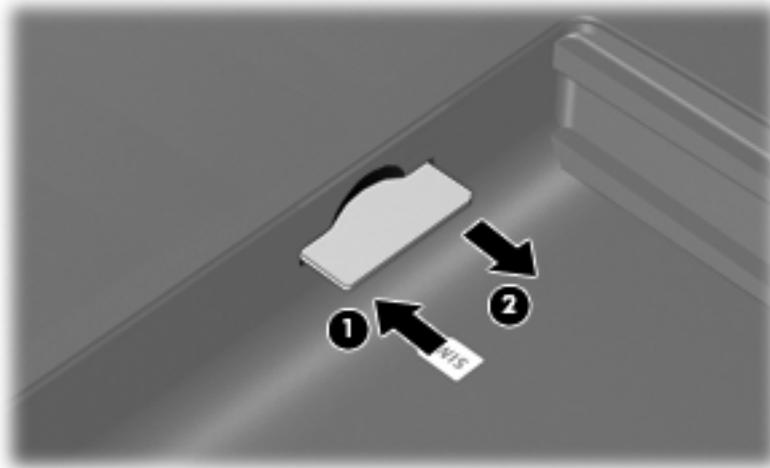
9. 外部電源を接続しなおします。
10. 外付けデバイスを接続しなおします。
11. コンピューターの電源を入れます。

SIM の取り出し

SIM を取り出すには、以下の操作を行います。

1. コンピューターをシャットダウンします。コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
2. ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。
5. バッテリー ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリーを取り外します。

7. SIM をいったんスロットに押し込んで (1)、固定を解除してから取り出します (2)。



8. バッテリーを取り付けなおします。
9. 外部電源を接続しなおします。
10. 外付けデバイスを接続しなおします。
11. コンピューターの電源を入れます。

Bluetooth 無線デバイスの使用（一部のモデルのみ）

Bluetooth デバイスによって近距離の無線通信が可能になり、以下のような電子機器の通信手段を従来の物理的なケーブル接続から無線通信に変更できるようになりました。

- コンピューター（デスクトップ、ノートブック、PDA）
- 電話機（携帯、コードレス、スマートフォン）
- イメージング デバイス（プリンター、カメラ）
- オーディオ デバイス（ヘッドセット、スピーカー）

Bluetooth デバイスは、Bluetooth デバイスの PAN（Personal Area Network）を設定できるピアツーピア機能を提供します。Bluetooth デバイスの設定と使用方法については、Bluetooth オンライン ヘルプを参照してください。

Bluetooth とインターネット接続共有（ICS）

ホストとして 1 台のコンピューターに Bluetooth を設定し、そのコンピューターをゲートウェイとして利用して他のコンピューターがインターネットに接続できるようにすることは、HP ではおすすめしません。Bluetooth を使用して 2 台以上のコンピューターを接続する場合、インターネット接続共有（ICS）が可能なのはそのうちの 1 台で、他のコンピューターは Bluetooth ネットワークを利用してインターネットに接続することはできません。

Bluetooth は、お使いのコンピューターと、携帯電話、プリンター、カメラ、および PDA などの無線デバイスとの間で情報をやり取りして同期するような場合に強みを発揮します。Bluetooth および Windows オペレーティング システムでの制約によって、インターネット共有のために複数台のコンピューターを Bluetooth 経由で常時接続しておくことはできません。

無線接続に関する問題のトラブルシューティング

無線接続に関する問題の原因として、以下のようなものが考えられます。

- 無線デバイスのインストールに失敗した、または無線デバイスが無効である。
- 無線デバイスまたはルーターのハードウェアが故障した。
- ネットワーク設定（SSID またはセキュリティ）が変更された。
- 無線デバイスが他のデバイスからの干渉を受けている。

 **注記：** 無線ネットワーク デバイスは、一部のモデルにのみ搭載されています。無線ネットワーク機能がコンピューターの基本機能として搭載されていない場合は、無線ネットワーク デバイスを購入してコンピューターに追加できます。

ネットワーク接続の問題を解決する可能性のある方法を 1 つずつ実行する前に、すべての無線デバイスについて、デバイス ドライバーがインストールされていることを確認してください。

使用したいネットワークに接続できないコンピューターの診断および修復を行うには、この章で説明する手順を実行してください。

無線 LAN 接続を作成できない場合

無線 LAN への接続で問題が発生している場合は、内蔵無線 LAN デバイスがコンピューターに正しく取り付けられていることを確認してください。

 **注記：** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、Windows の[ヘルプとサポート]を参照してください。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]の順に選択します。
2. [システム]領域の[デバイス マネージャー]をクリックします。
3. [ネットワーク アダプター]の横の矢印をクリックして一覧を展開し、すべてのアダプターを表示します。
4. ネットワーク アダプター一覧で無線 LAN デバイスを確認します。無線 LAN デバイスの場合は、「無線」、「無線 LAN」、「WLAN」、「Wi-Fi」、または「802.11」などと表示されます。

無線 LAN デバイスが表示されない場合は、お使いのコンピューターに無線 LAN デバイスが内蔵されていないか、無線 LAN デバイス用のドライバーが正しくインストールされていません。

無線 LAN のトラブルシューティングについては、[ヘルプとサポート]に記載されている Web サイトへのリンクを参照してください。

優先ネットワークに接続できない場合

Windows では、問題のある無線 LAN 接続を自動で修復できます。

- タスクバー右端の通知領域にネットワーク アイコンがある場合は、そのアイコンを右クリックして、**[問題のトラブルシューティング]**をクリックします。

Windows は、ネットワーク デバイスをリセットし、優先ネットワークの 1 つに再接続を試みます。

- ネットワーク アイコンが通知領域に表示されていない場合は、以下の操作を行います。
 1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ネットワークとインターネット]**→**[ネットワークと共有センター]**の順に選択します。
 2. **[問題のトラブルシューティング]**をクリックしてから、修復したいネットワークを選択します。

ネットワーク アイコンが表示されない場合

ネットワーク アイコンが無線 LAN 設定後に通知領域に表示されない場合は、ソフトウェア ドライバーがなくなったか壊れています。また、**[デバイスが見つかりません]**という Windows エラー メッセージが表示されることもあります。このような場合には、ドライバーを再インストールする必要があります。

お使いのコンピューターの無線 LAN デバイス ソフトウェアの最新のバージョンを入手するには、以下の操作を行います。

1. インターネット ブラウザーを開き、<http://www.hp.com/support/>を表示します。
2. 国または地域を選択します。
3. **[ドライバー&ソフトウェアをダウンロードする]**オプションをクリックし、お使いのコンピューターの製品名または製品番号を**[製品名・番号で検索]**フィールドに入力します。
4. **enter** キーを押し、画面の説明に沿って操作します。

 **注記：** お使いの無線デバイスが、別途購入されたものである場合は、その無線デバイスの製造元の Web サイトで最新のソフトウェアを確認してください。

現在のネットワーク セキュリティ コードが使用できない場合

無線 LAN に接続するときにネットワーク キーまたは名前 (SSID) の入力を求めるメッセージが表示された場合、そのネットワークはセキュリティ設定によって保護されています。セキュリティ設定で保護されているネットワークに接続するには、現在のコードが必要になります。SSID およびネットワーク キーは半角英数字のコードで、ネットワークへの認証のためにお使いのコンピューターに入力します。

- お使いの無線ルーターに接続されているネットワークの場合は、そのルーターの説明書を参照し、ルーターと無線 LAN デバイスの両方に同じ SSID コードを設定します。
- 会社のネットワークや、公開インターネット チャットなどのプライベート ネットワークの場合は、ネットワーク管理者に問い合わせるこれらのコードを入手し、コードの入力を求める画面が表示されたときに入力します。

ネットワークによっては、ルーターやアクセス ポイントで使用されている SSID を定期的に変更して、セキュリティの向上を図っている場合があります。この変更に応じて、対応するコードをお使いのコンピューターで変更する必要があります。

以前に接続したことがあるネットワーク用に新しいネットワーク キーや SSID が提供されている場合、そのネットワークに接続するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]の順に選択します。
2. 左側の枠内の[ワイヤレス ネットワークの管理]をクリックします。
利用可能な無線 LAN を示す一覧が表示されます。複数の無線 LAN が稼動している無線 LAN スポットにいる場合は、複数の無線 LAN が表示されます。
3. 一覧からネットワークを選択し、そのネットワークを右クリックしてから、[プロパティ]をクリックします。
 **注記：** 使用するネットワークが一覧にない場合は、ネットワーク管理者に連絡して、ルーターまたはアクセス ポイントが稼動していることを確認してください。
4. [セキュリティ]タブをクリックし、[ネットワーク セキュリティ キー]フィールドに、無線の暗号化に必要なデータを正しく入力します。
5. [OK]をクリックしてこれまでの設定を保存します。

無線 LAN 接続が非常に弱い場合

接続が非常に弱い場合、またはコンピューターが無線 LAN に接続できない場合は、以下の方法を参考に他のデバイスからの干渉を最小化します。

- コンピューターを無線ルーターまたはアクセス ポイントに近づけます。
- 干渉を受けないようにするために、電子レンジ、コードレス電話、または携帯電話などの無線デバイスの電源を一時的に切断します。

接続品質が向上しない場合は、デバイスのすべての接続値が強制的に再設定されるように、以下の操作を行っててください。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]の順に選択します。
2. 左側の枠内の[ワイヤレス ネットワークの管理]をクリックします。
利用可能な無線 LAN を示す一覧が表示されます。複数の無線 LAN が稼動している無線 LAN スポットにいる場合は、複数の無線 LAN が表示されます。
3. ネットワークをクリックし、[削除]をクリックします。

無線ルーターに接続できない場合

無線ルーターに接続しようとして失敗した場合は、その無線ルーターの電源を 10 ～ 15 秒間オフにして、リセットしてください。

それでもコンピューターが無線 LAN に接続できない場合は、無線ルーターを再起動してください。詳しくは、ルーターの製造元の説明書を参照してください。

モデムの使用（一部のモデルのみ）

お使いのコンピュータの内蔵モデムは、6 ピンの RJ-11 モデム ケーブル（一部のモデルにのみ付属）を使用してアナログ電話回線に接続する必要があります。国によっては、各国仕様のモデム ケーブル アダプター（一部のモデルにのみ付属）も必要な場合があります。デジタル構内回線（PBX）システム用のコネクタは、アナログ電話回線用のモジュラー コンセントと似ていますが、このモデムには使用できません。

- △ **警告！** 内蔵アナログ モデムをデジタル回線に接続すると、モデムが損傷して永久に使用できなくなる場合があります。間違えてモデム ケーブルをデジタル回線に接続した場合は、すぐに取り外してください。

モデム ケーブルに、テレビやラジオからの干渉を防止するノイズ抑制コア（1）が取り付けられている場合は、コアが取り付けられているほうのケーブルの端（2）をコンピューター側に向けます。

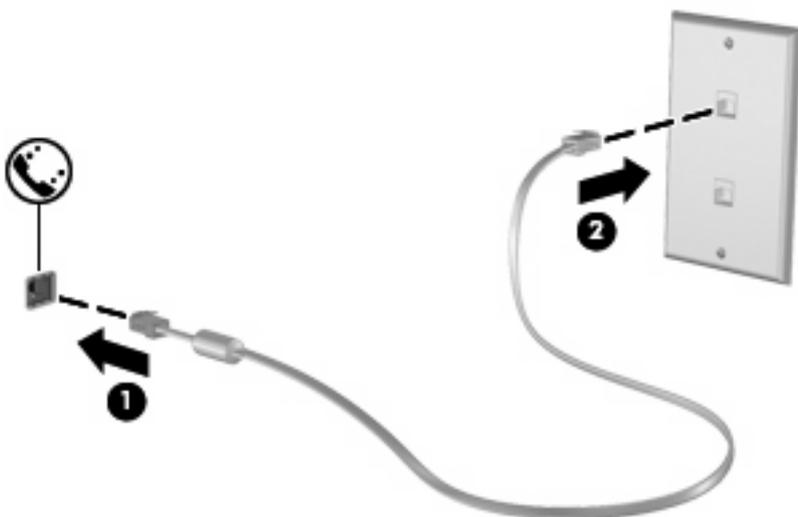


モデム ケーブルの接続

- △ **警告！** 火傷や感電、火災、装置の損傷を防ぐため、モデム ケーブル（一部のモデルにのみ付属）または電話ケーブルを RJ-45（ネットワーク）コネクタに接続しないでください。

モデム ケーブルを接続するには、以下の操作を行います。

1. モデム ケーブルをコンピューター本体のモデム コネクタに差し込みます（1）。
2. モデム ケーブルのもう一方の端を電話回線用モジュラー コンセントに接続します（2）。

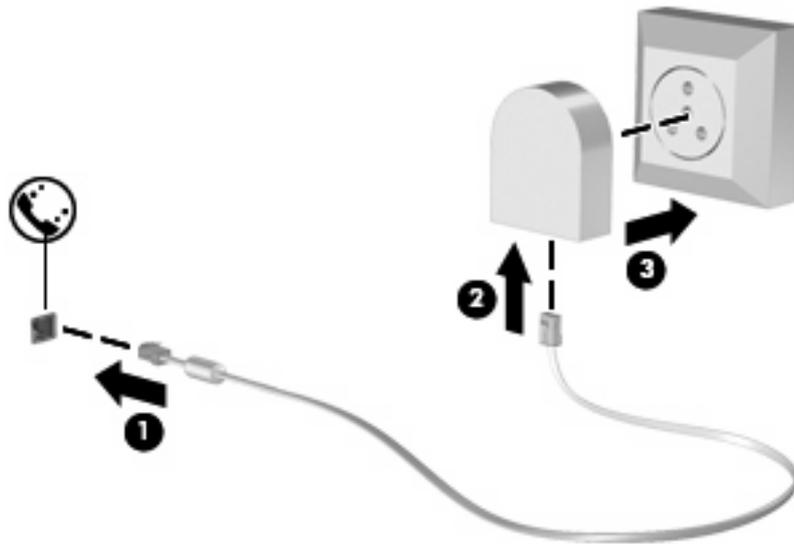


各国仕様のモデム ケーブル アダプターの接続

モジュラー コンセントは国によって異なります。モデムおよびモデム ケーブル（一部のモデルにのみ付属）を国外で使用する場合は、各国仕様のモデム ケーブル アダプター（一部のモデルにのみ付属）を用意する必要があります。

RJ-11 モデム コネクタ以外のアナログ電話回線用モジュラー コンセントにケーブルを接続するには、以下の操作を行います。

1. モデム ケーブルをコンピューター本体のモデム コネクタに差し込みます (1)。
2. モデム ケーブルを各国仕様のモデム ケーブル アダプターに接続します (2)。
3. 各国仕様のモデム ケーブル アダプターを電話回線用モジュラー コンセントに接続します (3)。



所在地設定の選択

現在の所在地設定の表示

モデム用の現在の所在地設定を表示するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロール パネル]の順に選択します。
2. [時計、言語、および地域]をクリックします。
3. [地域と言語]をクリックします。
4. [所在地]タブをクリックして所在地を表示します。

旅行先の所在地の新規追加

初期設定では、お使いのモデムで使用可能な所在地設定は日本用の設定のみです。コンピューターを国外で使用する場合は、使用する国の規格に準拠するように内蔵モデムを設定します。

新しく追加した所在地設定はコンピューターに保存され、設定をいつでも切り替えられるようになります。コンピューターには、任意の国の所在地設定を複数追加できます。

- △ **注意：** モデムの日本用の設定は削除しないでください。日本用の設定を保持した状態で国外でモデムを使用できるようにするには、モデムを使用する国や地域ごとに所在地の構成を新規に追加します。

注意： お使いのモデムの設定が、旅行先の国や地域の通信規定や法律に違反することを防ぐため、その国や地域の設定を選択してください。国を正しく選択しないと、モデムが正しく機能しない場合があります。サポートされていない国を選択するとメッセージが表示されます。その国ではこのモデムの使用が認可されていないので、使用しないでください。

モデムの所在地設定を追加するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[デバイスとプリンター]の順に選択します。
2. お使いのコンピューターを表すデバイスを右クリックし、[モデムの設定]をクリックします。

 **注記：** [ダイヤル情報]タブを表示するには、事前に最初の（現在の）所在地の市外局番を設定しておく必要があります。所在地がまだ設定されていない場合は、[モデムの設定]をクリックすると、所在地を入力するよう求めるメッセージが表示されます。
3. [ダイヤル情報]タブをクリックします。
4. [新規]をクリックします（新しい所在地]ウィンドウが表示されます）。
5. [所在地]ボックスに、新しく追加する所在地設定の名前（「自宅」、「会社」など）を入力します。
6. [国/地域]ドロップダウン リストから、国または地域を選択します（モデムでサポートされていない国または地域を選択すると、初期設定の[米国]または[英国]が表示されます）。
7. 市外局番を入力します（必要に応じて、回線番号や外線番号も入力します）。
8. [ダイヤル方法]の横の[トーン]または[パルス]をクリックします。
9. 新しい所在地設定を保存するには、[OK]をクリックします（[電話とモデム]ウィンドウが表示されます）。
10. 以下の操作のどちらかを行います。
 - 新しい所在地を現在地の設定として使用するには、[OK]をクリックします。
 - 他の所在地設定を現在地の設定として使用するには、[所在地]リストから使用する設定を選択して、[OK]をクリックします。

 **注記：** 国外の設定と同じように、日本国内の所在地設定も追加できます。たとえば、外線に接続するダイヤル情報を含む設定を「会社」という名前でも追加できます。

国外での接続に関する問題の解決

コンピューターを購入した国以外でモデムを使用しているときに問題が発生した場合は、以下のことを試してみてください。

- 電話回線の種類の確認

モデムには必ずアナログ電話回線を使用します（デジタル回線を使用しないでください）。PBX回線と呼ばれる回線は、通常はデジタル回線です。データ回線、FAX回線、モデム回線、標準電話回線と呼ばれている電話回線は、通常はアナログ回線です。

- パルスとトーンのどちらのダイヤル方法を使用しているかの確認

アナログ回線では、2つのダイヤルモード（パルスまたはトーン）のどちらかをサポートしています。これらのダイヤルモードオプションは、[電話とモデム]の設定で選択します。選択するダイヤルモードオプションは、お使いの電話回線でサポートされているダイヤルモードと一致する必要があります。

お使いの電話回線でサポートされているダイヤルモードを判断するには、電話機で数桁の番号をダイヤルして、ダイヤル音を聞きます。カタカタという音（パルス音）がする場合は電話回線がパルスダイヤル方式をサポートし、ピポパと音がする場合はトーンダイヤル方式をサポートしていることを示しています。

現在のモデムの所在地設定でダイヤルモードを変更するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[デバイスとプリンター]の順に選択します。
2. お使いのコンピューターを表すデバイスを右クリックし、[モデムの設定]をクリックします。
3. [ダイヤル情報]タブをクリックします。
4. モデムの所在地設定を選択します。
5. [編集]をクリックします。
6. [トーン]または[パルス]をクリックします。
7. [OK]を2回クリックします。

- ダイヤル先の電話番号と受信先のモデムの応答の確認

送信先の電話番号をダイヤルし、受信側のモデムが応答することを確認します。

- 発信音を省略するようにモデムを設定する

認識できない発信音を受信した場合、モデムでダイヤルは行われず、[発信音なし]というエラーメッセージが表示されます。

ダイヤル前のダイヤルトーンを省略するようにモデムを設定するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[デバイスとプリンター]の順に選択します。
2. お使いのコンピューターを表すデバイスを右クリックし、[モデムの設定]をクリックします。
3. [モデム]タブをクリックします。
4. リストからお使いのモデムをクリックします。

5. [プロパティ]をクリックします。
6. [モデム]をクリックします。
7. [発信音を待ってからダイヤルする]チェック ボックスのチェックを外します。
8. [OK]を2回クリックします。

ローカル エリア ネットワーク（LAN）への接続

ローカル エリア ネットワーク（LAN）に接続するには、8 ピンの RJ-45 ネットワーク ケーブル（別売）が必要です。ネットワーク ケーブルに、テレビやラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コア（1）が取り付けられている場合は、コアが取り付けられている方のケーブルの端（2）をコンピューター側に向けます。



ネットワーク ケーブルを接続するには、以下の操作を行います。

1. ネットワーク ケーブルをコンピューター本体のネットワーク コネクタに差し込みます（1）。
2. ケーブルのもう一方の端をデジタル モジュラー コンセントに差し込みます（2）。



△ **警告！** 火傷や感電、火災、装置の損傷を防ぐため、モデム ケーブルまたは電話ケーブルを RJ-45（ネットワーク）コネクタに接続しないでください。

3 ポインティング デバイスおよびキーボード

ポインティング デバイスの使用

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

ボタンの構成、クリック速度、ポインター オプションのような、ポインティング デバイスの設定をカスタマイズするには、Windows の[マウスのプロパティ]を使用します。

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[マウス]の順に選択します。

タッチパッドの使用

タッチパッドのボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。タッチパッドのスクロール ゾーンを使用して画面を上下にスクロールするには、スクロール ゾーンの線上で指を上下にスライドさせます。

 **注記：** ポインターの移動にタッチパッドを使用している場合、まずタッチパッドから指を離し、その後でスクロール ゾーンに指を置きます。タッチパッドからスクロール ゾーンへ指を動かすだけでは、スクロール機能はアクティブになりません。

ポインティング スティックの使用

ポインターを移動するには、画面上でポインターを移動したい方向にポインティング スティックを押します。ポインティング スティックの左右のボタンの使用方法は、外付けマウスの左右のボタンと同じです。

外付けマウスの接続

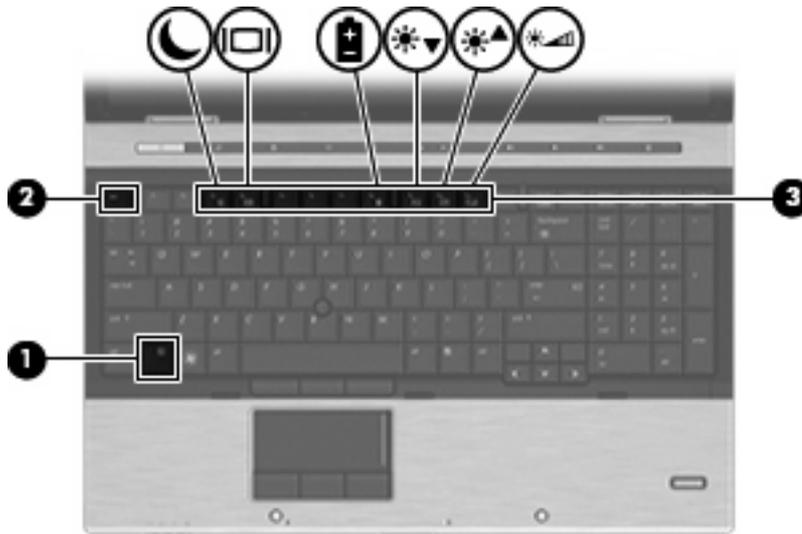
USB コネクタのどれかを使用して外付け USB マウスをコンピューターに接続できます。USB マウスは、別売のドッキング デバイスを使用してコンピューターに接続することもできます。

キーボードの使用

ホットキーの使用

ホットキーは、**fn** キー (1) と、**esc** キー (2) またはファンクション キーのどれか (3) の組み合わせです。

f3、f4、および f8 ~ f11 の各キーのアイコンは、ホットキーの機能を表しています。ホットキーの機能および操作についてこの章の各項目で説明します。



機能	ホットキー
システム情報を表示する	fn + esc
スリープを開始する	fn + f3
画面を切り替える	fn + f4
バッテリー情報を表示する	fn + f8
画面の輝度を下げる	fn + f9
画面の輝度を上げる	fn + f10
周辺光センサーを有効にする	fn + f11

コンピューターのキーボードでホットキー コマンドを使用するには、以下のどちらかの操作を行います。

- 短く fn キーを押してから、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押します。
または
- fn キーを押しながら、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押し、両方のキーを同時に離します。

システム情報の表示

fn + esc を押すと、システムのハードウェア コンポーネントおよびシステム BIOS のバージョン番号に関する情報が表示されます。

Windows では、fn + esc を押すと、システム BIOS（基本入出力システム）のバージョンが BIOS の日付として表示されます。一部の機種では、BIOS の日付は 10 進数形式で表示されます。BIOS の日付はシステム ROM のバージョン番号と呼ばれることもあります。

スリープを開始する

△ **注意：** 情報の損失を防ぐために、スリープを開始する前に必ずデータを保存してください。

スリープを開始するには、**fn + f3** キーを押します。

スリープを開始すると、情報がシステム メモリに保存され、画面表示が消えて節電モードになります。コンピューターがスリープ状態のときは電源ランプが点滅します。

スリープを開始するには、コンピューターの電源が入っている必要があります。

☞ **注記：** コンピューターがスリープ状態のときに完全なロー バッテリー状態になった場合、コンピューターはハイバネーションを開始して、メモリ内の情報をハードドライブに保存します。完全なロー バッテリー状態になった場合、出荷時設定ではハイバネーションを開始しますが、この設定は Windows の[コントロールパネル]の[電源オプション]で変更できます。

スリープ状態を終了するには、電源ボタンを短く押します。

fn + f3 ホットキーの機能は変更できます。たとえば、スリープではなくハイバネーションを開始するように **fn + f3** ホットキーを設定できます。

☞ **注記：** Windows オペレーティング システムのウィンドウでの「スリープ ボタン」に関する記述はすべて、**fn + f3** ホットキーに当てはまります。

画面を切り替える

システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、**fn + f4** を押します。たとえば、コンピューターに外付けモニターを接続している場合は、**fn + f4** を押すと、コンピューター本体のディスプレイ、外付けモニターのディスプレイ、コンピューター本体と外付けモニターの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります。

ほとんどの外付けモニターは、外付け VGA ビデオ方式を使用してコンピューターからビデオ情報を受け取ります。**fn + f4** ホットキーでは、コンピューターからビデオ情報を受信する他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます。

以下のビデオ伝送方式が **fn + f4** ホットキーでサポートされます。カッコ内は、各方式を使用するデバイスの例です。

- LCD (コンピューター本体のディスプレイ)
- 外部 VGA (ほとんどの外付けモニター)
- HDMI (HDMI コネクタが装備されているテレビ、ビデオ カメラ、DVD プレーヤー、ビデオ デッキ、およびビデオ キャプチャ カード)
- コンポジット ビデオ (コンポジット ビデオ入力コネクタが装備されているテレビ、ビデオ カメラ、DVD プレーヤー、ビデオ デッキ、およびビデオ キャプチャ カード)

 **注記：** コンポジット ビデオ デバイスをシステムに接続するには、別売のドッキング デバイスを使用する必要があります。

バッテリー残量についての情報を表示する

fn + f8 を押すと、コンピューターに取り付けられているすべてのバッテリーの充電情報が表示されます。この表示から、充電中のバッテリーと、各バッテリーの残量を確認できます。

画面の輝度を下げる

fn + f9 を押すと、画面の輝度が下がります。このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に下がります。

画面の輝度を上げる

fn + f10 を押すと、画面の輝度が上がります。このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に上がります。

周辺光センサーの有効化

周辺光センサーの有効/無効を切り替えるには、**fn + f11** を押します。

[HP Quick Launch Buttons] (HP クイック ローンチ ボタン) の使用

[HP Quick Launch Buttons]を使用すると、頻繁に使用するプログラム、ファイル、Web サイトをすばやく開くことができます。以下の表に記載する工場出荷時設定を使用できます。または、[HP Quick Launch Buttons]の[設定]で[Q Menu] (Q メニュー) を起動して、ボタンを再設定できます。

[HP Quick Launch Buttons]には、QuickLook ボタン (1)、QuickWeb ボタン (2)、および計算機ボタン (3) が含まれます。



以下の表に[HP Quick Launch Buttons]の出荷時設定を示します。

注記： ボタンの機能は、お使いのコンピューターにインストールされているソフトウェアによって異なります。

名称	説明
(1) QuickLook ボタン	<ul style="list-style-type: none">コンピューターの電源が切れているときに QuickLook ボタンを押すと、[HP QuickLook]が起動しますコンピューターの電源が入っているときに QuickLook ボタンを押すと、[HP Software Setup] (HP ソフトウェア セットアップ) が起動します。[HP Software Setup]が使用できない場合は、初期設定の電子メール クライアントが起動します
(2) QuickWeb ボタン	<ul style="list-style-type: none">コンピューターの電源が切れているときに QuickWeb ボタンを押すと、[HP QuickWeb]が起動しますコンピューターの電源が入っているときに QuickWeb ボタンを押すと、初期設定の Web ブラウザーが起動します
(3) 計算機ボタン	Windows の計算機機能を起動します

[HP Quick Launch Buttons]の[設定]の起動

[HP Quick Launch Buttons]の[設定]画面は、以下のどれかの方法で開くことができます。

- [スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[Quick Launch Buttons]の順に選択します。
- タスクバーの右端の通知領域にある[HP Quick Launch Buttons]アイコンをダブルクリックします。
- 通知領域にある[HP Quick Launch Buttons]アイコンを右クリックし、次に[HP Quick Launch Buttons のプロパティの調整]をクリックします。

 **注記：** モデルによっては、デスクトップにアイコンが表示される場合があります。

[HP QuickLook]の使用

[HP QuickLook]を使用して、[Microsoft Outlook]にある予定表、連絡先、受信トレイ、および仕事の情報をコンピューターのハードドライブに保存できます。コンピューターの電源が切れているときにコンピューターの QuickLook ボタンを押すと、オペレーティング システムの再起動を待たなくてもこれらの情報をすぐに表示できます。

[HP QuickLook]を使用すると、コンピューターを再起動することなく、予定表のイベント、電子メール情報、および仕事を管理できます。

[HP QuickLook]の設定および使用方法については、[HP QuickLook]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[HP QuickWeb]の使用

[HP QuickWeb]は、プログラムを必要に応じてすぐに実行できる、Windows オペレーティング システムから独立した環境を提供します。[HP QuickWeb]を使用すると、Windows を起動しなくても、Web ブラウザーにすばやくアクセスできます。[HP QuickWeb]の設定および使用方法については、[HP QuickWeb]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

内蔵テンキーの使用

別売の外付けテンキーの使用

通常、外付けテンキーのほとんどのキーは、Num Lock がオンのときとオフのときとで機能が異なります（出荷時設定では、Num Lock はオフになっています）。たとえば、以下のようになります。

- Num Lock がオンのときは、数字を入力できます。
- Num Lock がオフのときは、矢印キー、[page up](#) キー、[page down](#) キーと同様に機能します。

外付けテンキーで Num Lock をオンにすると、コンピューターの Num Lock ランプが点灯します。外付けテンキーで Num Lock をオフにすると、コンピューターの Num Lock ランプが消灯します。

作業中に外付けテンキーの Num Lock のオンとオフを切り替えるには、以下の操作を行います。

- ▲ コンピューターではなく、外付けテンキーの [num lk](#) キーを押します。

タッチパッドとキーボードの清掃

タッチパッドにごみや脂が付着していると、ポインターが画面上で滑らかに動かなくなる場合があります。これを防ぐには、軽く湿らせた布でタッチパッドを定期的に清掃し、コンピューターを使用するときは手をよく洗ってください。

- △ **警告！** 感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、掃除機のアタッチメントを使用してキーボードを清掃しないでください。キーボードの表面に、掃除機からのごみくずが落ちてくる可能性があります。

キーが固まらないようにするため、また、キーの下に溜まったごみや糸くず、細かいほこりを取り除くために、キーボードを定期的に清掃してください。圧縮空気が入ったストロー付きの缶を使用してキーの周辺や下に空気を吹き付けると、付着したごみをはがれて取り除きやすくなります。



4 マルチメディア

マルチメディア機能

お使いのコンピューターには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア機能が含まれています。お使いのコンピューターには、以下のようなマルチメディア コンポーネントが含まれている場合があります。

- オーディオ ディスクおよびビデオ ディスクを再生するオプティカル ドライブ
- 音楽を再生する内蔵スピーカー
- 独自のオーディオを録音するための内蔵マイク
- 動画を撮影したり共有したりできる内蔵 Web カメラ
- 音楽、動画および画像の再生と管理を行うことができるプリインストール済みのマルチメディア ソフトウェア
- マルチメディアに関する操作をすばやく行うことのできるホットキー

 **注記：** お使いのコンピューターによっては、一覧に記載されていても、一部のコンポーネントが含まれていない場合があります。

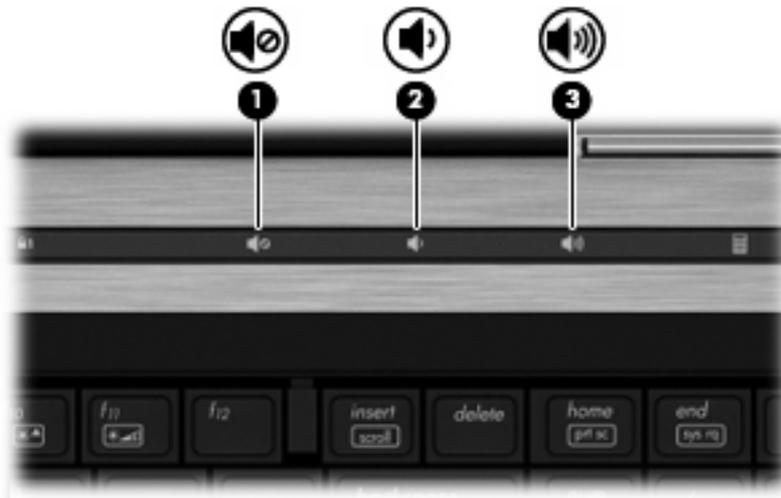
ここでは、お使いのコンピューターに含まれているマルチメディア コンポーネントを確認する方法、およびマルチメディア コンポーネントを使用する方法について説明します。

音量の調整

音量の調整には、以下のどちらかを使用します。

- コンピューター本体の音量調整デバイス：
 - 音を消したり音量を元に戻したりするには、ミュート（消音）ボタン（1）を押します。
 - 音量を下げるには、適切な音量になるまで音量下げボタン（2）を押し続けるかタップします。

- 音量を上げるには、適切な音量になるまで音量上げボタン（3）を押し続けるかタップします。



- Windows の[ボリューム コントロール]：
 - a. タスクバーの右端の通知領域にある[スピーカー]アイコンをクリックします。
 - b. 音量を調整するには、スライダーを上下に移動します。[スピーカーをミュート]アイコンをクリックすると、音が出なくなります。または
 - a. 通知領域にある[スピーカー]アイコンを右クリックして、[音量ミキサーを開く]をクリックします。
 - b. [スピーカー]列で音量を調整するには、スライダーを上下に移動します。[スピーカーをミュート]アイコンをクリックして音を消すこともできます。[スピーカー]アイコンが通知領域に表示されない場合は、以下の操作を行って表示します。
 - a. [隠れているインジケータを表示します]アイコン（通知領域の左端にある矢印）を右クリックします。
 - b. [通知アイコンのカスタマイズ]をクリックします。
 - c. [動作]で、[音量]アイコンの[アイコンと通知を表示]を選択します。
 - d. [OK]をクリックします。
- プログラムの音量調整機能：

プログラムによっては、音量調整機能を持つものもあります。

マルチメディア ソフトウェア

お使いのコンピュータにはマルチメディア ソフトウェアがプリインストールされています。一部のモデルでは、付属のオプティカル ディスクに追加のマルチメディア ソフトウェアが収録されています。

コンピューターに搭載されているハードウェアおよびソフトウェアによっては、マルチメディアに関する以下の操作がサポートされている場合があります。

- オーディオ/ビデオ CD、オーディオ/ビデオ DVD、およびインターネット ラジオを含むデジタル メディアの再生
- データ CD の作成またはコピー
- オーディオ CD の作成、編集、および書き込み
- DVD やビデオ CD でのビデオまたは動画の作成、編集、および書き込み

△ **注意：** 情報の損失やディスクの損傷を防ぐために、以下のガイドラインに沿ってください。

ディスクに書き込む前に、コンピューターを安定した外部電源に接続します。コンピューターがバッテリー電源で動作しているときは、ディスクに書き込まないでください。

ディスクに書き込む前に、使用しているディスク ソフトウェア以外は、開いているすべてのプログラムを閉じてください。

コピー元のディスクからコピー先のディスクへ、またはネットワーク ドライブからコピー先のディスクへ直接コピーしないでください。まずコピー元のディスクまたはネットワーク ドライブからハードドライブへコピーしてから、ハードドライブからコピー先のディスクへコピーしてください。

ディスクへの書き込み中にキーボードを使用したり、コンピューターを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

📖 **注記：** コンピューターに付属のソフトウェアの使用方法について詳しくは、ソフトウェアの説明書を参照してください。説明書はディスクまたは該当するプログラム内のヘルプ ファイルとして提供されます。ソフトウェアの製造元の Web サイトから説明書を入手できる場合もあります。

プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアへのアクセス

プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアにアクセスするには、以下の操作を行います。

▲ **[スタート]→[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するマルチメディア プログラムを起動します。

📖 **注記：** サブフォルダーに含まれているプログラムもあります。

📖 **注記：** コンピューターに付属しているソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ソフトウェアに含まれていたり、ディスクに収録されていたり、またはソフトウェアの製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

プリロードされているマルチメディア ソフトウェアのインストール

プリロードされているソフトウェアをハードドライブからインストールするには、**[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP Software Setup]**（HP ソフトウェア セットアップ）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール

1. ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
2. インストール ウィザードが開いたら、画面上のインストール手順に沿って操作します。
3. コンピューターの再起動を求めるメッセージが表示されたら、コンピューターを再起動します。

オーディオ

お使いのコンピューターでは、以下のようなさまざまなオーディオ機能を使用できます。

- コンピューターのスピーカーおよび接続した外付けスピーカーを使用した、音楽の再生
- 内蔵マイクまたは接続した外付けマイクを使用した、サウンドの録音
- インターネットからの音楽のダウンロード
- オーディオと画像を使用したマルチメディア プレゼンテーションの作成
- インスタント メッセージ プログラムを使用したサウンドと画像の送信
- ラジオ番組のストリーミング（一部のモデルのみ）またはFM ラジオ信号の受信
- オーディオ CD の作成（書き込み）（一部のモデルのみ）

外付けオーディオ デバイスの接続

△ **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

外付けスピーカー、ヘッドフォン、マイクなどの外付けデバイスの接続方法については、デバイスの製造元から提供される情報を参照してください。デバイスを良好な状態で使用できるよう、以下の点に注意してください。

- デバイス ケーブルがお使いのコンピューターの適切なコネクタにしっかりと接続されていることを確認します（通常、ケーブル コネクタは、コンピューターの対応するコネクタに合わせて色分けされています）。
- 外付けデバイスに必要なドライバーがある場合は、そのドライバーをインストールします。

📖 **注記：** ドライバーは、デバイスとデバイスが使用するプログラム間のコンバーターとして機能する、必須のプログラムです。

オーディオ機能の確認

お使いのコンピューターのシステム サウンドを確認するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーにある[音量]アイコンを右クリックし、[サウンド]を選択します。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[サウンド]アイコンの順に選択します。

2. [サウンド]ウィンドウが開いたら、[サウンド]タブをクリックします。[プログラム イベント]でビープやアラームなどの任意のサウンド イベントを選択してから、[テスト]ボタンをクリックします。

スピーカーまたは接続したヘッドフォンから音が鳴ります。

コンピューターの録音機能を確認するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[サウンド レコーダー]の順に選択します。
2. [録音の開始]をクリックし、マイクに向かって話します。デスクトップにファイルを保存します。
3. [Windows Media Player]を起動して、サウンドを再生します。

 **注記：** 良好な録音結果を得るため、直接マイクに向かって話し、雑音がないように設定して録音します。

コンピューターのオーディオ設定を確認または変更するには、[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[サウンド]アイコンの順に選択します。

動画

お使いのコンピューターでは、以下のさまざまな動画機能を使用できます。

- 動画の再生
- インターネットを介したゲーム
- プレゼンテーション作成のための画像や動画の編集
- 外付けビデオ デバイスの接続

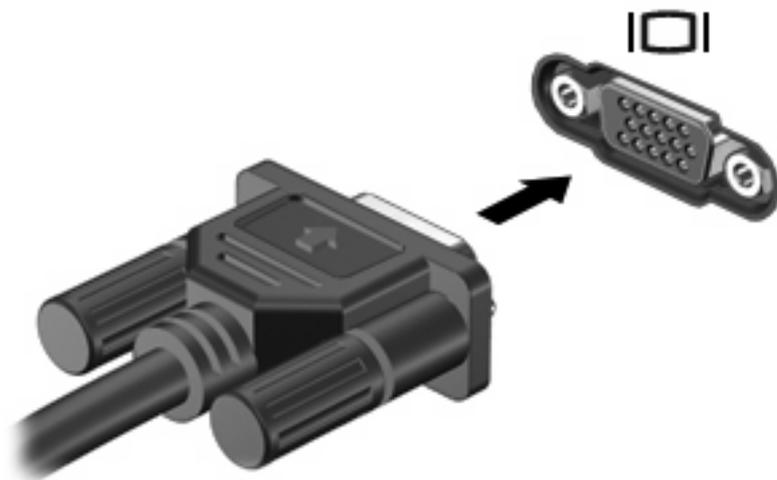
外付けモニターまたはプロジェクターの接続

お使いのコンピューターには外付けモニター コネクタと DisplayPort の両方があり、外付けモニター およびプロジェクターを接続できます。

外付けモニター コネクタの使用

外付けモニター コネクタによって、外付けモニターまたはプロジェクターなどの外付けディスプレイ デバイスをお使いのコンピューターに接続できます。

- ▲ ディスプレイ デバイスを接続するには、デバイスのケーブルを外付けモニター コネクタに接続します。



 **注記：** 正しく接続された外付けディスプレイ デバイスに画像が表示されない場合は、**fn + f4** を押して画像をデバイスに転送します。**fn + f4** を繰り返し押すと、表示画面がコンピューター本体のディスプレイと外付けディスプレイ デバイスとの間で切り替わります。

DisplayPort の使用

ディスプレイ コネクタは、高性能なモニターやプロジェクターなどの別売のデジタル ディスプレイ デバイスを接続します。DisplayPort は VGA 外付けモニター コネクタを上回るパフォーマンスを提供し、デジタル接続の質を向上させます。

- ▲ デジタル ディスプレイ デバイスを接続するには、デバイスのケーブルを DisplayPort に接続します。



☞ **注記：** 外付けディスプレイ デバイスを正しく接続しても画面が表示されない場合は、**fn + f4** キーを押して、ディスプレイ デバイスに画面を切り替えます。**fn + f4** キーを繰り返し押しすと、コンピューター本体のディスプレイとデバイスとで表示画面が切り替わります。

- ▲ デジタル ディスプレイ デバイスを取り外すには、リリース ボタンを押します。

DreamColor ディスプレイの使用（一部のモデルのみ）

HP DreamColor ディスプレイを搭載したモデルには、[HP Mobile Display Assistant]ソフトウェアがプリインストールされています。このプログラムを使用して、あらかじめ設定された色空間、白色点と色温度、および光度と輝度など、ディスプレイの色設定を調整できます。

- ▲ [HP Mobile Display Assistant]ソフトウェアにアクセスするには、タスクバーの右端の通知領域にある[Mobile Display Assistant]アイコンをクリックするか、[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP]→[Mobile Display Assistant]の順に選択します。

[HP Mobile Display Assistant]の使用方法については、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

オプティカル ドライブ（一部のモデルのみ）

オプティカル ドライブを使用して CD や DVD の再生、コピー、または作成が可能です。ただし、取り付けられているドライブの種類やインストールされているソフトウェアによって、可能な作業は異なります。

取り付けられているオプティカル ドライブの確認

▲ [スタート]→[コンピューター]の順に選択します。

オプティカル ディスクの使用（CD、DVD、および BD）

DVD-ROM などのオプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD および DVD）に対応しています。これらのディスクには、音楽、写真、および動画などの情報を保存します。DVD の方が、CD より大きい容量を扱うことができます。

オプティカル ドライブでは、標準的な CD や DVD のディスクの読み取りができます。お使いのオプティカル ドライブが BD ドライブであれば、BD の読み取りもできます。

☒ **注記：** 一覧には、お使いのコンピューターでサポートされていないドライブが含まれている場合もあります。また、サポートされているオプティカル ドライブすべてが下記の一覧に記載されているわけではありません。

以下の一覧に示すように、オプティカル ドライブによっては、オプティカル ディスクに書き込みができるものもあります。

オプティカル ドライブの種類	CD-RW への書き込み	DVD±RW/R への書き込み	DVD±R DL への書き込み	LightScribe CD または DVD±RW/R へのラベルの書き込み	BD R/RE への書き込み
DVD-ROM ドライブ	不可	不可	不可	不可	不可
LightScribe スーパーマルチ DVD±R ドライブ（2 層記録（DL）対応）*†	可	可	可	可	不可
スーパー マルチ DVD±R 対応ブルーレイ ROM ドライブ（2 層記録（DL）対応）*	可	可	可	不可	不可
スーパー マルチ DVD+/-RW 対応ブルーレイ R/RE ドライブ（2 層記録（DL）対応）*	可	可	可	不可	可

*2 層記録ディスクには、1 層式のディスクよりも多くのデータを保存できます。ただし、このドライブで作成された 2 層記録ディスクは、多くの 1 層式の DVD ドライブおよびプレーヤーに対応していない場合があります。

†LightScribe ディスクは別途購入する必要があります。LightScribe は白黒写真のようなグレースケールの画像を作成します。

△ **注意：** オーディオまたはビデオの劣化や、情報または再生機能の損失を防ぐため、CD、DVD、BD の読み取り、CD または DVD への書き込みをしているときにスリープまたはハイバネーションを開始しないでください。

正しいディスク（CD、DVD、およびBD）の選択

オプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD、DVD、およびBD）に対応しています。デジタル データの保存に使用される CD は商用の録音にも使用されますが、個人的に保存する必要がある場合にも便利です。DVD および BD は、主に動画、ソフトウェア、およびデータのバックアップのために使用します。DVD と BD のフォーム ファクターは CD と同じですが、容量ははるかに大きくなります。

 **注記：** お使いのコンピューターに取り付けられているオプティカル ドライブによっては、この項目で説明している一部のオプティカル ディスクに対応していない場合もあります。

CD-R ディスク

CD-R（一度だけ書き込み可能）ディスクは、恒久的なアーカイブを作成したり、仮想的にあらゆるユーザーとファイルを共有したりするときに使用します。一般的な用途は以下のとおりです。

- サイズの大きいプレゼンテーションの配布
- スキャンした写真やデジタル写真、ビデオ クリップ、および書き込みデータの共有
- 独自の音楽 CD の作成
- コンピューターのファイルやスキャンした記録資料などの恒久的なアーカイブの保存
- ディスク領域を増やすためのハードドライブからのファイルのオフロード（移動）

データを記録した後は、データを削除したり追加で書き込んだりすることはできません。

CD-RW ディスク

CD-RW ディスク（再書き込み可能な CD）を使用すると、頻繁に更新する必要がある大きなプロジェクトを保存できます。一般的な用途は以下のとおりです。

- サイズの大きいドキュメントやプロジェクト ファイルの開発および管理
- 作業ファイルの転送
- ハードドライブ ファイルの毎週のバックアップの作成
- 写真、動画、オーディオ、およびデータの継続的な更新

DVD±R ディスク

空の DVD±R を使用すると、大量の情報を恒久的に保存できます。データを記録した後は、データの削除や上書きができません。

DVD±RW ディスク

前に保存したデータを削除または上書きしたい場合は、DVD±RW ディスクを使用します。この種類のディスクは、変更できない CD または DVD に書き込む前にオーディオや動画の記録テストをする場合に最も適しています。

LightScribe DVD+R ディスク

LightScribe DVD+R ディスクは、データ、ホーム ビデオ、および写真を共有または保存するときに使用します。このディスクは、ほとんどの DVD-ROM ドライブや DVD ビデオ プレーヤーでの読み取りに対応しています。LightScribe が有効なドライブと LightScribe ソフトウェアを使用すると、ディ

スクにデータを書き込むのみでなく、ディスクの外側にラベルをデザインして追加することもできます。

ブルーレイ ディスク (BD)

BD は、HD 対応動画などのデジタル情報を保存するための高密度オプティカル ディスク フォーマットです。1 枚の 1 層式ブルーレイ ディスクで 25 GB まで保存でき、これは 4.7 GB の 1 層式 DVD の 5 倍以上の容量です。2 層式のブルーレイ ディスクでは 1 枚で 50 GB まで保存でき、これは 8.5 GB の 2 層式 DVD の 6 倍近くの容量になります。

通常は、以下の用途で使われます。

- 大量のデータの保存
- HD 対応動画の再生および保存
- ビデオ ゲーム

お使いのコンピューターには、BD ROM ドライブまたは BD R/RE ドライブが搭載されていることがあります。BD ROM は読み取り専用のフォーマットで、BD R/RE は BD への書き込みができるフォーマットです。

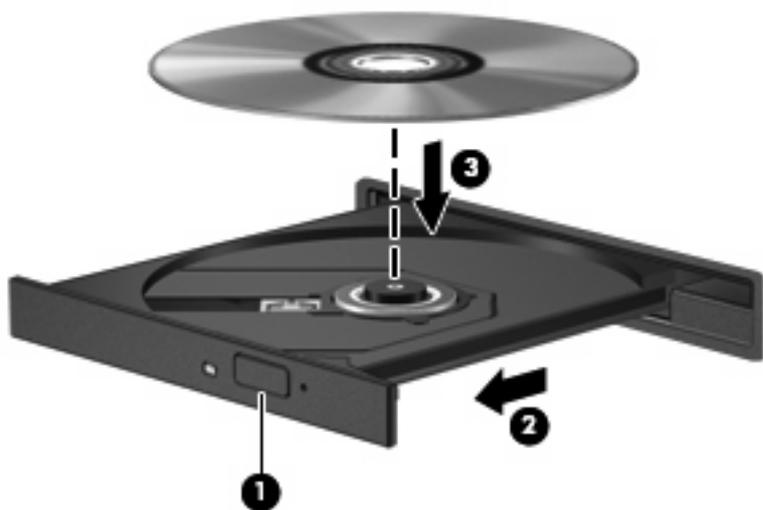
 **注記：** ブルーレイは新しい技術を採用した新しいフォーマットのため、ディスク、デジタル接続、互換性、およびパフォーマンスに関する問題が発生する可能性があります。製品自体の欠陥ではありません。すべてのシステムで問題なく再生できるという保証はありません。

CD、DVD、または BD の再生

1. コンピューターの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン (1) を押して、ディスク トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します (2)。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

 **注記：** ディスク トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまでディスクをゆっくり押し下げます (3)。



6. ディスクトレイを閉じます。

自動再生の動作を設定していない場合は、以下の項目で説明しているように、[自動再生]ダイアログボックスが開きます。メディアのコンテンツ（内容）をどのように扱うかについての選択を求められます。

 **注記：** 最適な状態で使用するためには、BDの再生中はACアダプターを外部電源に接続していることを確認してください。

自動再生の設定

1. [スタート]→[既定のプログラム]→[自動再生の設定の変更]の順に選択します。
2. [すべてのメディアとデバイスで自動再生を使う]チェックボックスにチェックが入っていることを確認します。
3. [既定を選択する]をクリックし、一覧に表示されている各メディアの種類から、使用可能なオプションのどれかを選択します。

 **注記：** DVDを再生する場合は、[WinDVD]を選択してください。

4. [保存]をクリックします。

 **注記：** 自動再生について詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

DVDの地域設定の変更

著作権で保護されているファイルを使用する多くのDVDには地域コードがあります。地域コードによって著作権は国際的に保護されます。

地域コードがあるDVDを再生するには、DVDの地域コードがDVDドライブの地域の設定と一致している必要があります。

△ **注意：** DVD ドライブの地域設定は、5 回までしか変更できません。

5 回目に選択した地域設定が、DVD ドライブの最終的な地域設定になります。

ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が、[DVD 地域]タブに表示されます。

オペレーティング システムで設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コンピューター]→[システム プロパティ]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[デバイス マネージャー]をクリックします。

 **注記：** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。アプリケーションのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、Windows の[ヘルプとサポート]を参照してください。

3. [DVD/CD-ROM ドライブ]の横のプラス記号 (+) をクリックします。
4. 地域設定を変更する DVD ドライブを右クリックして、次に[プロパティ]をクリックします。
5. [DVD 地域]タブで変更を行います。
6. [OK]をクリックします。

著作権に関する警告

コンピューター プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容などの著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピューターをそのような目的に使用しないでください。

CD、DVD、または BD のコピー

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[Roxio] (ロキシオ) →[Creator Business] (クリエイター ビジネス) の順に選択します。

 **注記：** [Roxio]を使用するのが初めての場合は、この処理を完了する前にプログラムの使用許諾契約に同意する必要があります。

2. 右側のパネルで、[ディスクのコピー]をクリックします。
3. コピーするディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
4. 画面右下の[ディスクのコピー]をクリックします。

コピー元のディスクが読み取られ、そのデータがハードドライブの一時フォルダーにコピーされます。

5. メッセージが表示されたら、コピー元のディスクをオプティカル ドライブから取り出して、空のディスクをドライブに挿入します。

データがコピーされると、自動的にトレイが開いて作成したディスクが出てきます。

CD、DVD、または BD の作成 (書き込み)

△ **注意：** 著作権に関する警告について確認してください。コンピューター プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容などの著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピューターをそのような目的に使用しないでください。

お使いの光学ドライブが CD-RW、DVD-RW、または DVD±RW の光学ドライブである場合は、[Windows Media Player]などのソフトウェアを使用して、MP3 や WAV 音楽ファイルなどのデータやオーディオ ファイルを書き込むことができます。

CD、DVD、または BD に書き込むときは、以下のガイドラインを参考にしてください。

- ディスクに書き込む前に、開いているファイルをすべて終了し、すべてのプログラムを閉じます。
- 通常、オーディオ ファイルの書き込みには CD-R または DVD-R が最適です。これはデータがコピーされた後、変更ができないためです。
- ホーム ステレオやカー ステレオによっては CD-RW を再生できないものもあるため、音楽 CD の書き込みには CD-R を使用します。
- 通常、CD-RW または DVD-RW は、データ ファイルの書き込みや、変更できない CD または DVD に書き込む前のオーディオまたはビデオ録画のテストに最適です。
- ホーム システムで使用される DVD プレーヤーは、通常、すべての DVD フォーマットに対応しているわけではありません。対応しているフォーマットの一覧については、DVD プレーヤーに付属の説明書を参照してください。
- MP3 ファイルは他の音楽ファイル形式よりファイルのサイズが小さく、MP3 ディスクを作成するプロセスはデータ ファイルを作成するプロセスと同じです。MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーまたは MP3 ソフトウェアがインストールされているコンピューターでのみ再生できます。

CD、DVD、または BD にデータを書き込むには、以下の操作を行います。

1. 元のファイルを、ハードドライブのフォルダーにダウンロードまたはコピーします。
2. 空のディスクを、光学ドライブに挿入します。
3. [スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択し、使用するソフトウェアの名前を選択します。
4. 作成するディスクの種類（データ、オーディオ、またはビデオ）を選択します。
5. [スタート]を右クリックしてから[エクスプローラーを開く]をクリックし、元のファイルを保存したフォルダーに移動します。
6. フォルダーを開き、空の光学ディスクのあるドライブにファイルをドラッグします。
7. 選択したプログラムの説明に沿って書き込み処理を開始します。

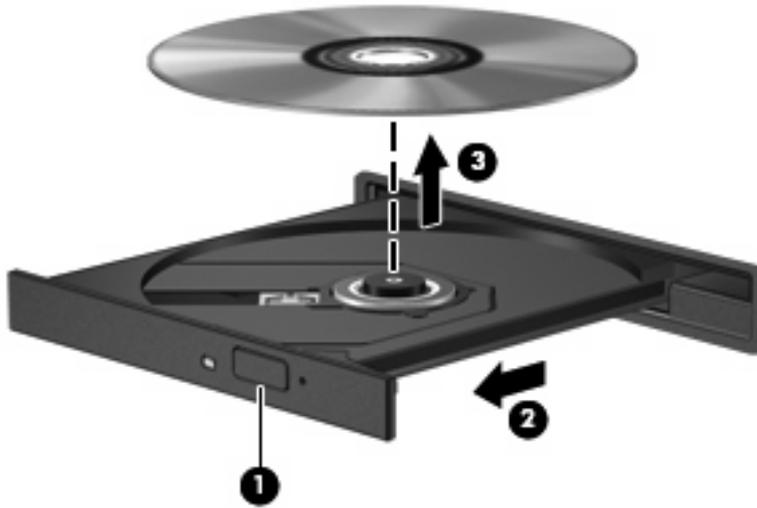
詳しい手順については、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ディスクに収録されていたり、ソフトウェアのヘルプに含まれていたり、またはソフトウェアの製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

光学ディスク（CD、DVD、または BD）の取り出し

1. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン (1) を押してディスク トレイを開き、トレイをゆっくりと完全に引き出します (2)。

2. 回転軸をそっと押さえながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します (3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

 **注記：** トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出してください。



3. ディスク トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

トラブルシューティング

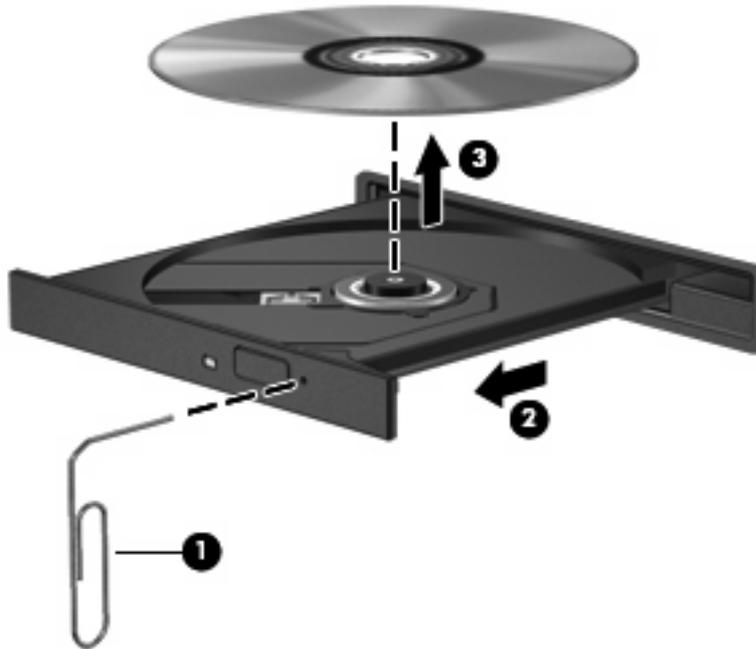
ここでは、一般的な問題と解決方法について説明します。

オプティカル ディスク トレイが開かず、CD、DVD、またはBD を取り出せない場合

1. ドライブのフロント パネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ (1) の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、ディスク トレイが開いたら、トレイを完全に引き出します (2)。

3. 回転軸をそっと押さえながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します(3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

 **注記：** トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出してください。



4. ディスク トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

コンピューターがオプティカル ドライブを検出しない場合

Windows が取り付けられているデバイスを検出しない場合は、デバイス ドライバー ソフトウェアがなくなったか壊れている可能性があります。DVD/CD-ROM ドライブの非検出が疑われる場合は、オプティカル ドライブが[デバイス マネージャー]ユーティリティの一覧に表示されていることを確認します。

1. オプティカル ドライブからディスクを取り出します。
2. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]の順に選択します。次に、[システム]領域で[デバイス マネージャー]をクリックします。
3. [デバイス マネージャー]ウィンドウで、マイナス記号 (-) がすでに表示されている場合を除き、[DVD/CD-ROM ドライブ]の横のプラス記号 (+) をクリックします。オプティカル ドライブの一覧を確認します。
4. 表示されているオプティカル ドライブを右クリックすると、以下のタスクを実行できます。
 - ドライバー ソフトウェアの更新
 - 無効化
 - アンインストール

- ハードウェアの変更をスキャンします。Windows はシステムをスキャンして取り付けられているハードウェアを検出し、必要な初期設定のドライバーをインストールします。
- デバイスが正しく動作しているかどうか確認するには、[プロパティ]をクリックします。
 - 問題の解決方法に役立つ、デバイスについての詳細情報を[プロパティ]ウィンドウで確認します。
 - デバイスのドライバーを更新、無効化、またはアンインストールするには、[ドライバー]タブをクリックします。

ディスクが再生できない場合

- CD、DVD、または BD を再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じます。
- CD、DVD、または BD を再生する前にインターネットをログオフします。
- ディスクを正しく挿入していることを確認します。
- ディスクが汚れていないことを確認します。必要に応じて、ろ過水や蒸留水で湿らせた柔らかい布でディスクを清掃してください。ディスクは中央から端の方に向かって拭きます。
- ディスクに傷がついていないことを確認します。傷がある場合は、一般の電器店や CD ショップなどで入手可能なオプティカル ディスクの修復キットで修復を試みることもできます。
- ディスクを再生する前にスリープ モードを無効にします。

ディスクの再生中にはハイバネーションまたはスリープを開始しないでください。開始すると、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示されることがあります。このメッセージが表示されたら、[いいえ]をクリックします。[いいえ]をクリックすると、以下のようになります。

- 再生が再開します。

または

- マルチメディア プログラムの再生ウィンドウが閉じます。ディスクの再生に戻るには、マルチメディア プログラムの[再生]ボタンをクリックしてディスクを再起動します。場合によっては、プログラムを終了してからの再起動が必要になることもあります。
- システムのリソースを増やします。

プリンターとスキャナーなどの外付けデバイスの電源を切ります。外付けデバイスを切断することで、システム リソースが解放され、再生パフォーマンスが向上されます。

デスクトップの色のプロパティを変更します。16 ビットを超える色の違いは人間の目では簡単に見分けられないため、以下の方法でシステムの色のプロパティを 16 ビットの色に下げても、動画の再生時の色の違いは気にならないでしょう。

1. アイコン以外の、デスクトップ上の任意の場所を右クリックし、[画面の解像度]を選択します。
2. [詳細設定]→[モニター]タブをクリックします。
3. 設定がまだされていない場合は、[High Color (16 ビット)]をクリックします。
4. [OK]をクリックします。

ディスクが自動再生されない場合

1. [スタート]→[既定のプログラム]→[自動再生の設定の変更]の順に選択します。
2. [すべてのメディアとデバイスで自動再生を使う]チェック ボックスにチェックが入っていることを確認します。
3. [保存]をクリックします。

これで、CD、DVD、またはBD をオプティカル ドライブに挿入したときに自動的に再生されます。

動画が停止したりコマ落ちしたりする場合や、再生が不安定な場合

- ディスクを清掃します。
- 以下の操作を実行して、システム リソースを節約します。
 - インターネットからログオフします。
 - デスクトップの色のプロパティを変更します。
 1. コンピューター デスクトップの空いている場所を右クリックし、[画面の解像度]を選択します。
 2. [詳細設定]→[モニター]タブの順に選択します。
 3. 設定がまだされていない場合は、[High Color (16 ビット)]をクリックします。
 4. [OK]をクリックします。
 - プリンター、スキャナー、カメラ、携帯電話などの外付けデバイスを取り外します。

動画が外付けディスプレイに表示されない場合

1. コンピューターのディスプレイと外付けディスプレイの両方の電源が入っている場合は、**fn + f4** を1回以上押して、表示画面をどちらかに切り替えます。
2. 外付けディスプレイがメインになるようにモニターの設定を行います。
 - a. コンピューター デスクトップの空いている場所を右クリックし、[画面の解像度]を選択します。
 - b. メイン ディスプレイとセカンダリ ディスプレイを指定します。

 **注記：** 両方のディスプレイを使用する場合は、DVD の画像はセカンダリ ディスプレイとして指定したディスプレイには表示されません。

マルチメディアに関して、このガイドで説明されていない質問について情報を得るには、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。

ディスクへの書き込み処理が行われず、または完了する前に終了してしまう場合

- 他のプログラムがすべて終了していることを確認します。
- スリープ モードおよびハイバネーションを無効にします。
- お使いのドライブに適した種類のディスクを使用していることを確認します。ディスクの種類について詳しくは、ディスクに付属の説明書を参照してください。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。

- より低速の書き込み速度を選択し、再試行します。
- ディスクをコピーしている場合は、コピー元のディスクのコンテンツを新しいディスクに書き込む前に、その情報をハードドライブへコピーし、ハードドライブから書き込みます。
- [デバイス マネージャー]の[DVD/CD-ROM ドライブ]カテゴリにあるディスク書き込みデバイスのドライバーを再インストールします。

デバイス ドライバーを再インストールする必要がある場合

1. オプティカル ドライブからディスクを取り出します。
2. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[デバイス マネージャー]の順に選択します。
3. [デバイス マネージャー]ウィンドウで、マイナス記号（－）がすでに表示されている場合を除き、アンインストールおよび再インストールするドライバーの種類（DVD/CD-ROM やモデムなど）の横のプラス記号（＋）をクリックします。
4. 一覧からデバイスを右クリックし、[アンインストール]をクリックします。確認のメッセージが表示されたら、デバイスを削除することを確認します。ただし、コンピューターは再起動しないでください。削除するその他のすべてのドライバーでこの操作を繰り返します。
5. [デバイス マネージャー]ウィンドウで、[操作]→[ハードウェア変更のスキャン]の順にクリックします。Windows は、お使いのシステムから取り付けられているハードウェアをスキャンし、ドライバーを必要とするすべてのハードウェアに対して初期設定のドライバーをインストールします。

 **注記：** コンピューターを再起動する画面が表示された場合は、開いているファイルをすべて保存してから再起動を続行します。

6. 必要に応じて[デバイス マネージャー]を再び開き、ドライバーが表示されていることをもう一度確認します。
7. デバイスを使用します。

デバイス ドライバーをアンインストールまたは再インストールしても問題が解決されない場合、以下の項目の手順に沿ってドライバーを更新する必要があります。

最新の HP デバイス ドライバーの入手

HP の Web サイトを使用して HP デバイス ドライバーを入手するには、以下の操作を行います。

1. インターネット ブラウザーを開いて、<http://www.hp.com/jp/support/>を表示します。
2. [ドライバー&ソフトウェアをダウンロードする]オプションをクリックし、お使いのコンピューターの製品名または製品番号を[製品名・番号で検索]フィールドに入力します。
3. **enter** キーを押し、画面の説明に沿って操作します。

Microsoft デバイス ドライバーの入手

[Windows Update]を使用すると、最新の Windows デバイス ドライバーを入手できます。この機能は、ハードウェア ドライバー、Windows オペレーティング システム、およびその他の Microsoft 製品に関する更新を自動的に確認し、インストールするように設定できます。

[Windows Update]を使用するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[Windows Update]**の順にクリックします。

 **注記：** [Windows Update]がまだ設定されていない場合は、更新チェックの前に設定を入力するよう求めるメッセージが表示されます。

2. **[更新プログラムの確認]**をクリックします。
3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

Web カメラ

 **注記：** ここでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターで対応していない場合もあります。

お使いのコンピューターには、ディスプレイの上部に Web カメラが内蔵されています。プリインストールされたソフトウェアを使用すると、Web カメラを使用して写真の撮影、動画の録画、またはオーディオの録音ができます。写真、録画した動画、または録音したオーディオをプレビューして、コンピューターのハードドライブに保存できます。

Web カメラおよび[HP Webcam]ソフトウェアにアクセスするには、[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP]→[HP Webcam]の順に選択します。

[HP Webcam]ソフトウェアを使用すると、以下の機能を利用できます。

- 動画：動画の録画や再生を行います。また、ソフトウェア インターフェイスのアイコンを使用して、動画を電子メールで送信したり、YouTube にアップロードしたりできます。
- オーディオの録音や再生を行います。
- 動画の再生：UVC (Universal Video Class) カメラをサポートするインスタント メッセージ ソリューションで使用します。
- スナップショット：静止画像を撮影します。
- [HP Business Card Reader] (一部のモデルのみ)：名刺を連絡先情報に使用できるデータベースに変換するために使用します。

Web カメラ使用上の注意

パフォーマンスを最適にするために、Web カメラを使用するときには以下のガイドラインを参考にしてください。

- 動画によるチャットを行う前に、インスタント メッセージ プログラムが最新のバージョンであることを確認してください。
- ネットワーク ファイアウォールの種類によっては、Web カメラが正常に機能しない場合があります。

 **注記：** マルチメディア ファイルを閲覧したり、別の LAN またはネットワーク ファイアウォール外のユーザーへマルチメディア ファイルを送信したりするときに問題が生じる場合は、ファイアウォールを一時的に無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を恒久的に解決するには、必要に応じてファイアウォールを再設定したり、他の侵入検知システムのポリシーや設定を調整したりします。詳しくは、ネットワーク管理者または IT 部門に問い合わせてください。

- 可能な限り、Web カメラの背後の画面領域の外に明るい光源を置いてください。

 **注記：** Web カメラの使用について詳しくは、Web カメラ ソフトウェアのヘルプを参照してください。

Web カメラ プロパティの調整

[プロパティ]ダイアログ ボックスを使用して、Web カメラのプロパティを調整できます。このダイアログ ボックスには、内蔵カメラを使用する各種プログラムの構成、設定、またはプロパティ メニューから通常はアクセスできます。

- **【輝度】**：画像に取り込まれる光の量を調整します。輝度を高く設定すると明るい画像になり、輝度を低く設定すると暗い画像になります。
- **【コントラスト】**：画像の明るさと暗さの対比を調整します。コントラストを高く設定すると画像の対比の度合いが高まり、コントラストを低く設定すると、元の情報のダイナミック レンジを維持しますがより平面的な画像になります。
- **【色相】**：他の色（赤、緑、または青など）から区別する色合いを調整します。色相は色彩と異なり、色彩は色相の強さを示します。
- **【色彩】**：最終的な画像の色みの強さを調整します。色彩を高く設定するとより鮮やかな画像になり、色彩を低く設定するとよりくすんだ画像になります。
- **【シャープネス】**：画像の境界線の緻密さを調整します。シャープネスを高く設定するとより鮮明な画像になり、シャープネスを低く設定するとソフトな画像になります。
- **【ガンマ】**：中間レベルのグレーまたはイメージの中間トーンに影響するコントラストを調整します。画像のガンマを調整すると、シャドウとハイライトを大幅に変更しないで、中間グレー トーンの明度値を変更できます。ガンマを低く設定すると灰色は黒に近くなり、暗い色はさらに暗い色になります。

Web カメラの使用方法については、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。

名刺画像の取り込み

Web カメラを[HP Business Card Reader]プログラムとともに使用して、名刺画像を取り込み、[Microsoft Outlook]の連絡先など、さまざまな種類のアドレス帳ソフトウェアにテキストをエクスポートできます。

名刺画像を取り込むには、以下の操作を行います。

1. **【スタート】**→**【すべてのプログラム】**→**【HP Business Card Reader】**の順に選択します。
2. 1枚の名刺を取り込むには、**【シングル スキャン】**を選択します。

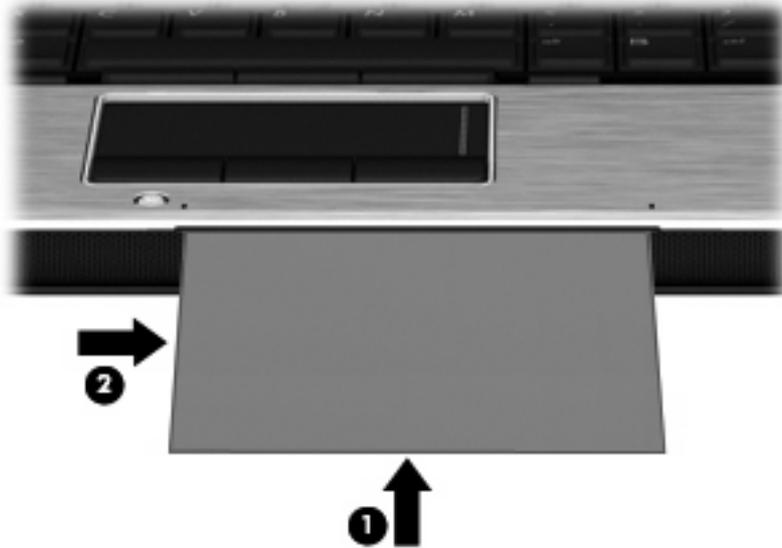
または

複数の名刺を取り込むには、**【マルチ スキャン】**を選択します。

【Preview】（プレビュー）ウィンドウが開きます。

3. コンピューター前面の名刺スロットに名刺を差し込み (1)、カードを右方向にスライドさせて (2) Web カメラの位置に合わせます。

 **注記：** スロットでテキストが隠れている場合は、テキストを Web カメラに向けた状態で名刺を 180 度回転させます。



4. ディスプレイをゆっくりと下げていき (1)、Web カメラ ランプ (2) が点滅して音が聞こえたところで止めます。これで Web カメラが名刺に焦点を合わせている状態になります。

Web カメラがオンになり、スキャン処理がただちに開始します。画像が取り込まれるとカメラのシャッター音が鳴り、名刺から取り込まれた情報がフィールドに自動的に入力されます。



5. 複数の名刺画像を取り込む場合は、名刺を取り出して次の名刺を挿入します。名刺にフォーカスが合うと、Web カメラ ランプが点灯します。その後、Web カメラが名刺画像を取り込み、Web カメラ ランプは消灯します。

この手順を、残りの名刺に対して繰り返します。

 **注記：** すべての名刺の取り込みが終わるまで、ディスプレイを動かしたり持ち上げたりしないでください。

6. 必要な名刺画像をすべて取り込み終わったら、名刺をスロットから取り出し、ディスプレイを持ち上げます。
7. [HP Business Card Reader]によって取り込まれたデータを確認し、うまく取り込めたかどうかを確認します。

[HP Business Card Reader]の使用方法について詳しくは、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

5 電源の管理

電源オプションの設定

省電力設定の使用

お使いのコンピューターでは、2つの省電力設定が出荷時に有効になっています。スリープおよびハイバネーションです。

スリープを開始すると、電源ランプが点滅し画面表示が消えます。作業中のデータがメモリに保存されます。スリープを終了するときはハイバネーションを終了するときよりも早く作業に戻れます。コンピューターが長時間スリープ状態になった場合、またはスリープ状態のときにバッテリーが完全なローバッテリー状態になった場合は、ハイバネーションを開始します。

ハイバネーションを開始すると、データがハードドライブのハイバネーションファイルに保存されて、コンピューターの電源が切れます。

△ **注意：** オーディオおよびビデオの劣化、再生機能の損失、または情報の損失を防ぐため、ディスクや外付けメディアカードの読み取りまたは書き込み中にスリープやハイバネーションを開始しないでください。

🔒 **注記：** コンピューターがスリープまたはハイバネーション状態の場合は、無線接続やコンピューターの機能を実行することが一切できなくなります。

注記： [HP 3D DriveGuard]によってドライブが停止された場合、スリープやハイバネーションは開始されず、画面表示が消えます。

スリープの開始および終了

システムは、バッテリー電源の使用時に操作しない状態が15分間続いた場合、または外部電源の使用時に操作しない状態が30分間続いた場合に、スリープを開始するように出荷時設定されています。

電源設定およびタイムアウトは、Windowsの[コントロールパネル]にある[電源オプション]で変更できます。

コンピューターの電源がオンの場合、以下のどれかの方法でスリープを開始できます。

- fn + f3 キーを押します。
- [スタート]→[電源]ボタンの順に選択します。
- [スタート]→[ロック]ボタンの横にある矢印→[スリープ]の順に選択します。

スリープ状態を終了するには、以下の操作を行います。

- ▲ 電源ボタンを短く押します。

コンピューターがスリープを終了すると、電源ランプが点灯し、作業を中断した時点の画面に戻ります。

 **注記：** コンピューターがスリープを終了するときにパスワードの入力を要求するように設定した場合は、作業画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

ハイバネーションの開始および終了

システムは、バッテリー電源の使用時に操作しない状態が 1080 分（18 時間）続いた場合、外部電源の使用時に操作しない状態が 1080 分（18 時間）続いた場合、または完全なロー バッテリー状態に達した場合に、ハイバネーションを開始するように出荷時に設定されています。

電源設定およびタイムアウトは、Windows の[コントロール パネル]にある[電源オプション]で変更できます。

ハイバネーションを開始するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[ロック]ボタンの横にある矢印の順にクリックします。
2. [休止状態]をクリックします。

ハイバネーションを終了するには、以下の操作を行います。

- ▲ 電源ボタンを短く押します。

電源ランプが点灯し、作業を中断した時点の画面に戻ります。

 **注記：** ハイバネーションを終了するときにパスワードの入力を要求するように設定した場合は、作業画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

バッテリー メーターの使用

バッテリー メーターはタスクバーの右端の通知領域にあります。バッテリー メーターを使用すると、すばやく電源設定にアクセスしたり、バッテリー充電残量を表示したり、別の電源プランを選択したりできます。

- 充電残量率と現在の電源プランを表示するには、ポインターを[バッテリー メーター]アイコンの上に移動します。
- 電源オプションにアクセスしたり、電源プランを変更したりするには、[バッテリー メーター]アイコンをクリックして一覧から項目を選択します。

コンピューターがバッテリー電源で動作しているか外部電源で動作しているかは、[バッテリー メーター]アイコンの形の違いで判別できます。アイコンには、バッテリーが完全なロー バッテリー状態になったかどうかのメッセージも表示されます。

[バッテリー メーター]アイコンを表示または非表示にするには、以下の操作を行います。

1. タスクバーを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
2. [通知領域]タブをクリックします。
3. システム アイコンの下で、[電源]チェック ボックスのチェックを外して[バッテリー メーター]アイコンを非表示にするか、[電源]チェック ボックスにチェックを入れて[バッテリー メーター]アイコンを表示します。
4. [OK]をクリックします。

電源プランの使用

電源プランはコンピューターがどのように電源を使用するかを管理するシステム設定の集まりです。電源プランによって、電力を節約し、パフォーマンスを最大限に向上させることができます。

電源プランの設定を変更したり、独自の電源プランを作成したりできます。

現在の電源プランの表示

- ▲ タスクバーの右端の通知領域にある[バッテリー メーター]アイコンの上にポインターを移動します。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。

異なる電源プランの選択

- ▲ 通知領域にある[バッテリー メーター]アイコンをクリックし、一覧から電源プランを選択します。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択し、一覧から電源プランを選択します。

電源プランのカスタマイズ

1. 通知領域の[バッテリー メーター]アイコン→[その他の電源オプション]の順にクリックします。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。

2. 電源プランを選択し、[プラン設定の変更]をクリックします。
3. 必要に応じて、[ディスプレイの電源を切る]および[コンピューターをスリープ状態にする]のタイムアウト設定を変更します。
4. その他の設定を変更するには、[詳細な電源設定の変更]をクリックし、変更を行います。

復帰時のパスワード保護の設定

スリープ状態またはハイバネーション状態が終了したときにパスワードの入力を求めるようにコンピューターを設定するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[復帰の際パスワードを必要とする]をクリックします。
3. [現在使用できない設定の変更]をクリックします。
4. [パスワードを必要とする (推奨)]をクリックします。
5. [変更の保存]をクリックします。

外部電源の使用

外部電源は、以下のどちらかのデバイスを通じて供給されます。

- △ **警告！** 安全に関する問題の発生を防ぐため、コンピューターを使用する場合は、コンピューターに付属している AC アダプター、HP が提供する交換用 AC アダプター、または HP から購入した対応する AC アダプターを使用してください。

- 認定された AC アダプター
- 別売のドッキング デバイス

以下のどれかの条件にあてはまる場合はコンピューターを外部電源に接続してください。

- △ **警告！** 航空機内でコンピューターのバッテリーを充電しないでください。

- バッテリーを充電またはバッテリー ゲージを調整する場合
- システム ソフトウェアをインストールまたは変更する場合
- CD または DVD に情報を書き込む場合

コンピューターを外部電源に接続すると、以下のようになります。

- バッテリーの充電が始まります。
- コンピューターの電源が入ると、通知領域の[バッテリー メーター]アイコンの表示が変わります。

外部電源の接続を外すと、以下のようになります。

- コンピューターの電源がバッテリーに切り替わります。
- バッテリー電源を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。ディスプレイの輝度を上げるには、**fn + f10** ホットキーを押すか、AC アダプターを接続しなおします。

AC アダプターの接続

- △ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに差し込んでください。

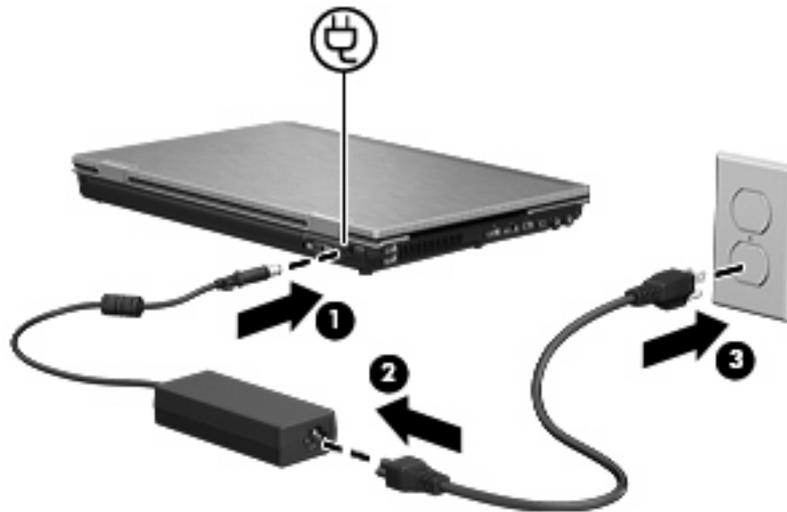
外部電源からコンピューターへの電力供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コードをコンピューターからではなくコンセントから抜いてください。

安全に使用するため、必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。2 ピンのアダプターを接続するなどして電源コードのアース端子を無効にしないでください。アース端子は重要な安全上の機能です。

コンピューターを外部電源に接続するには、以下の操作を行います。

1. AC アダプターをコンピューターの電源コネクタに接続します (1)。
2. 電源コードを AC アダプターに接続します (2)。

3. 電源コードの反対側の端を電源コンセントに接続します (3)。



バッテリー電源の使用

充電済みのバッテリーが装着され、外部電源に接続されていない場合、コンピューターはバッテリー電源で動作します。外部電源に接続されている場合、コンピューターは外部電源で動作します。

充電済みのバッテリーを装着したコンピューターが AC アダプターから電力が供給される外部電源で動作している場合、AC アダプターを取り外すと、電源がバッテリー電源に切り替わります。

注記： 外部電源の接続を外すと、バッテリー電源を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。ディスプレイの輝度を上げるには、**fn + f10** ホットキーを使用するか、AC アダプターを接続しなおします。

作業環境に応じて、バッテリーをコンピューターに装着しておくことも、ケースに保管することも可能です。コンピューターを外部電源に接続している間、常にバッテリーを装着しておけば、バッテリーは充電されていて、停電した場合でも作業データを守ることができます。ただし、バッテリーをコンピューターに装着したままにしておくと、コンピューターを外部電源に接続していない場合は、コンピューターがオフのときでもバッテリーは徐々に放電していきます。

警告！ 安全に関する問題の発生を防ぐため、この製品を使用する場合は、コンピューターに付属しているバッテリー、HP が提供する交換用バッテリー、または HP から購入した対応するバッテリーを使用してください。

コンピューターのバッテリーは消耗品で、その寿命は、電源管理の設定、コンピューターで動作しているプログラム、画面の輝度、コンピューターに接続されている外付けデバイス、およびその他の要素によって異なります。

[ヘルプとサポート]でのバッテリー情報の確認

[ヘルプとサポート]の[ラーニング センター]にある[バッテリー情報]チャプターでは、以下のツールと情報が提供されます。

- バッテリーの性能をテストするための[HP バッテリー チェック]ツール
- バッテリーの寿命を延ばすための、バッテリー ゲージの調整、電源管理、および適切な取り扱いと保管に関する情報
- バッテリーの種類、仕様、ライフ サイクル、および容量に関する情報

バッテリー情報にアクセスするには、以下の操作を行います。

- ▲ [スタート]→[ヘルプとサポート]→[ラーニング センター]の順に選択します。[HP サポート アシスタント]が起動したら、バッテリー情報の場所までスクロールします。

[HP バッテリー チェック]の使用

[HP バッテリー チェック]では、コンピューターに取り付けられているバッテリーの状態について情報を提供します。

[HP バッテリー チェック]を実行するには、以下の操作を行います。

1. AC アダプターをコンピューターに接続します。

 **注記：** [HP バッテリー チェック]を正常に動作させるため、コンピューターを外部電源に接続しておく必要があります。

2. [スタート]→[ヘルプとサポート]→[トラブルシューティング]→[電源、サーマル、および機械]の順に選択してから、[電源]タブをクリックします。

[HP バッテリー チェック]は、バッテリーとそのセルを検査して、バッテリーとそのセルが正常に機能しているかどうかを確認し、検査の結果を表示します。

バッテリー充電残量の表示

- ▲ タスクバーの右端の通知領域にある[バッテリー メーター]アイコンの上にポインターを移動します。

または

[Windows モビリティ センター]でバッテリー残量の推定使用可能時間（分）を表示します。

- ▲ [バッテリー メーター]アイコン→[Windows モビリティ センター]の順にクリックします。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[モバイル コンピューター]→[Windows モビリティ センター]の順に選択します。

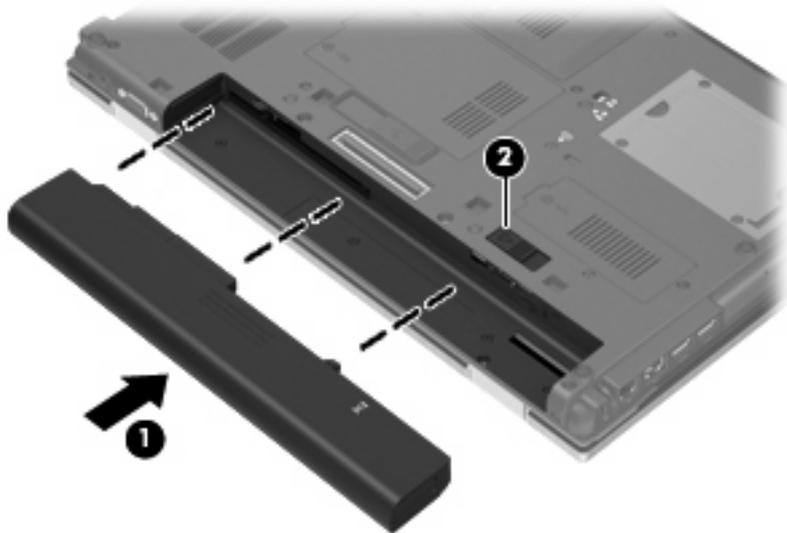
時間は、現在のレベルでバッテリーの電力を使い続けた場合にバッテリーを使用できる推定残り時間を示します。たとえば、DVD を再生すると残り時間が短くなり、停止すると残り時間が長くなります。

バッテリーの着脱

- △ **注意：** コンピューターの電源としてバッテリーのみを使用しているときにそのバッテリーを取り外すと、情報が失われる可能性があります。バッテリーを取り外す場合は、データの損失を防ぐため、作業中のデータを保存してから、あらかじめハイバネーションを開始するかオペレーティング システムの通常の手順でコンピューターをシャットダウンしておいてください。

バッテリーを装着するには、以下の操作を行います。

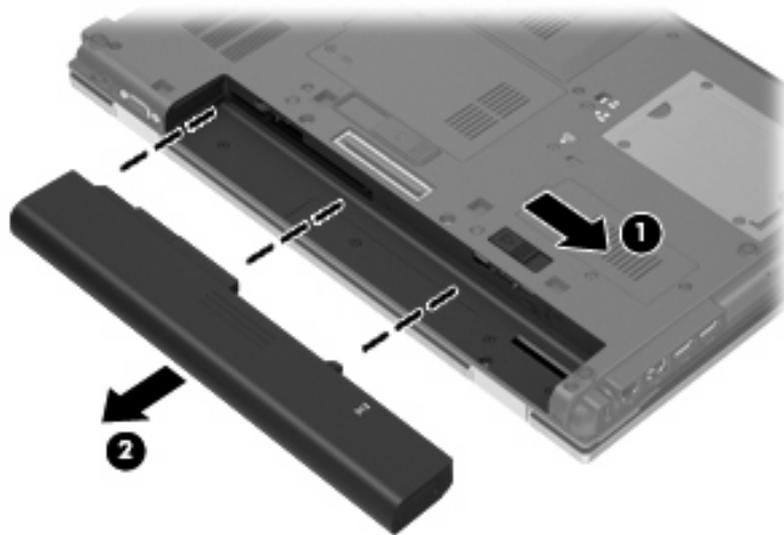
1. バッテリー ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
2. バッテリー ベイにバッテリーを挿入し (1)、所定の位置に固定されるまで押し込みます。
バッテリー リリース ラッチ (2) でバッテリーが自動的に固定されます。



バッテリーを取り外すには、以下の操作を行います。

1. バッテリー ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
2. バッテリー リリース ラッチをスライドさせて (1) バッテリーの固定を解除します。

3. バッテリーを取り外します (2)。



バッテリーの充電

△ **警告!** 航空機内でコンピューターのバッテリーを充電しないでください。

バッテリーは、コンピューターが外部電源 (AC アダプター経由)、別売の電源アダプター、別売の拡張製品、または別売のドッキング デバイスに接続している間、常に充電されます。

バッテリーは、コンピューターの電源が入っているかどうかにかかわらず充電されますが、電源を切ったときの方が早く充電が完了します。

バッテリーが新しいか 2 週間以上使用されていない場合、またはバッテリーの温度が室温よりも高すぎたり低すぎたりする場合、充電に時間がかかることがあります。

バッテリーの寿命を延ばし、バッテリー残量が正確に表示されるようにするには、以下の点に注意してください。

- 新しいバッテリーを充電する場合は、コンピューターの電源を入れる前にバッテリーを完全に充電してください。
- バッテリー ランプが消灯するまでバッテリーを充電してください。

☞ **注記:** コンピューターの電源が入っている状態でバッテリーを充電すると、バッテリーが完全に充電される前に通知領域にあるバッテリー メーターに 100%と表示される場合があります。

- 通常の使用で完全充電時の 5%未満になるまでバッテリーを放電してから充電してください。
- 1 か月以上使用していないバッテリーは、充電ではなくバッテリー ゲージの調整を行います。

バッテリー ランプに以下のように充電状態が表示されます。

- 点灯: バッテリーが充電中です。
- 点滅: バッテリーがロー バッテリー状態か完全なロー バッテリー状態になっており、充電されていません。
- 消灯: バッテリーの充電が完了しているか、バッテリーを使用中か、バッテリーが装着されていない状態です。

バッテリーの放電時間の最長化

バッテリーの放電時間は、バッテリー電源で動作しているときに使用する機能によって異なります。バッテリーの容量は自然に低下するため、バッテリーの最長放電時間は徐々に短くなります。

バッテリーの放電時間を長く保つには、以下の点に注意してください。

- ディスプレイの輝度を下げます。
- [電源オプション]の[省電力]設定を確認します。
- バッテリーが使用されていないとき、または充電されていないときは、コンピューターからバッテリーを取り外します。
- バッテリーを気温や湿度の低い場所に保管します。

ロー バッテリー状態への対処

ここでは、出荷時に設定されている警告メッセージおよびシステム応答について説明します。ロー バッテリー状態の警告とシステム応答の設定は、Windows の[コントロール パネル]の[電源オプション]で変更できます。[電源オプション]ウィンドウでの設定は、ランプの状態には影響しません。

ロー バッテリー状態の確認

コンピューターの電源としてバッテリーのみを使用しているときにバッテリーがロー バッテリー状態になると、バッテリー ランプが点滅します。

ロー バッテリー状態を解決しないと完全なロー バッテリー状態に入り、バッテリー ランプがすばやく点滅します。

完全なロー バッテリーの状態になった場合、コンピューターでは以下の処理が行われます。

- ハイバネーションが有効で、コンピューターの電源が入っているかスリープ状態のときは、ハイバネーションが開始します。
- ハイバネーションが無効で、コンピューターの電源が入っているかスリープ状態のときは、短い時間スリープ状態になってから、システムが終了します。このとき、保存されていない情報は失われます。

ロー バッテリー状態の解決

△ **注意：** 情報の損失を防ぐため、コンピューターが完全なロー バッテリー状態になり、ハイバネーションが開始した場合は、電源ランプが消灯するまで電源を入れないでください。

外部電源を使用できる場合のロー バッテリー状態の解決

- ▲ 以下のデバイスのどれかを接続します。
 - コンピューターに付属の AC アダプター
 - 別売の拡張製品またはドッキング デバイス
 - 別売の電源アダプター

充電済みのバッテリーを使用できる場合のロー バッテリー状態の解決

1. コンピューターの電源を切るか、ハイバネーションを開始します。
2. 放電したバッテリーを取り出し、充電済みのバッテリーを装着します。
3. コンピューターの電源を入れます。

電源を使用できない場合のロー バッテリー状態の解決

- ▲ ハイバネーションを開始します。
または
作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。

ハイバネーションを終了できない場合のロー バッテリー状態の解決

ハイバネーションを終了するための十分な電力がコンピューターに残っていない場合は、以下の操作を行います。

1. 充電済みのバッテリーを装着するか、コンピューターを外部電源に接続します。
2. 電源ボタンを短く押して、ハイバネーションを終了します。

バッテリー ゲージの調整

バッテリー ゲージの調整は、以下の場合に必要です。

- バッテリー充電情報の表示が不正確な場合
- バッテリーの通常の動作時間が極端に変化した場合

バッテリーを頻繁に使用している場合でも、1か月に2回以上バッテリー ゲージを調整する必要はありません。また、新しいバッテリーを初めて使用する前にバッテリー ゲージを調整する必要はありません。

手順 1：バッテリーを完全に充電する

△ **警告！** 航空機内でコンピューターのバッテリーを充電しないでください。

🔍 **注記：** バッテリーは、コンピューターの電源が入っているかどうかにかかわらず充電されますが、電源を切ったときの方が早く充電が完了します。

バッテリーを完全に充電するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターにバッテリーを装着します。
2. コンピューターを AC アダプター、別売の電源アダプター、別売の拡張製品、または別売のドッキング デバイスに接続し、そのアダプターまたはデバイスを外部電源に接続します。
コンピューターのバッテリー ランプが点灯します。
3. バッテリーが完全に充電されるまで、コンピューターを外部電源に接続しておきます。
充電が完了すると、コンピューターのバッテリー ランプが消灯します。

手順 2 : ハイバネーションとスリープを無効にする

1. 通知領域にある[バッテリー メーター]アイコン→[その他の電源オプション]の順にクリックします。
または
[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択します。
2. 現在の電源プランで、[プラン設定の変更]をクリックします。
3. バッテリー ゲージの調整後に設定を元に戻せるように、[バッテリー駆動]列の[ディスプレイの電源を切る]および[コンピューターをスリープ状態にする]の設定を記録しておきます。
4. [ディスプレイの電源を切る]および[コンピューターをスリープ状態にする]の設定を[しない]に変更します。
5. [詳細な電源設定の変更]をクリックします。
6. [スリープ]の横のプラス記号 (+) →[次の時間が経過後休止状態にする]の横のプラス記号の順にクリックします。
7. バッテリー ゲージ調整後に設定を元に戻せるように、[次の時間が経過後休止状態にする]の下の[バッテリー駆動]の設定を記録しておきます。
8. [バッテリー駆動]の設定を[なし]に変更します。
9. [OK]をクリックします。
10. [変更の保存]をクリックします。

手順 3 : バッテリーを放電する

バッテリーの放電中は、コンピューターの電源を入れたままにしておく必要があります。バッテリーは、コンピューターを使用しているかどうかにかかわらず放電できますが、使用している方が早く放電が完了します。

- 放電中にコンピューターを放置しておく場合は、放電を始める前に作業中のファイルを保存してください。
- 放電中にコンピューターを使用する予定で、省電力設定を利用している場合、放電処理中はシステムの動作が以下のようになります。
 - モニターが自動的にオフになりません。
 - コンピューターがアイドル状態のときでも、ハードドライブの速度は自動的に低下しません。
 - システムによるハイバネーションは開始されません。

バッテリーを放電するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを外部電源から切断します。ただし、コンピューターの電源は切らないでください。
2. バッテリーが放電するまで、バッテリー電源でコンピューターを動作させます。バッテリーの放電が進んでロー バッテリー状態になると、バッテリー ランプが点滅し始めます。バッテリーが放電すると、バッテリー ランプが消灯して、コンピューターの電源が切れます。

手順 4 : バッテリーを完全に再充電する

バッテリーを再充電するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを外部電源に接続して、バッテリーが完全に再充電されるまで接続したままにします。再充電が完了すると、コンピューターのバッテリー ランプが消灯します。
バッテリーの再充電中でもコンピューターは使用できますが、電源を切っておく方が充電が早く完了します。
2. コンピューターの電源を切っていた場合は、バッテリーが完全に充電されてバッテリー ランプが消灯した後で、コンピューターの電源を入れます。

手順 5 : ハイバネーションとスリープを再び有効にする

△ **注意：** バッテリー ゲージの調整後にハイバネーションを有効にしないと、コンピューターが完全なロー バッテリー状態になった場合、バッテリーが完全に放電して情報が失われるおそれがあります。

1. 通知領域にある[バッテリー メーター]アイコン→[その他の電源オプション]の順にクリックします。
または
[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択します。
2. 現在の電源プランで、[プラン設定の変更]をクリックします。
3. [バッテリー駆動]列の項目を、記録しておいた設定に戻します。
または
[このプランの初期設定を復元する]をクリックして、画面の説明に沿って操作します。

 **注記：** 初期設定に戻す場合は、手順 4～8 を省略してください。

4. [詳細な電源設定の変更]をクリックします。
5. [スリープ]の横のプラス記号 (+) → [次の時間が経過後休止状態にする]の横のプラス記号の順にクリックします。
6. [バッテリー駆動]列を、記録しておいた設定に戻します。
7. [OK]をクリックします。
8. [変更の保存]をクリックします。

バッテリーの節電

- Windows の[コントロール パネル]の[電源オプション]で消費電力設定を選択します。
- ネットワークに接続する必要がないときは無線接続および LAN 接続をオフにし、モデムを使用するアプリケーションは使用後すぐに終了します。
- 外部電源に接続されていない外付けデバイスのうち、使用していないものをコンピューターから取り外します。
- 使用していない外付けメディア カードを停止するか、無効にするか、または取り出します。

- 必要に応じて画面の輝度を調節するには、**fn + f9** および **fn + f10** ホットキーを使用します。
- しばらく作業を行わないときは、スリープまたはハイバネーションを開始するか、コンピューターの電源を切ります。

バッテリーの保管

△ **注意：** 故障の原因となりますので、バッテリーを温度の高い場所に長時間放置しないでください。

2週間以上コンピューターを使用せず、外部電源から切り離しておく場合は、すべてのバッテリーを取り出して別々に保管してください。

保管中のバッテリーの放電を抑えるには、バッテリーを気温や湿度の低い場所に保管してください。

📖 **注記：** 保管中のバッテリーは6か月ごとに点検する必要があります。容量が50%未満になっている場合は、再充電してから保管してください。

1か月以上保管したバッテリーを使用するときは、最初にバッテリー ゲージの調整を行ってください。

使用済みバッテリーの処理

△ **警告！** 化学薬品による火傷や発火のおそれがありますので、バッテリーを分解したり、壊したり、穴をあけたりしないでください。また、バッテリーの接点をショートさせたり、バッテリーを火や水の中に捨てたりしないでください。さらに、60°C (140°F) より高温の環境に放置しないでください。交換の際は、このコンピューターでの使用が認定されているバッテリーだけを使用してください。

バッテリーの廃棄については、『規定、安全および環境に関するご注意』を参照してください。

バッテリーの交換

コンピューターのバッテリーは消耗品で、その寿命は、電源管理の設定、コンピューターで動作しているプログラム、画面の輝度、コンピューターに接続されている外付けデバイス、およびその他の要素によって異なります。

[HP バッテリー チェック]は、内部セルが正常に充電されていないときや、バッテリー容量が「ロー バッテリー」の状態になったときに、バッテリーを交換するようユーザーに通知します。交換用バッテリーの購入について詳しくは、メッセージに記載されている HP の Web サイトを参照してください。バッテリーが HP の保証対象となっている場合は、説明書に保証 ID が記載されています。

📖 **注記：** 必要なときにバッテリー切れを起こさないようにするため、充電残量のインジケーターが緑がかった黄色になったら新しいバッテリーを購入することをおすすめします。

AC アダプターのテスト

コンピューターに以下の状況のどれかが見られる場合は、AC アダプターをテストします。

- コンピューターが AC アダプターに接続されているときにコンピューターの電源が入らない。
- コンピューターを AC アダプターと外部電源に接続したときに、ディスプレイの電源が入らない。
- コンピューターが AC アダプターに接続されているときに電源ランプが点灯していない。

AC アダプターをテストするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターからバッテリーを取り外します。
2. AC アダプターをコンピューターと電源コンセントに接続します。
3. コンピューターの電源を入れます。
 - 電源ランプが点灯している場合は、AC アダプターは正常に動作しています。
 - 電源ランプが消灯したままになっている場合は、AC アダプターが動作していないため交換する必要があります。

交換用 AC アダプターを入手する方法については、サポート窓口にお問い合わせください。アクセスするには、[スタート]→[ヘルプとサポート]→[サポート情報の入手]の順に選択します。

コンピューターのシャットダウン

△ **注意：** コンピューターをシャットダウンすると、保存されていない情報は失われます。

[シャットダウン]コマンドはオペレーティング システムを含む開いているすべてのプログラムを終了し、ディスプレイおよびコンピューターの電源を切ります。

以下の場合には、コンピューターをシャットダウンします。

- バッテリーを交換したりコンピューター内部の部品に触れたりする必要がある場合
- USB コネクタ以外のコネクタに外付けハードウェア デバイスを接続する場合
- コンピューターを長期間使わず、外部電源から切り離す場合

電源ボタンでコンピューターをシャットダウンすることもできますが、Windows の[シャットダウン]コマンドを使用した手順をおすすめします。

コンピューターをシャットダウンするには、以下の操作を行います。

📖 **注記：** コンピューターがスリープ状態またはハイバネーション状態の場合は、シャットダウンをする前にスリープまたはハイバネーションを終了させる必要があります。

1. 作業中のデータを保存して、開いているすべてのプログラムを閉じます。
2. [スタート]をクリックします。
3. [シャットダウン]をクリックします。

コンピューターが応答しなくなり、上記のシャットダウン手順を使用できない場合は、以下の緊急シャットダウン操作を順番に行ってみてください。

- 電源ボタンを 5 秒程度押し続けます。
- コンピューターを外部電源から切り離し、バッテリーを取り外します。

6 ドライブ

取り付けられているドライブの確認

お使いのコンピューターには、(回転式ディスクを搭載した) ハードドライブまたはソリッドステートメモリを搭載した SSD (Solid State Drive) が搭載されています。SSD は、駆動部品を持たないため、ハードドライブほど熱を発生しません。

コンピューターに取り付けられているドライブを表示するには、[スタート]→[コンピューター]の順に選択します。

 **注記：** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。アプリケーションのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、Windows の[ヘルプとサポート]を参照してください。

ドライブの取り扱い

ドライブは壊れやすいコンピューター部品ですので、取り扱いには注意が必要です。ドライブの取り扱いについては、以下の注意事項を参照してください。必要に応じて、追加の注意事項および関連手順を示します。

△ **注意：** コンピューターやドライブの損傷、または情報の損失を防ぐため、以下の点に注意してください。

コンピューターや外付けハードドライブの電源を入れたままある場所から別の場所へ移動させるような場合は、必ず事前にスリープを開始して画面表示が消えるまでお待ちください。

ドライブを取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電してください。

リムーバブル ドライブまたはコンピューターのコネクタ ピンに触れないでください。

ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落としたり上に物を置いたりしないでください。

ドライブの着脱を行う前に、コンピューターの電源を切ります。コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まずコンピューターの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ドライブをドライブ ベイに挿入するときは、無理な力を加えないでください。

光学ドライブ 内のディスクへの書き込みが行われているときは、キーボードから入力したり、コンピューターを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

バッテリーのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前に、バッテリーが十分に充電されていることを確認してください。

高温または多湿の場所にドライブを放置しないでください。

ドライブに洗剤などの液体を垂らさないでください。また、ドライブに直接、液体クリーナーなどを吹きかけないでください。

ドライブ ベイからのドライブの取り外し、ドライブの持ち運び、郵送、保管などを行う前に、ドライブからメディアを取り出してください。

ドライブを郵送するときは、発泡ビニール シートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ—取り扱い注意」と明記してください。

ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をチェックするベルト コンベアなどのセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使用してチェックを行うので、ドライブには影響しません。

ハードドライブ パフォーマンスの向上

ディスク デフラグの使用

コンピューターを使用しているうちに、ハードドライブ上のファイルが断片化されてきます。ディスク デフラグを行うと、ハードドライブ上の断片化したファイルやフォルダーを集めてより効率よく作業を実行できるようになります。

ディスク デフラグは、いったん開始すれば動作中に操作する必要はありません。ハードドライブのサイズと断片化したファイルの数によっては、ディスク デフラグの完了まで1時間以上かかることがあります。夜間やコンピューターにアクセスする必要のない時間帯などに実行されるように設定するとよいでしょう。

少なくとも1か月に1度、ハードドライブのデフラグを行うことをおすすめします。ディスク デフラグは1か月に1度実行されるように設定することもできますが、手動でいつでもコンピューターのデフラグを実行できます。

ディスク デフラグを実行するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク デフラグ]の順に選択します。
2. [ディスクの最適化]をクリックします。

 **注記：** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。アプリケーションのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、Windows の[ヘルプとサポート]を参照してください。

詳しくは、ディスク デフラグ ツール ソフトウェアのヘルプを参照してください。

ディスク クリーンアップの使用

ディスク クリーンアップを行うと、ハードドライブ上の不要なファイルが検出され、それらのファイルが安全に削除されてディスクの空き領域が増し、より効率よく作業を実行できるようになります。

ディスク クリーンアップを実行するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク クリーンアップ]の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

[HP 3D DriveGuard]の使用

[HP 3D DriveGuard]は、以下のどちらかの場合にドライブおよび入出力要求を停止することによって、ハードドライブを保護します。

- バッテリ電源で動作しているときにコンピューターを落下させた場合
- バッテリ電源で動作しているときにディスプレイを閉じた状態でコンピューターを移動した場合

これらの動作の実行後は[HP 3D DriveGuard]によって、短時間でハードドライブが通常の動作に戻ります。

 **注記：** アップグレード ベイ内にハードドライブがある場合、そのハードドライブは[HP 3D DriveGuard]によって保護されます。オプションのドッキング デバイス内に装着されているハードドライブや USB コネクタで接続されているハードドライブは、[HP 3D DriveGuard]では保護されません。

ソリッドステート ドライブには回転してしまう部分がないため、[HP 3D DriveGuard]による保護は必要ありません。

詳しくは、[HP 3D DriveGuard]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[HP 3D DriveGuard]の状態の確認

コンピューターのドライブ ランプがオレンジ色に変化して、ドライブが停止していることを示します。ドライブが現在保護されているか、または停止しているかを確認するには、[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[Windows モビリティ センター]の順に選択します。

- ソフトウェアが有効の場合、緑色のチェック マークがハードドライブ アイコンに重なって表示されます。
- ソフトウェアが無効の場合、白い斜線がハードドライブ アイコンに重なって表示されます。
- ドライブが停止している場合、黄色の月型マークがハードドライブ アイコンに重なって表示されます。

 **注記：** [Windows モビリティ センター]のアイコンは、ドライブの最新の状態を示していない場合があります。状態が変更されたらすぐに表示に反映されるようにするには、通知領域のアイコンを有効にする必要があります。

通知領域のアイコンを有効にするには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[HP 3D DriveGuard]の順に選択します。

 **注記：** [ユーザー アカウント制御]のウィンドウが表示されたら、[はい]をクリックします。

2. [システム トレイ上のアイコン]の行で、[表示する]をクリックします。
3. [OK]をクリックします。

[HP 3D DriveGuard]によってドライブを停止された場合、コンピューターは以下のような状態になります。

- シャットダウンができない
- 以下の注記に示す場合を除いて、スリープまたはハイバネーションを開始できない

 **注記：** [HP 3D DriveGuard]によってドライブが停止された場合でも、コンピューターがバッテリー電源で動作しているときに完全なロー バッテリー状態になると、ハイバネーションを開始できるようになります。

コンピューターを移動する前に、完全にシャットダウンするか、スリープまたはハイバネーションを開始することをおすすめします。

[HP 3D DriveGuard]ソフトウェアの使用

[HP 3D DriveGuard]ソフトウェアを使用することで、以下の設定を変更できます。

- [HP 3D DriveGuard]の有効/無効を設定する。

 **注記：** [HP 3D DriveGuard]の有効または無効への切り替えが許可されるかどうかは、ユーザーの権限によって異なります。Administrator グループのメンバーは Administrator 以外のユーザーの権限を変更できます。

- システムのドライブがサポートされているかどうかを確認する。

ソフトウェアを開いて設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. [Windows モビリティ センター]でハードドライブ アイコンをクリックして、[HP 3D DriveGuard]ウィンドウを開きます。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[HP 3D DriveGuard]の順に選択します。

 **注記：** [ユーザー アカウント制御]のウィンドウが表示されたら、[はい]をクリックします。

2. 適切なボタンをクリックして設定を変更します。
3. [OK]をクリックします。

ハードドライブ ベイ内のハードドライブの交換

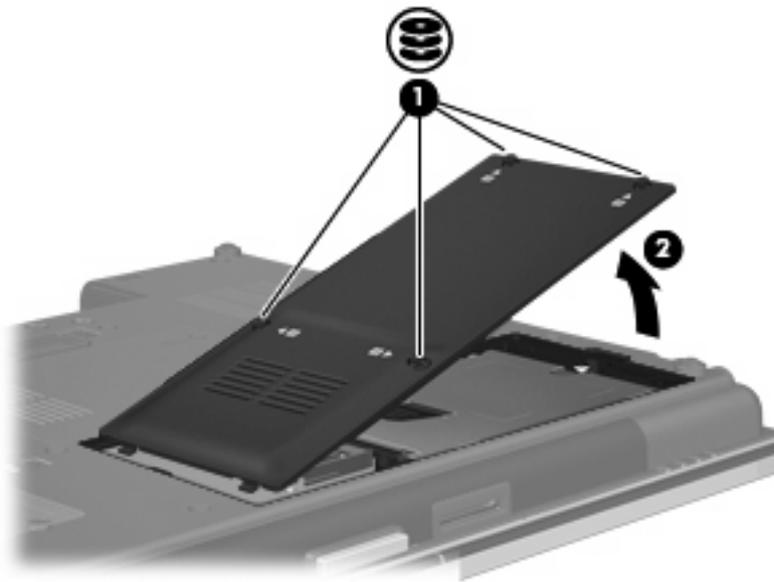
△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、ハードドライブを取り外さないでください。

コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

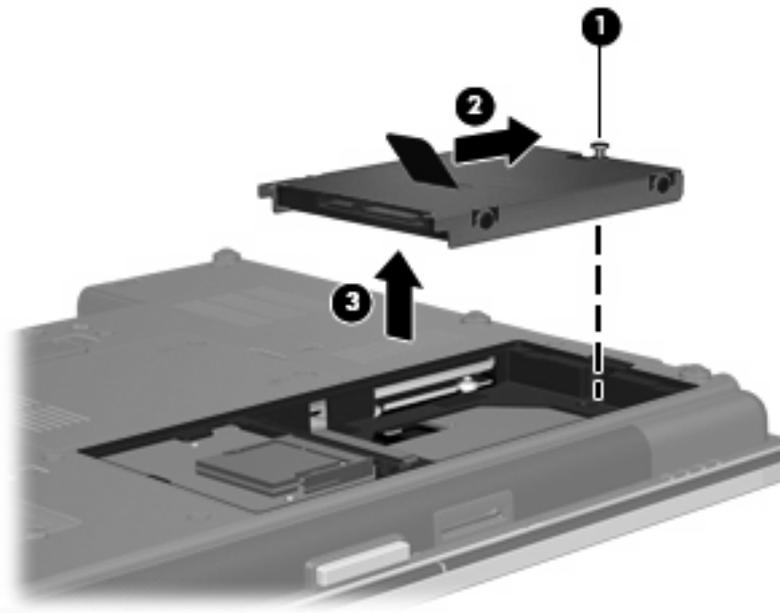
ハードドライブを取り外すには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けハードウェア デバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。
5. コンピューターのハードドライブ ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. コンピューターからバッテリーを取り外します。
7. ハードドライブ カバーのネジ (1) を緩めます。
8. ハードドライブ カバーを取り外します (2)。



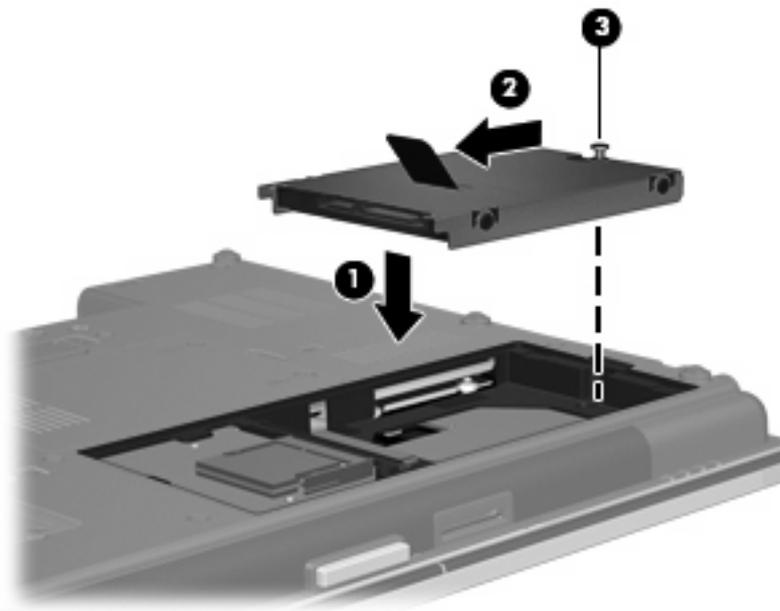
9. ハードドライブのネジ (1) を緩めます。
10. ハードドライブ タブを右方向に引いて (2)、ハードドライブの固定を解除します。

11. ハードドライブを持ち上げて (3) ハードドライブ ベイから取り外します。



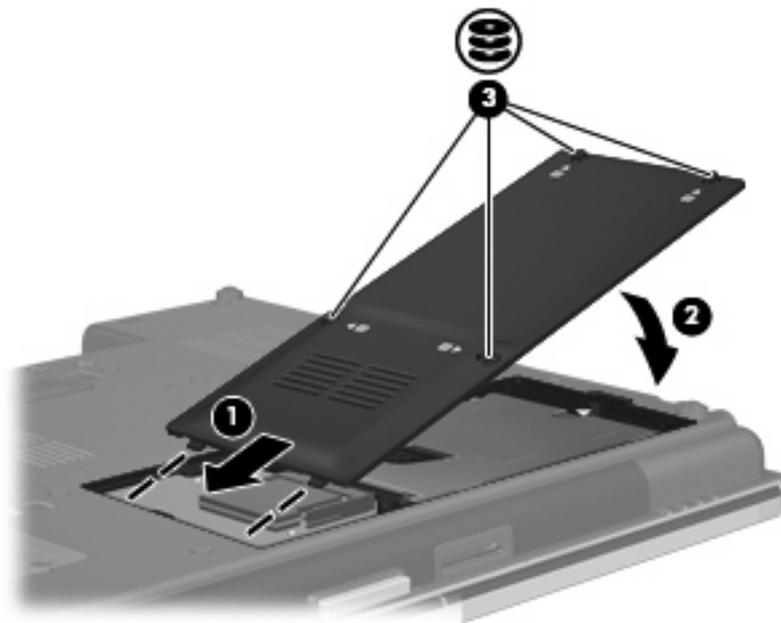
ハードドライブを取り付けるには、以下の操作を行います。

1. ハードドライブをハードドライブ ベイに挿入します (1)。
2. ハードドライブ タブを左方向に引いて (2)、ハードドライブを固定します。
3. ハードドライブのネジ (3) を締めます。



4. ハードドライブ カバーのタブを、コンピューターのかぼみに合わせます (1)。
5. カバーを元に戻します (2)。

6. ハードドライブ カバーのネジ (3) を締めます。



7. バッテリーを取り付けなおします。
8. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
9. コンピューターの電源を入れます。

アップグレード ベイ内のドライブの交換

アップグレード ベイには、ハードドライブまたはオプティカル ドライブのどちらかを格納できます。

ハードドライブの交換

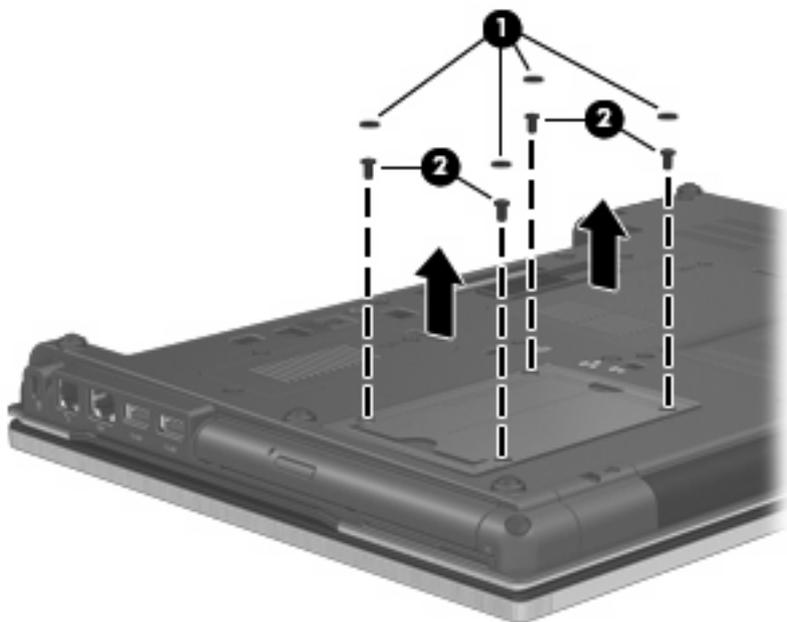
△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

アップグレード ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、ハードドライブを取り外さないでください。

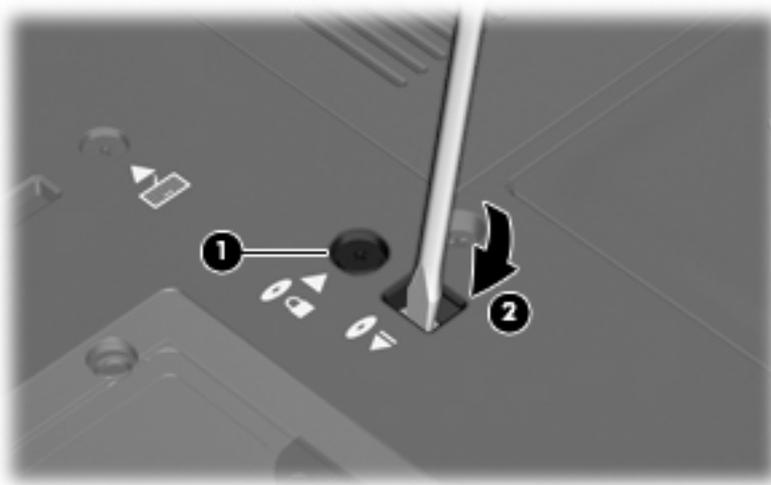
コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ハードドライブをアップグレード ベイから取り出すには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けハードウェア デバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き、コンピューターの電源コネクタから AC アダプターを取り外します。
5. アップグレード ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. コンピューターからバッテリーを取り外します。
7. 保護用のネジ キャップ (1) を取り外し、アップグレード ベイからハードドライブのネジを取り外します (2)。



8. アップグレード ベイのネジ (1) を緩めます。
9. マイナスのネジ回しを使用して、つまみをそっと押し込んでハードドライブの固定を解除します (2)。

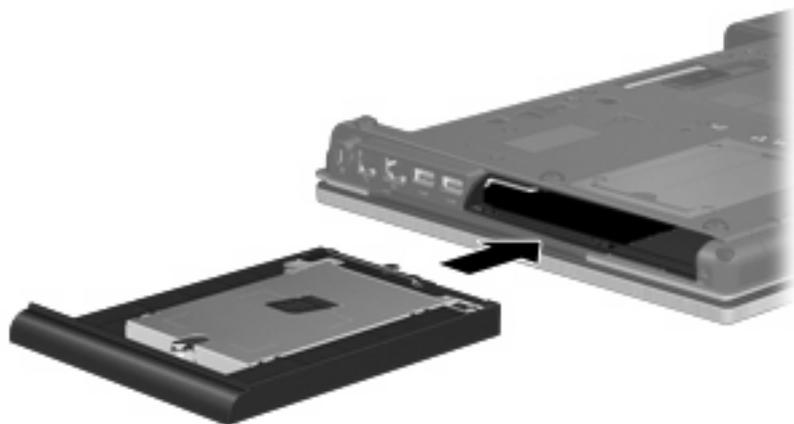


10. ハードドライブをアップグレード ベイから取り出します。

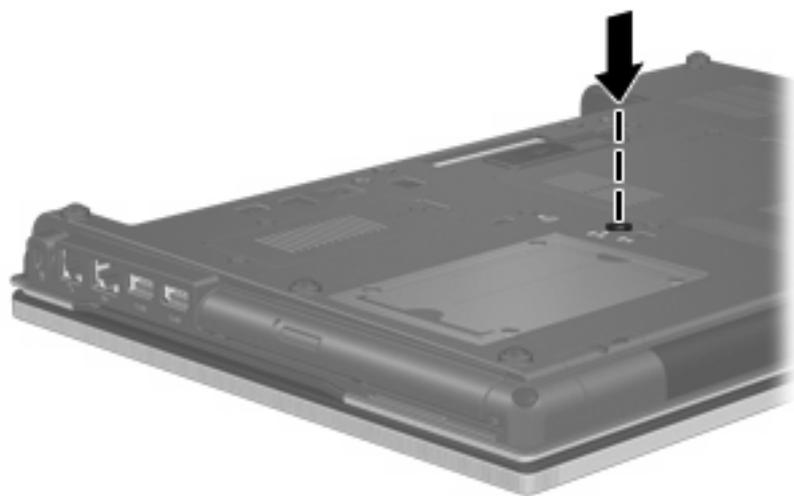


アップグレード ベイにハードドライブを装着するには、以下の操作を行います。

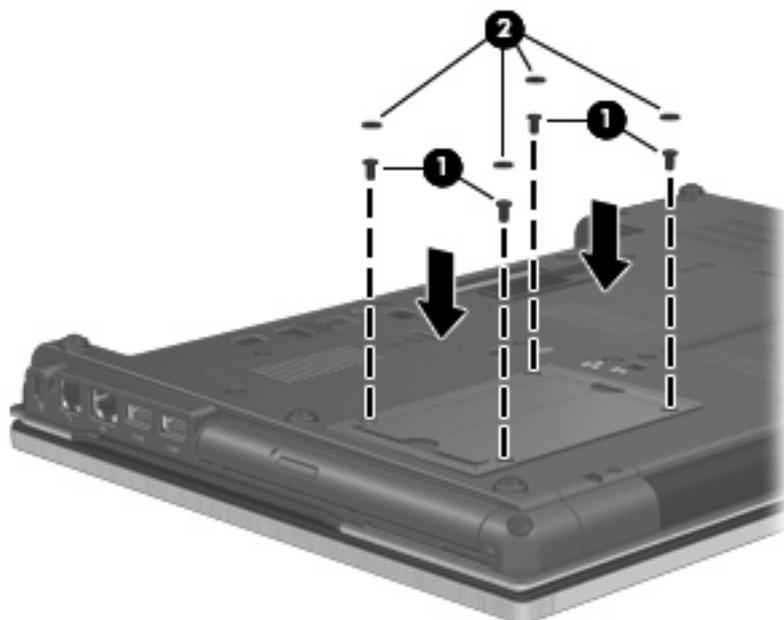
1. アップグレード ベイにハードドライブを挿入します。



2. アップグレード ベイのネジを締めます。



- ハードドライブのネジを取り付け (1)、保護用のネジ キャップ (2) を元の場所に取り付けます。



- バッテリーを取り付けなおします。
- コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
- コンピューターの電源を入れます。

オプティカル ドライブの交換

△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

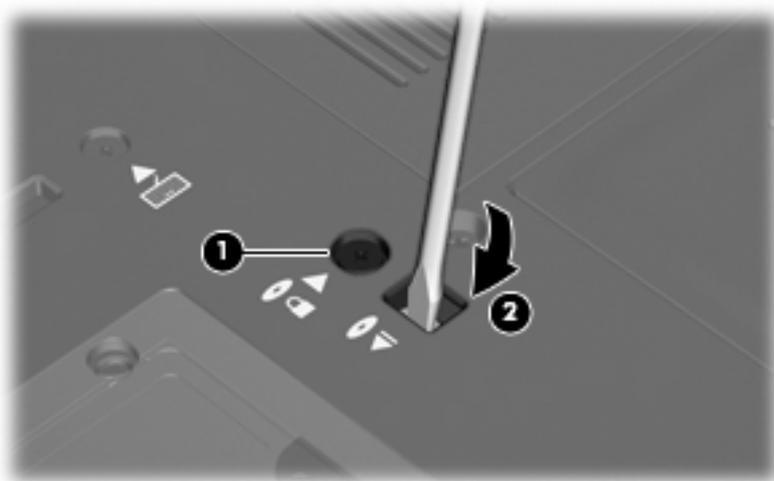
アップグレード ベイからオプティカル ドライブを取り外す前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、オプティカル ドライブを取り外さないでください。

コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

オプティカル ドライブをアップグレード ベイから取り出すには、以下の操作を行います。

- 必要なデータを保存します。
- コンピューターをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
- コンピューターに接続されているすべての外付けハードウェア デバイスを取り外します。
- 電源コンセントから電源コードを抜き、コンピューターの電源コネクタから AC アダプターを取り外します。
- アップグレード ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
- コンピューターからバッテリーを取り外します。

7. アップグレード ベイのネジ (1) を緩めます。
8. マイナスのネジ回しを使用して、つまみをそっと押し込んでオプティカル ドライブの固定を解除します (2)。



9. オプティカル ドライブをアップグレード ベイから取り外します。

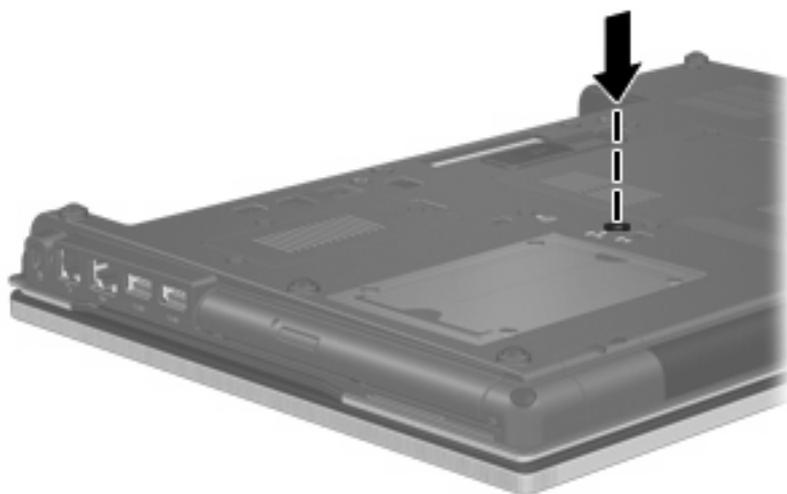


光学ドライブをアップグレードベイに装着するには、以下の操作を行います。

1. 光学ドライブをアップグレードベイに挿入します。



2. アップグレードベイのネジを締めます。



3. バッテリを取り付けなおします。
4. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
5. コンピューターの電源を入れます。

7 外付けデバイス

USB デバイスの使用

USB (Universal Serial Bus) は、USB キーボード、マウス、ドライブ、プリンター、スキャナー、ハブなどの別売の外付けデバイスを接続するためのハードウェア インターフェイスです。

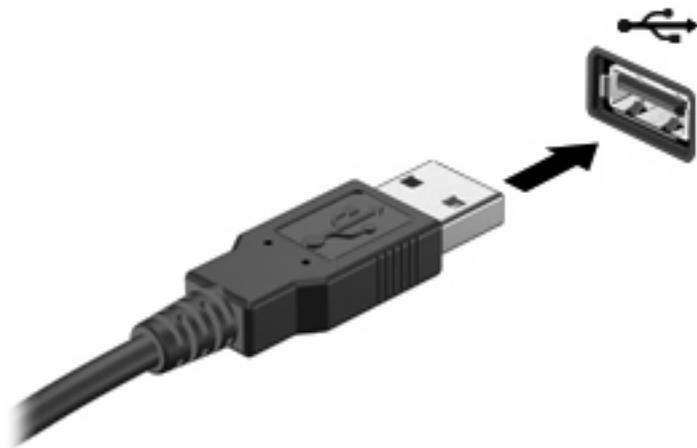
USB デバイスには、追加サポート ソフトウェアを必要とするものがありますが、通常はデバイスに付属しています。デバイス固有のソフトウェアについては、デバイスに付属の操作説明書を参照してください。

お使いのモデルのコンピューターには 5 つの USB コネクタがあり、USB 1.0、USB 1.1、USB 2.0、および USB 3.0 の各デバイスに対応しています。USB ハブには、コンピューターで使用できる USB コネクタが装備されています。

USB デバイスの接続

△ **注意：** USB コネクタの損傷を防ぐため、USB デバイスを接続するときは無理な力を加えないでください。

▲ USB デバイスをコンピューターに接続するには、デバイスの USB ケーブルを USB コネクタに接続します。



デバイスが検出されると音が鳴ります。

☒ **注記：** 初めて USB デバイスを接続した場合は、デバイスがコンピューターによって認識されたことを示すメッセージが通知領域に表示されます。

USB デバイスの停止および取り外し

△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、USB デバイスを取り外すときは、まずデバイスを停止してください。

注意： USB コネクタの損傷を防ぐため、USB デバイスの取り外し時にケーブルを引っ張らないでください。

USB デバイスの停止および取り外しを行うには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをダブルクリックします。

 **注記：** [ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを表示するには、通知領域にある[隠れているインジケータを表示します]アイコン（[<]または[<<]）をクリックします。

2. 一覧からデバイス名をクリックします。

 **注記：** 一覧に表示されない USB デバイスを取り外す場合、デバイスを停止する必要はありません。

3. [停止]をクリックし、次に[OK]をクリックします。

4. デバイスを取り外します。

USB レガシー サポートの使用

USB レガシー サポート（出荷時の設定で有効になっています）を使用すると、以下のことを行えます。

- コンピューターの起動時、または MS-DOS®ベースのプログラムやユーティリティでの、コンピューターの USB コネクタに接続された USB キーボード、マウス、またはハブの使用
- 別売の外付けマルチベイまたは別売の USB 起動可能デバイスからの起動または再起動

[Computer Setup]で USB レガシー サポートの有効/無効を切り替えるには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。

2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。

3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して、[System Configuration]（システム コンフィギュレーション）→[Device Configurations]（デバイス構成）の順に選択します。

4. USB レガシー サポートを無効にするには、[USB legacy support]（USB レガシー サポート）の横の[Disabled]（無効）をクリックします。USB レガシー サポートを再び有効にするには、[USB legacy support]の横の[Enabled]（有効）をクリックします。

5. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、画面の左下隅にある[Save]（保存）をクリックしてから画面に表示される説明に沿って操作します。

または

矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save changes and exit]（変更を保存して終了）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

1394 デバイスの使用

IEEE 1394 は、高速マルチメディア デバイスまたは高速記憶装置をコンピューターへ接続するためのハードウェア インターフェイスです。スキャナー、デジタル カメラ、およびデジタル ビデオ カメラは、1394 による接続が必要な場合があります。

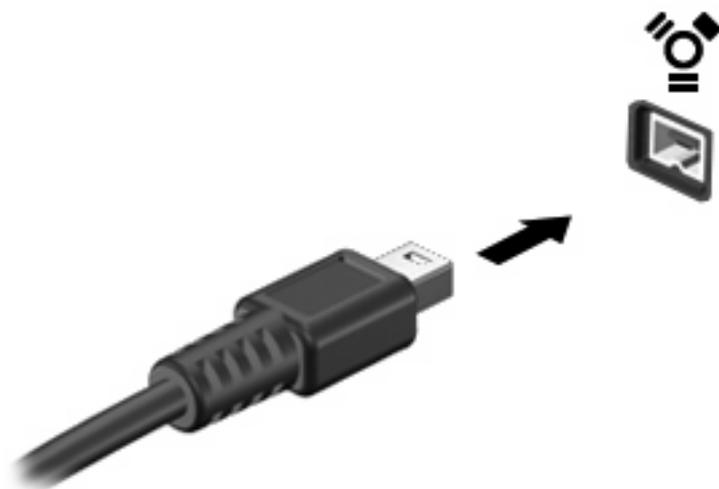
1394 デバイスには、追加サポート ソフトウェアを必要とするものがありますが、通常はデバイスに付属しています。デバイス固有のソフトウェアについては、デバイスに付属の操作説明書を参照してください。

コンピューターの 1394 コネクタは、IEEE 1394a デバイスもサポートしています。

1394 デバイスの接続

△ **注意：** 1394 ポート コネクタの損傷を防ぐため、1394 デバイスを接続するときは無理な力を加えないでください。

▲ 1394 デバイスをコンピューターに接続するには、デバイスの 1394 ケーブルを 1394 コネクタに接続します。



デバイスが検出されると音が鳴ります。

1394 デバイスの停止および取り外し

△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐために、1394 デバイスを取り外す前にデバイスを停止します。

注意： 1394 コネクタの損傷を防ぐため、1394 デバイスの取り外し時にケーブルを引っ張らないでください。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをダブルクリックします。

🔍 **注記：** [ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを表示するには、通知領域にある[隠れているインジケータを表示します]アイコン（[<]または[<<]）をクリックします。

2. 一覧からデバイス名をクリックします。

🔍 **注記：** 一覧にデバイスが表示されない場合、デバイスを取り外す前に停止する必要はありません。

3. **【停止】**→**【OK】**の順にクリックします。
4. デバイスを取り外します。

eSATA デバイスの使用

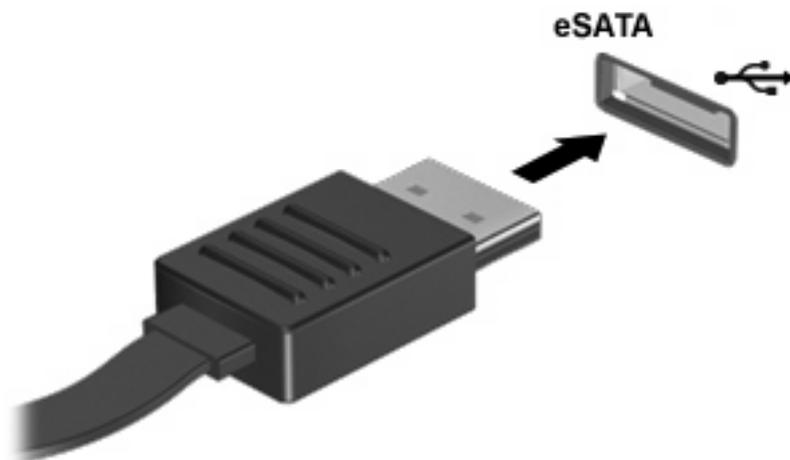
eSATA コネクタを使用して、eSATA 外部ハードドライブなどの別売の外付けデバイスを、高性能な eSATA コンポーネントに接続します。

eSATA デバイスには、追加サポート ソフトウェアを必要とするものがありますが、通常はデバイスに付属しています。デバイス固有のソフトウェアについて詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ソフトウェアに含まれていたり、ディスクに収録されていたり、製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

eSATA デバイスの接続

△ **注意：** eSATA コネクタの損傷を防ぐため、eSATA デバイスを接続するときは無理な力を加えないでください。

▲ eSATA デバイスをコンピューターに接続するには、デバイスの USB ケーブルを eSATA コネクタに接続します。



デバイスが検出されると音が鳴ります。

eSATA デバイスの停止および取り外し

△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐために、eSATA デバイスを取り外す前にデバイスを停止します。

注意： eSATA コネクタの損傷を防ぐため、eSATA デバイスの取り外し時にケーブルを引っ張らないでください。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをダブルクリックします。

🔍 **注記：** [ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを表示するには、通知領域の[隠れているインジケータを表示します]アイコン ([<]または[<<]の形) をクリックします。

2. 一覧からデバイス名をクリックします。

🔍 **注記：** 一覧にデバイスが表示されない場合、デバイスを取り外す前に停止する必要はありません。

3. **【停止】**→**【OK】**の順にクリックします。
4. デバイスを取り外します。

外付けドライブの使用

外付けのリムーバブルドライブを使用すると、情報を保存したり、情報にアクセスしたりできる場所が増えます。USBドライブを追加するには、コンピューターのUSBコネクタに接続します。

USBドライブには、以下のような種類があります。

- 1.44 MB フロッピーディスク ドライブ
- ハードドライブ モジュール（アダプターが装備されているハードドライブ）
- DVD-ROM ドライブ
- DVD-ROM/CD-RW コンボ ドライブ
- DVD+R/RW ドライブ

別売の外付けデバイスの使用

 **注記：** 必要なソフトウェアやドライバー、および使用するコンピューターのコネクタの種類について詳しくは、デバイスに付属の説明書を参照してください。

外付けデバイスをコンピューターに接続するには、以下の操作を行います。

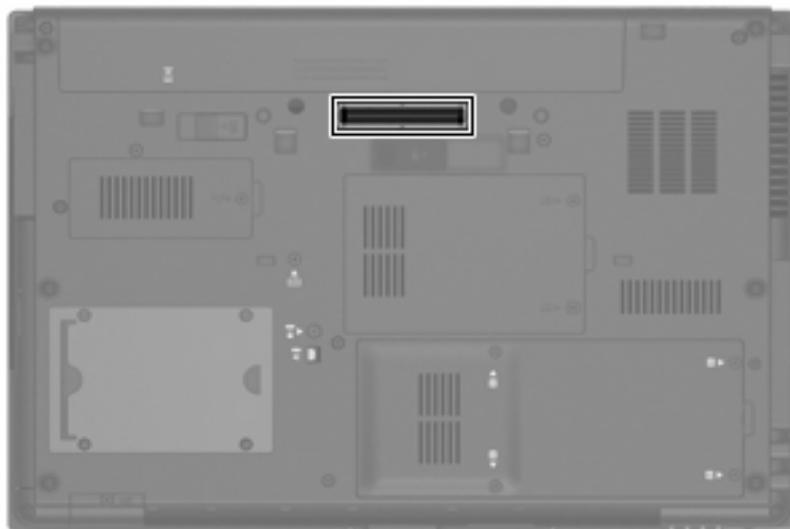
△ **注意：** 電源付きデバイスの接続時に装置が損傷することを防ぐため、デバイスの電源が切れていて、外部電源コードがコンピューターに接続されていないことを確認してください。

1. デバイスをコンピューターに接続します。
2. 電源付きデバイスを接続する場合は、接地した電源コンセントにデバイスの電源コードを差し込みます。
3. コンピューターの電源を入れます。

別電源が必要でない外付けデバイスを取り外すには、デバイスの電源を切った後、コンピューターからデバイスを取り外します。別電源が必要な外付けデバイスを取り外すには、デバイスの電源を切った後にコンピューターからデバイスを取り外し、電源コードを抜きます。

ドッキング コネクタの使用

ドッキング コネクタを使用して、コンピューターを別売のドッキング デバイスに接続できます。別売のドッキング デバイスには、コンピューターを装着すると使用できるポートおよびコネクタが装備されています。



8 外付けメディア カード

メディア カード リーダーでのカードの使用

別売のメディア カードは、データを安全に格納し、簡単にデータを共有できるカードです。これらのカードは、他のコンピューター以外にも、デジタル メディア対応のカメラや PDA などによく使用されます。

お使いのコンピューターのメディア カード スロットは、以下のフォーマットのメディア カードに対応しています。

- メモリースティック (MS)
- メモリースティック PRO (MS PRO)
- マルチメディアカード (MMC)
- SDIO (Secure Digital Input/Output) カード
- SD (Secure Digital) メモリーカード
- xD ピクチャーカード (XD)
- xD ピクチャーカード (XD) Type H
- xD ピクチャーカード (XD) Type M

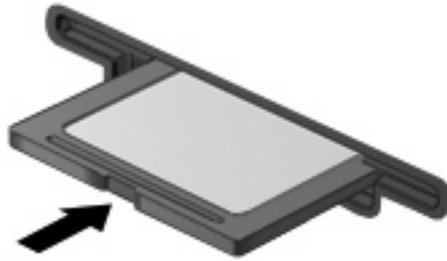
メディア カードの挿入

△ **注意：** SD カードおよびコンピューターの損傷を防ぐため、SD カード スロットには、どのような種類のアダプターも挿入しないでください。

注意： メディア カード コネクタの損傷を防ぐため、メディア カードの挿入時に無理な力を加えないでください。

1. メディア カードのラベルを上にし、コネクタをコンピューター側に向けて持ちます。

2. カードをメディア カード リーダーに挿入し、しっかり収まるまでカードを押し込みます。



デバイスが検出されたときに音が鳴り、場合によっては使用可能なオプションのメニューが表示されます。

メディア カードの停止と取り出し

△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、メディア カードを取り出す前にカードを停止してください。

1. 情報を保存し、メディア カードに関連するすべてのプログラムを閉じます。

☞ **注記：** データ転送を停止するには、オペレーティング システムの[コピー中]ウィンドウで[キャンセル]をクリックします。

2. メディア カードを停止します。

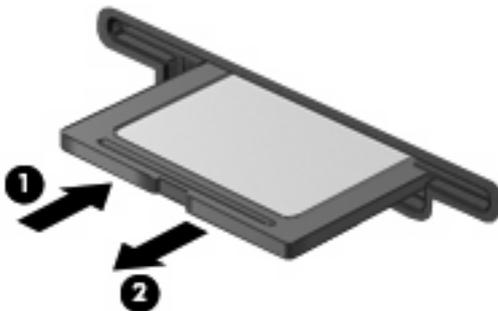
- a. タスクバーの右端の通知領域にある[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをダブルクリックします。

☞ **注記：** [ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを表示するには、通知領域にある[隠れているインジケータを表示します]アイコン（[<]または[<<]）をクリックします。

- b. 一覧からメディア カード名をクリックします。

- c. [停止]→[OK]の順にクリックします。

3. メディア カードを押して固定を解除し (1)、カードを引いてスロットから取り出します (2)。



ExpressCard の使用（一部のモデルのみ）

ExpressCard は、ExpressCard スロットに挿入する高性能な PC カードです。

標準の PC カードと同様に、ExpressCard は PCMCIA（Personal Computer Memory Card International Association）の仕様に準拠しています。

ExpressCard の設定

デバイスに必要なソフトウェアのみをインストールしてください。ExpressCard に付属の説明書にデバイス ドライバーをインストールするように記載されている場合は、以下のようにします。

- お使いのオペレーティング システム用のデバイス ドライバーのみをインストールしてください。
- ExpressCard の製造販売元が他のソフトウェア（カード サービス、ソケット サービス、イネーブラーなど）を提供していても、それらをインストールしないでください。

ExpressCard の挿入

△ **注意：** お使いのコンピューターおよび外付けメディア カードの損傷を防ぐため、PC カードを ExpressCard スロットに挿入しないでください。

注意： コネクタの損傷を防ぐため、以下の点に注意してください。

ExpressCard の挿入時に無理な力を加えないでください。

ExpressCard の使用中は、コンピューターを動かしたり運んだりしないでください。

ExpressCard スロットには保護用カードが挿入されている場合があります。保護用カードを取り出すには、以下の操作を行います。

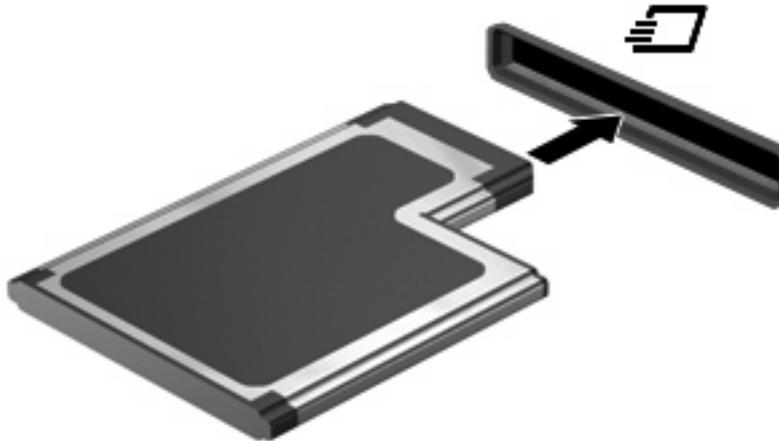
1. 保護用カードを押し込んで（1）、固定を解除します。
2. 保護用カードをスロットから引き出します（2）。



ExpressCard を挿入するには、以下の操作を行います。

1. カードのラベルを上にし、コネクタをコンピューター側に向けて持ちます。

2. カードを ExpressCard スロットに挿入し、しっかり収まるまでカードを押し込みます。



デバイスが検出されると音が鳴り、場合によっては使用可能なオプションのメニューが表示されます。

注記： 初めて ExpressCard を挿入した場合は、デバイスがコンピューターによって認識されたことを示すメッセージが通知領域に表示されます。

注記： 装着されている ExpressCard は、使用されていなくても電力を消費します。節電するには、使用していない ExpressCard を停止するか、取り出してください。

ExpressCard の停止と取り出し

注意： データの損失やシステムの応答停止を防ぐため、ExpressCard を取り出すときは、まずカードを停止してください。

1. 情報を保存し、ExpressCard に関連するすべてのプログラムを閉じます。

注記： データ転送を停止するには、オペレーティング システムの[コピー中]ウィンドウで[キャンセル]をクリックします。

2. 以下の手順で、ExpressCard を停止します。

- a. タスクバーの右端の通知領域にある[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをダブルクリックします。

注記： [ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを表示するには、通知領域にある[隠れているインジケータを表示します]アイコン（[<]または[<<]）をクリックします。

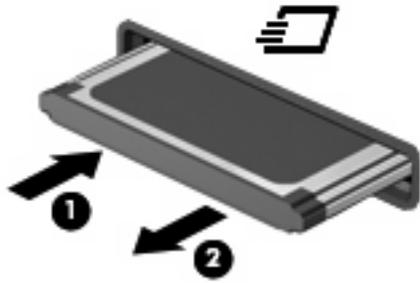
- b. 一覧から ExpressCard の名前をクリックします。

- c. [停止]→[OK]の順にクリックします。

3. ExpressCard の固定を解除して取り出すには、以下の操作を行います。

- a. ExpressCard をゆっくりと押して (1)、固定を解除します。

- b. ExpressCard をスロットから引き出します (2)。



スマート カードの使用（一部のモデルのみ）

注記： この章で使用する「スマート カード」という用語は、スマート カードと Java™ Card の両方を指します。

スマート カードは、クレジットカードと同じくらいの大きさのデバイスで、メモリとマイクロプロセッサが埋め込まれたマイクロチップを搭載しています。パーソナル コンピューターと同様に、スマート カードには入出力を管理するオペレーティング システムがあり、改ざんから保護するためのセキュリティ機能が組み込まれています。スマート カード リーダー（一部のモデルのみ）では業界標準のスマート カードを使用します。

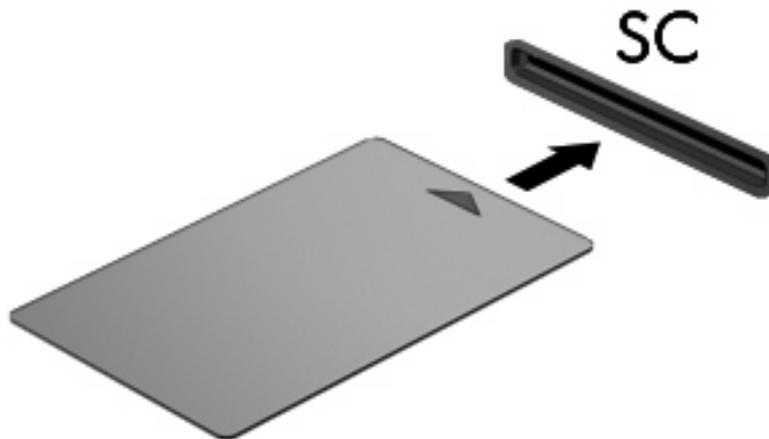
マイクロチップの内容にアクセスするには、PIN が必要です。スマート カードのセキュリティ機能について詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

注記： お使いのコンピューターの外観は、図と多少異なる場合があります。

スマート カードの挿入

スマート カードを挿入するには、以下の操作を行います。

1. スマート カードのラベル側を上にし、カードがしっかり収まるまで、スマート カード リーダーに静かにスライドさせて挿入します。



2. 画面上の説明に沿って、スマート カードの PIN を使用してコンピューターにログオンします。

スマート カードの取り出し

スマート カードを取り出すには、以下の操作を行います。

- ▲ スマート カードの両端の部分を持って、スマート カード リーダーから引き出します。



9 メモリ モジュール

お使いのコンピューターには2か所にメモリ モジュール コンパートメントが装備されています。メイン メモリ モジュール コンパートメントはキーボードの下にあります。コンピューターの裏面に拡張メモリ モジュール コンパートメントがあります。

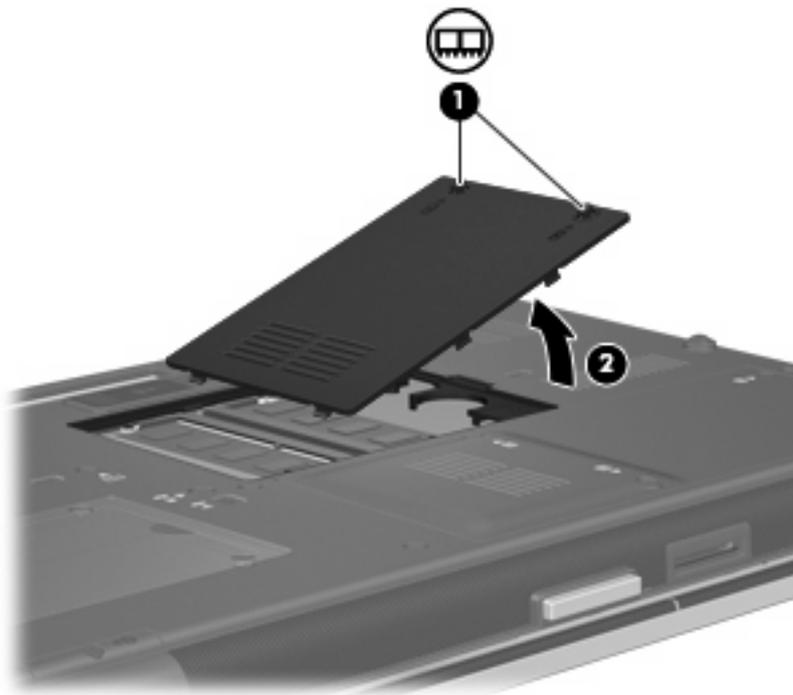
コンピューターのメモリを増設するには、空いている拡張メモリ モジュール スロットにメモリ モジュールを追加するか、メイン メモリ モジュール スロットに装着されているメモリ モジュールを交換します。

-
- △ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、電源コードとすべてのバッテリーを取り外してからメモリ モジュールを取り付けてください。
 - △ **注意：** 静電気（ESD）によって電子部品が損傷することがあります。作業を始める前に、接地された金属面に触るなどして、身体にたまった静電気を放電してください。
-

拡張メモリ モジュール スロットのメモリ モジュールの追加 または交換

拡張メモリ モジュール スロットにメモリ モジュールを追加したり、メモリ モジュールを交換したりするには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。
5. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
6. コンピューターからバッテリーをすべて取り外します。
7. メモリ モジュール コンパートメント カバーのネジ (1) を緩めます。
8. メモリ モジュール コンパートメント カバーを持ち上げて取り外します (2)。



9. 次の要領で、メモリ モジュールを取り外します。

 **注記：** 拡張メモリ モジュール スロットを取り外す必要がない場合は、手順 9 を省略して手順 10 に進んでください。

- a. メモリ モジュールの両側にある留め具を左右に引っ張ります (1)。

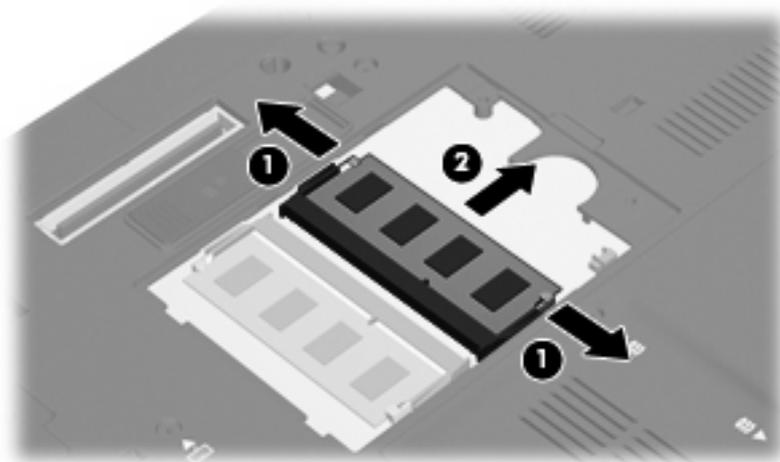
メモリ モジュールが少し上に出てきます。

△ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、モジュールを持つときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分には触らないでください。

- b. メモリ モジュールの左右の端をつかみ、そのままゆっくりと斜め上に引き抜いて (2) 取り外します。

取り外したメモリ モジュールは、静電気の影響を受けない袋などに入れて保管します。

 **注記：** お使いのコンピューターのメモリ構成によっては、左側の DIMM コネクタにメモリ モジュールが装着されていないことがあります。



10. 以下の要領で、メモリ モジュールを取り付けます。

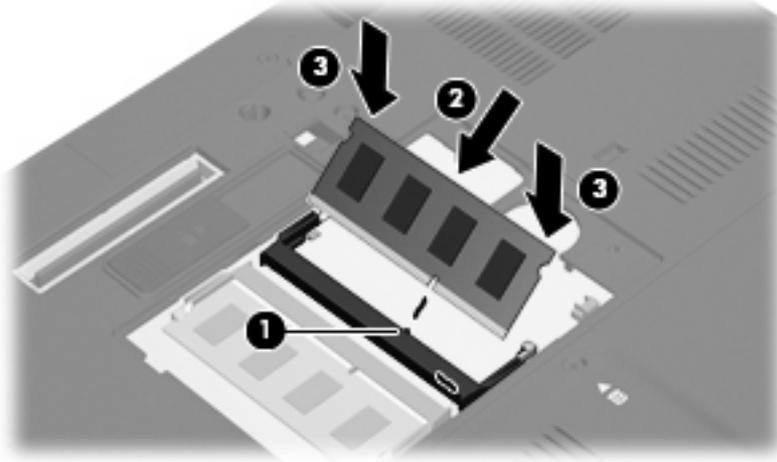
- a. メモリ モジュールの切り込みとメモリ モジュール スロット (1) を合わせます。

△ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分に触ったりメモリ モジュールを折り曲げたりしないように注意してください。

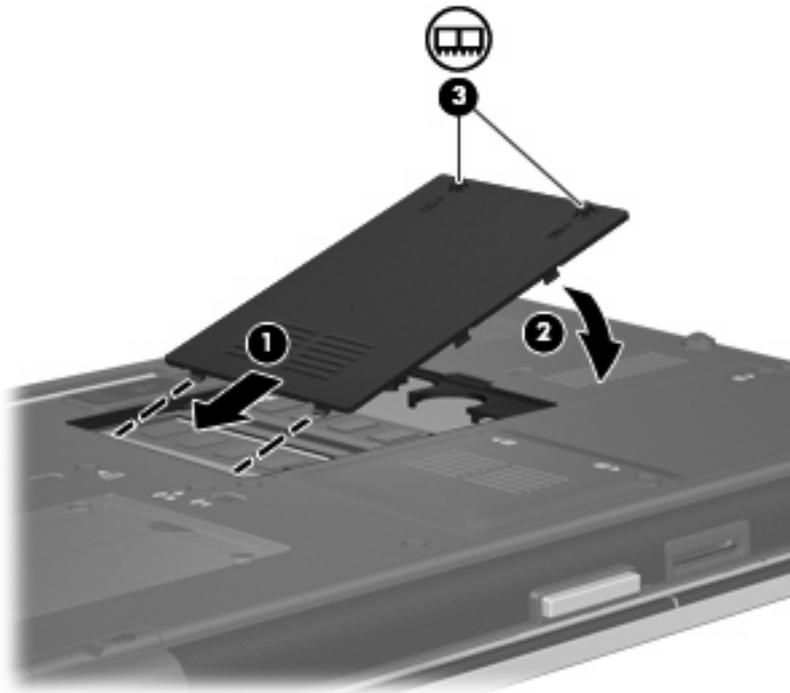
- b. しっかりと固定されるまでメモリ モジュールを 45°の角度でスロットに押し込み、所定の位置に収まるまでメモリ モジュールを押し下げます (2)。

- c. カチッと音がして留め具がメモリ モジュールを固定するまで、メモリ モジュールの左右の端を押し下げます (3)。

 **注記：** お使いのコンピューターのメモリ構成によっては、左側の DIMM コネクタにメモリ モジュールが装着されていないことがあります。



11. メモリ モジュール コンパートメント カバーのタブを、コンピューターのくぼみに合わせます (1)。
12. カバーを閉じます (2)。
13. メモリ モジュール コンパートメント カバーのネジ (3) を締めます。



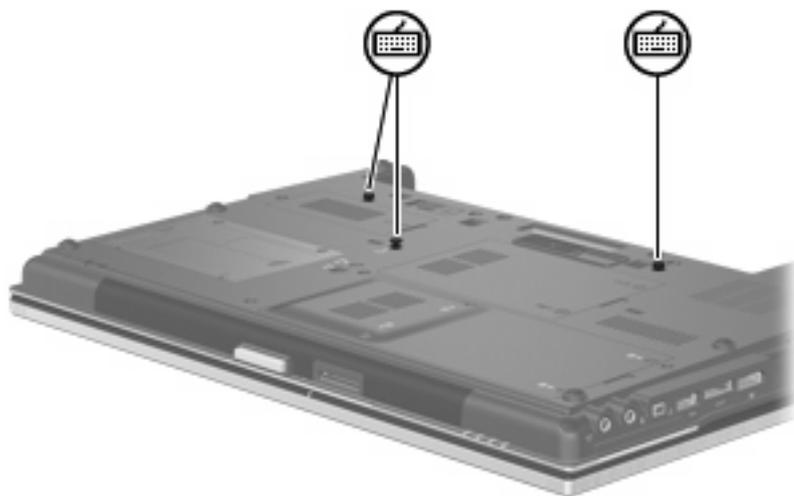
14. バッテリーを取り付けなおします。

15. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続しなします。
16. コンピューターの電源を入れます。

メインメモリモジュールスロットのメモリモジュールのアップグレード

メインメモリモジュールスロットのメモリモジュールをアップグレードするには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターをシャットダウンします。
コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れ、次にオペレーティングシステムの通常の手順でシャットダウンします。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。
5. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
6. コンピューターからバッテリーをすべて取り外します。
7. 3つのキーボードのネジを緩めます。



8. コンピューターのカバーを上にして開きます。
9. 4つのキーボードラッチをスライドさせて (1)、キーボードの固定を解除します。

10. キーボードの上端部分をゆっくり持ち上げて (2)、コンピューターのパームレストに乗るまで回転させます。



11. 以下の要領で、メモリ モジュールを取り外します。

- a. メモリ モジュールの両側にある留め具を左右に引っ張ります (1)。

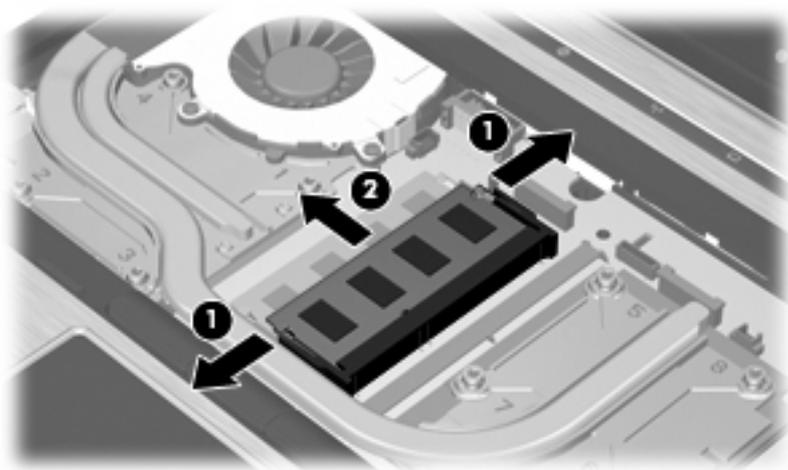
メモリ モジュールが少し上に出てきます。

△ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、モジュールを持つときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分には触らないでください。

- b. メモリ モジュールの左右の端をつかみ、そのままゆっくりと斜め上に引き抜いて (2) 取り外します。

取り外したメモリ モジュールは、静電気の影響を受けない袋などに入れて保管します。

📖 **注記：** お使いのコンピューターのメモリ構成によっては、裏面の DIMM コネクタにメモリ モジュールが装着されていないことがあります。



12. 以下の要領で、メモリ モジュールを取り付けます。

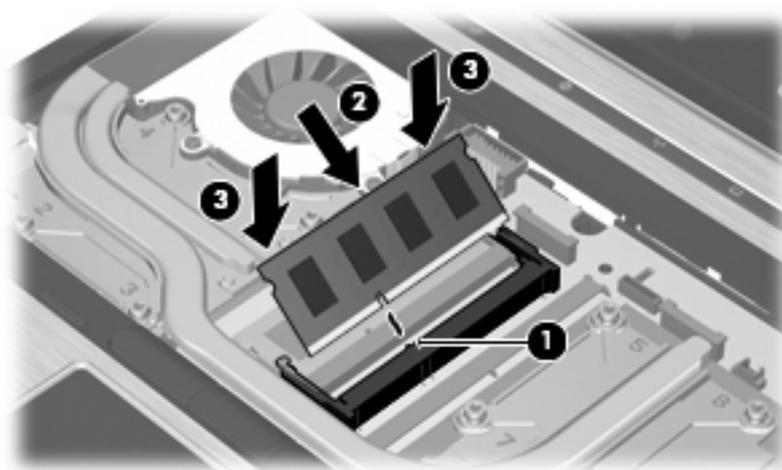
a. メモリ モジュールの切り込みとメモリ モジュール スロット (1) を合わせます。

△ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分に触ったりメモリ モジュールを折り曲げたりしないように注意してください。

b. しっかりと固定されるまでメモリ モジュールを 45°の角度でスロットに押し込み、所定の位置に収まるまでメモリ モジュールを押し下げます (2)。

c. カチッと音がして留め具がメモリ モジュールを固定するまで、メモリ モジュールの左右の端を押し下げます (3)。

🔍 **注記：** お使いのコンピューターのメモリ構成によっては、裏面の DIMM コネクタにメモリ モジュールが装着されていないことがあります。



13. キーボードを元に戻します (1)。

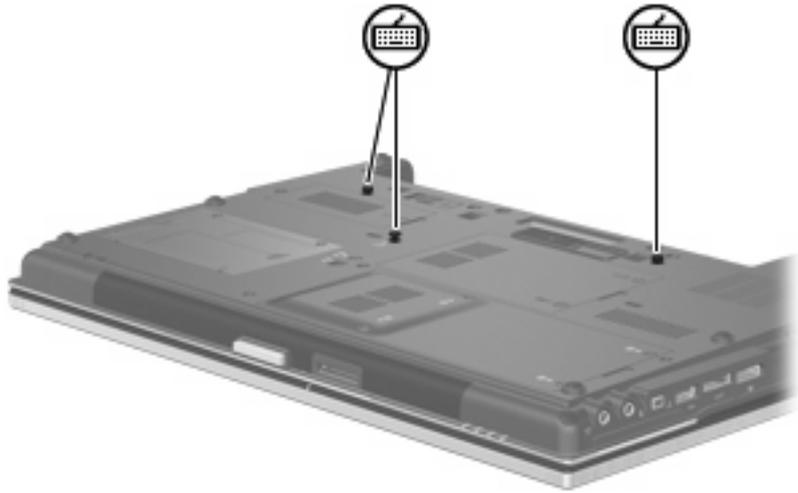
14. 4つのキーボード ラッチをスライドさせて (2)、キーボードをロックします。



15. カバーを閉じます。

16. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。

17. 3つのキーボードのネジを締めます。



18. バッテリーを取り付けなおします。

19. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。

20. コンピューターの電源を入れます。

10 セキュリティ

コンピューターの保護

 **注記：** セキュリティ機能は、誤った取り扱いに対処することを目的としていますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

注記： お使いのコンピューターでは、オンライン セキュリティ ベースの追跡および復元サービスである[CompuTrace]がサポートされています（一部の地域のみ）。コンピューターが盗まれた場合、不正なユーザーがインターネットにアクセスすると、[CompuTrace]による追跡が行われます。[CompuTrace]を使用するには、ソフトウェアを購入し、サービス登録を行う必要があります。[CompuTrace]ソフトウェアの購入については、HP の Web サイト <http://www.hpshopping.com/>（英語サイト）にアクセスしてください。

お使いのコンピューターが備えているセキュリティ機能で、コンピューター自体、個人情報、およびデータをさまざまなリスクから保護できます。使用する必要があるセキュリティ機能は、コンピューターをどのように使用するかによって決まります。

Windows オペレーティング システムには、いくつかのセキュリティ機能が用意されています。その他のセキュリティ機能は、以下の表のとおりです。これらのセキュリティ機能のほとんどは、[Computer Setup]ユーティリティ（以下、[Computer Setup]）で設定できます。

セキュリティの対象	使用するセキュリティ機能
コンピューターの不正な使用	パスワード、スマート カードまたは指紋認証システムと、[HP ProtectTools Security Manager]（HP ProtectTools セキュリティ マネージャ）の組み合わせ
[Computer Setup] (f10) への不正アクセス	[Computer Setup]の BIOS administrator password*
ハードドライブのデータへの不正なアクセス	[Computer Setup]の DriveLock（ドライブロック）パスワード*
光学ドライブ、フロッピーディスク ドライブ、または内蔵ネットワーク アダプターからの不正な起動	[Computer Setup]の[Boot options]（ブート オプション）機能*
Windows ユーザー アカウントへの不正なアクセス	HP ProtectTools Security Manager
データへの不正なアクセス	<ul style="list-style-type: none">ファイアウォール ソフトウェアWindows UpdateDrive Encryption for HP ProtectTools
[Computer Setup]設定などのシステム識別情報への不正アクセス	[Computer Setup]の BIOS administrator password*

セキュリティの対象	使用するセキュリティ機能
コンピューターの不正な移動	セキュリティ ロック ケーブル用スロット（別売のセキュリティ ロック ケーブルとともに使用）

*[Computer Setup]は、プリインストールされたROM ベースのユーティリティで、オペレーティング システムが動作しない場合やロードしない場合にも使用できます。[Computer Setup]で項目間を移動したり項目を選択したりするには、ポインティング デバイス（タッチパッド、ポインティング スティック、または USB マウス）またはキーボードを使用できます。

パスワードの使用

ほとんどのセキュリティ機能では、パスワードが使用されます。パスワードを設定したときは、そのパスワードを常にかき留めておき、コンピューターから離れた他人の目にふれない安全な場所に保管してください。パスワードについては、以下の点に注意してください。

- セットアップ、および DriveLock（ドライブロック）の各パスワードは[Computer Setup]で設定され、システム BIOS によって管理されます。
- 内蔵セキュリティ パスワードは[HP ProtectTools Security Manager]（HP ProtectTools セキュリティ マネージャ）のパスワードであり、[Computer Setup]で有効に設定することで、通常の[HP ProtectTools]の機能に加えて BIOS パスワードによって保護されます。内蔵セキュリティ パスワードは、別売の内蔵セキュリティ チップとともに使用されます。
- Windows パスワードは、Windows オペレーティング システムでのみ設定されます。
- [Computer Setup]で設定した BIOS administrator password（BIOS 管理者パスワード）を忘れてしまった場合は、HP SpareKey を使用して[Computer Setup]にアクセスできます。
- [Computer Setup]で設定した DriveLock の user password（ユーザー パスワード）および DriveLock の master password（マスター パスワード）の両方を忘れてしまうと、これらのパスワードで保護されているハードドライブがロックされたままになり、永久に使用できなくなります。

[Computer Setup]機能と Windows のセキュリティ機能の両方で同じパスワードを使用できます。複数の[Computer Setup]機能で同じパスワードを使用することもできます。

パスワードを作成したり保存したりするときは、以下のヒントを参考にしてください。

- パスワードを作成するときは、プログラムの要件に従う
- パスワードをかき留めておき、コンピューターから離れた他人の目にふれない安全な場所に保管する
- パスワードをコンピューター上のファイルに保存しない

以下の表で、一般に使用される Windows パスワードおよび BIOS administrator password を示し、それぞれの機能について説明します。

Windows でのパスワードの設定

Windows のパスワード	機能
管理者パスワード*	Windows の管理者レベルのアカウントへのアクセスを保護します

Windows のパスワード	機能
ユーザー パスワード*	Windows ユーザー アカウントへのアクセスを保護します

*Windows の管理者パスワードまたは Windows のユーザー パスワードの設定については、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択してください。

[Computer Setup]でのパスワードの設定

BIOS 管理者用パスワード	機能
BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード)	[Computer Setup]へのアクセスを保護します
DriveLock の master password (マスター パスワード)	DriveLock によって保護されている内蔵ハードドライブへのアクセスを保護します。また、DriveLock による保護の解除に使用します。このパスワードは DriveLock を有効にする操作の過程で設定します
DriveLock の user password (ユーザー パスワード)	DriveLock によって保護されている内蔵ハードドライブへのアクセスを保護します。DriveLock を有効にする操作の過程で設定します
TPM 内蔵セキュリティ パスワード	BIOS administrator password として有効にすると、コンピューターの電源投入時、再起動時、またはハイバネーションの終了時に、コンピューターの内容へのアクセスを保護します このパスワードを使用するには、オプションの内蔵セキュリティ チップでこのセキュリティ機能がサポートされている必要があります

BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード)

[Computer Setup]の BIOS administrator password は、[Computer Setup]内の各種設定とシステム識別情報を保護します。このパスワードを設定した場合は、[Computer Setup]にアクセスして変更を行うときにパスワードを入力する必要があります。

BIOS administrator password には以下のような特徴があります。

- [Computer Setup]のセットアップ パスワードと Windows の管理者パスワードには同じ文字列を使用できますが、互いに代替できるものではありません。
- パスワードは、設定、入力、変更または削除するときに画面に表示されません。
- パスワードを入力するときは、設定したときと同じキーを使用する必要があります。たとえば、ファンクション キーの下にある数字キーを使用して BIOS administrator password を設定した場合、その後内蔵テンキーを使用して入力しても同じ文字として認識されません。
- 32 文字以内の半角英数字の組み合わせで、大文字と小文字は区別されません（管理者によって別の設定を強制されていない場合）。

BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の管理

BIOS administrator password は、[Computer Setup]で設定、変更、および削除できます。

[Computer Setup]でこのパスワードを設定または変更するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して[**Security**] (セキュリティ) →[**Change Password**] (パスワードの変更) の順に選択し、**enter** キーを押します。
4. メッセージが表示されたら、現在のパスワードを入力します。
5. メッセージが表示されたら、新しいパスワードを入力します。
6. メッセージが表示されたら、確認のために新しいパスワードを再度入力します。
7. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、画面の左下隅にある[**Save**] (保存) をクリックしてから画面に表示される説明に沿って操作します。

または

矢印キーを使用して[**File**] (ファイル) →[**Save changes and exit**] (変更を保存して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

[Computer Setup]でこのパスワードを削除するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して[**Security**] →[**Change Password**] の順に選択し、**enter** キーを押します。
4. メッセージが表示されたら、現在のパスワードを入力します。
5. 新しいパスワードを入力するように要求されたら、フィールドを空欄のままにして **enter** キーを押します。
6. 警告メッセージが表示されます。操作を続ける場合は、[**YES**] (はい) を選択します。
7. 再度、新しいパスワードを入力するように要求されたら、フィールドを空欄のままにして、**enter** キーを押します。
8. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、画面の左下隅にある[**Save**] をクリックしてから画面に表示される説明に沿って操作します。

または

矢印キーを使用して[**File**] →[**Save changes and exit**] の順に選択し、**enter** キーを押します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の入力

[BIOS administrator password]の入力画面で自分のパスワードを入力し (パスワード設定と同じキーを使用)、**enter** キーを押します。3 回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターを再起動して入力しなおす必要があります。

[Computer Setup]の DriveLock (ドライブロック) の使用

- △ **注意：** DriveLock で保護されているハードドライブが恒久的に使用できなくなることを防ぐため、DriveLock の user password (ユーザー パスワード) と master password (マスター パスワード) を、紙などに書いて他人の目にふれない安全な場所に保管しておいてください。DriveLock パスワードを両方とも忘れてしまうと、これらのパスワードで保護されているハードドライブがロックされたままになり、永久に使用できなくなります。なお、master password と user password を両方とも忘れたためにハードドライブを交換する必要が生じた場合、保証期間内でもドライブの交換は有償で承っておりますのでご了承ください。

DriveLock で保護することによって、ハードドライブのデータへの不正なアクセスを防止できます。DriveLock による保護は、コンピューターの内蔵ハードドライブにのみ設定できます。いったん DriveLock による保護を設定すると、ドライブにアクセスするときにパスワードの入力が必要になります。DriveLock のパスワードでドライブにアクセスするには、ドライブをアドバンスト ポート リプリケータではなく、コンピューターに装着しておく必要があります。

DriveLock による保護をコンピューターの内蔵ハードドライブに設定するには、[Computer Setup]で user password および master password を設定しておく必要があります。DriveLock による保護を設定するときは、以下の点に注意してください。

- いったん DriveLock による保護を設定すると、user password または master password のどちらかを入力することでのみ、保護されているハードドライブにアクセスできるようになります。
- user password は、通常システム管理者ではなく実際にハードドライブを使用するユーザーが設定する必要があります。master password は、システム管理者または実際にハードドライブを使用するユーザーが設定できます。
- user password と master password は、同じであってもかまいません。
- DriveLock によるドライブの保護を解除しないと、user password や master password を削除できません。DriveLock によるハードドライブの保護を解除するには、master password が必要です。

DriveLock パスワードの設定

[Computer Setup]で DriveLock パスワードを設定するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動し、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して [**Security**]（セキュリティ）→ [**DriveLock passwords**]（DriveLock パスワード）の順に選択し、**enter** キーを押します。
4. ポインティング デバイスを使用して、保護するハードドライブをクリックします。
または
矢印キーを使用して、保護するハードドライブを選択し、**enter** キーを押します。
5. 警告メッセージが表示されます。操作を続ける場合は、[**YES**]（はい）を選択します。
6. [**New password**]（新しいパスワード）フィールドと [**Verify new password**]（新しいパスワードの確認）フィールドに master password（マスター パスワード）を入力し、**enter** キーを押します。
7. [**New password**]フィールドと [**Verify new password**]フィールドに user password（ユーザー パスワード）を入力し、**enter** キーを押します。
8. 選択したドライブが DriveLock によって保護されているかを確認するには、確認フィールドに「DriveLock」と入力し、**enter** キーを押します。

 **注記：** DriveLock の確認フィールドでは大文字と小文字が区別されます。

9. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、画面の左下隅にある [**Save**]（保存）をクリックしてから画面に表示される説明に沿って操作します。

または

矢印キーを使用して [**File**]（ファイル）→ [**Save changes and exit**]（変更を保存して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

DriveLock パスワードの入力

ハードドライブが、別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなくコンピューター本体のハードドライブ ベイに装着されていることを確認します。

[DriveLock Password] (DriveLock パスワード) 画面が表示されたら、パスワードを設定したときと同じ種類のキーを使用して user password (ユーザー パスワード) または master password (マスター パスワード) を入力し、**enter** キーを押します。

パスワードを 2 回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターの電源を切ってから再び起動し、入力しなおしてください。

DriveLock パスワードの変更

[Computer Setup]で DriveLock パスワードを変更するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動し、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して [**Security**] (セキュリティ) → [**DriveLock passwords**] (DriveLock パスワード) の順に選択し、**enter** キーを押します。
4. ポインティング デバイスを使用して、内蔵ハードドライブをクリックします。

または

矢印キーを使用して、内蔵ハードドライブを選択し、**enter** キーを押します。

5. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して、変更するパスワードを選択します。
6. [**Old password**] (現在のパスワード) フィールドに現在のパスワードを、[**New password**] (新しいパスワード) フィールドと [**Verify new password**] (新しいパスワードの確認) フィールドに新しいパスワードを入力し、**enter** キーを押します。
7. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、画面の左下隅にある [**Save**] (保存) をクリックしてから画面に表示される説明に沿って操作します。

または

矢印キーを使用して [**File**] (ファイル) → [**Save changes and exit**] (変更を保存して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

自動 DriveLock パスワードの入力

[Computer Setup]で DriveLock による保護を解除するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動し、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して **[Security]**（セキュリティ）→ **[DriveLock password]**（DriveLock パスワード）の順に選択し、**enter** キーを押します。
4. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して内蔵ハードドライブを選択し、**enter** キーを押します。
5. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して、**[Disable protection]**（保護を無効にする）を選択します。
6. master password（マスター パスワード）を入力して、**enter** キーを押します。
7. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、画面の左下隅にある **[Save]**（保存）をクリックしてから画面に表示される説明に沿って操作します。

または

矢印キーを使用して **[File]**（ファイル）→ **[Save changes and exit]**（変更を保存して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

[Computer Setup]の自動 DriveLock の使用

複数のユーザーがいる環境では、自動 DriveLock パスワードを設定できます。自動 DriveLock パスワードを有効にすると、ランダムな user password（ユーザー パスワード）と DriveLock の master password（マスター パスワード）が作られます。ユーザーのパスワード認証が通ると、同じランダムな user password と DriveLock の master password が使用され、ドライブの保護が解除されます。

 **注記：** BIOS administrator password（BIOS 管理者パスワード）がないと、自動 DriveLock 機能にはアクセスできません。

自動 DriveLock パスワードの入力

[Computer Setup]で自動 DriveLock パスワードを有効にするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して **[Security]**（セキュリティ）→ **[Automatic DriveLock]**（自動 DriveLock）の順に選択し、**enter** キーを押します。
4. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して内蔵ハードドライブを選択し、**enter** キーを押します。
5. 警告メッセージが表示されます。操作を続ける場合は、**[YES]**（はい）を選択します。
6. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、画面の左下隅にある **[Save]**（保存）をクリックしてから画面に表示される説明に沿って操作します。

または

矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save changes and exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

自動 DriveLock による保護の解除

[Computer Setup]で DriveLock による保護を解除するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に esc キーを押します。
2. f10 キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して[Security]（セキュリティ）→[Automatic DriveLock]（自動 DriveLock）の順に選択し、enter キーを押します。
4. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して内蔵ハードドライブを選択し、enter キーを押します。
5. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して、[Disable protection]（保護を無効にする）を選択します。
6. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、画面の左下隅にある[Save]（保存）をクリックしてから画面に表示される説明に沿って操作します。

または

矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save changes and exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

[Computer Setup]のセキュリティ機能の使用

システム デバイスのセキュリティ保護

[Computer Setup]の以下のメニューでシステム デバイスを無効または有効にできます。

- Boot Options (ブート オプション)
- Device Configurations (デバイス構成)
- Built-In Device Options (内蔵デバイス オプション)
- Port Options (ポート オプション)

[Computer Setup]でシステム デバイスを無効または再び有効にするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して[**System Configuration**] (システム コンフィギュレーション) を選択してから、[**Boot Options**]、[**Device Configurations**]、[**Built-In Device Options**]、または[**Port Options**]のどれかを選択します。
4. **enter** キーを押します
5. オプションを無効にするには、そのオプションの横の[**Disabled**] (無効) をクリックします。
または
矢印キーを使用して、オプションの横の[**Disabled**]を選択し、**enter** キーを押します。
6. オプションを再び有効にするには、そのオプションの横の[**Enabled**] (有効) をクリックします。
または
矢印キーを使用して、オプションの横の[**Enabled**]を選択し、**enter** キーを押します。
7. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、画面の左下隅にある[**Save**] (保存) をクリックしてから画面に表示される説明に沿って操作します。
または
矢印キーを使用して[**File**] (ファイル) →[**Save changes and exit**] (変更を保存して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

[Computer Setup]のシステム情報を表示する

[Computer Setup]の[System Information] (システム情報) 機能では、以下の2種類のシステム情報を表示できます。

- コンピューター モデルおよびバッテリーについての識別情報
- プロセッサ、キャッシュ、メモリ、ROM、ビデオのリビジョン、およびキーボード コントローラーのバージョンについての仕様情報

[Computer Setup]でこのシステム情報全般を表示するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して **[File]**（ファイル）→ **[System Information]**の順に選択し、**enter** キーを押します。

 **注記：** この情報への不正なアクセスを防ぐには、[Computer Setup]で BIOS administrator password（BIOS 管理者パスワード）を作成する必要があります。

[Computer Setup]のシステム ID の使用

[Computer Setup]の[System ID]（システム ID）機能では、コンピューターのアセット タグおよびオーナーシップ タグを表示または入力できます。

 **注記：** この情報への不正なアクセスを防ぐには、[Computer Setup]で BIOS administrator password（BIOS 管理者パスワード）を作成する必要があります。

[Computer Setup]でこの機能を管理するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して **[Security]**（セキュリティ）→ **[System ID]**の順に選択し、**enter** キーを押します。
4. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して **[Notebook asset tag]**（ノートブック コンピュータ アセット タグ）または **[Notebook ownership tag]**（ノートブック コンピュータ オーナーシップ タグ）を選択し、情報を入力します。
5. 設定が終了したら、**enter** キーを押します。
6. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、画面の左下隅にある **[Save]**（保存）をクリックしてから画面に表示される説明に沿って操作します。

または

矢印キーを使用して **[File]**（ファイル）→ **[Save changes and exit]**（変更を保存して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

ウイルス対策ソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールを使用するとき、またはネットワークやインターネットにアクセスするときは、コンピューターがコンピューター ウィルスの危険にさらされます。コンピューター ウィルスに感染すると、オペレーティング システム、プログラム、ユーティリティなどが使用できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。

ウイルス対策ソフトウェアを使用すれば、ほとんどのウイルスが検出、駆除されるとともに、通常、ウイルスの被害にあった箇所を修復することも可能です。新しく発見されたウイルスからコンピューターを保護するには、ウイルス対策ソフトウェアを最新の状態にしておく必要があります。

お使いのコンピューターには、ウイルス対策ソフトウェアとして[McAfee Total Protection] (McAfee トータル プロテクション) がプリインストールまたはプリロードされています。

ウイルス対策ソフトウェアがプリインストールされている場合は、[スタート]→[すべてのプログラム]→[McAfee]→[Managing Services] (管理サービス) →[Total Protection] (トータル プロテクション) の順に選択します。

ソフトウェアがプリロードされている場合は、[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP Software Setup] (HP ソフトウェア セットアップ) の順に選択してから、画面の説明に沿って操作して [McAfee Total Protection]ソフトウェアを起動します。

コンピューター ウィルスについてさらに詳しく調べるには、[ヘルプとサポート]の[検索]テキストフィールドに「ウイルス」と入力してください。

ファイアウォール ソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールやネットワークを使用したリインターネットにアクセスしたりする場合、使用しているコンピューター、使用者の個人用ファイル、および使用者に関する情報を、第三者が不正に取得してしまう可能性があります。プライバシーを保護するため、コンピューターにプリインストールされているファイアウォール ソフトウェアを使用してください。お使いのコンピューターには、ウィルス対策ソフトウェアとして[McAfee Total Protection] (McAfee トータル プロテクション) がプリインストールされています。インストールされているソフトウェアにアクセスするには、**[スタート]→[すべてのプログラム]→[McAfee]→[Managing Services]** (管理サービス) →**[Total Protection]** (トータル プロテクション) の順に選択します。

ファイアウォール機能によって、ネットワーク接続時の操作に関するログおよびレポートが記録され、コンピューターでの送受信の流れが自動的に監視されます。詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書はソフトウェアに付属のディスクに収録されているか、またはソフトウェアの製造元の Web サイトから入手できます。

-  **注記：** 特定の状況下で、ファイアウォールがインターネット ゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンターやファイルの共有に干渉したり、許可されている電子メールの添付ファイルをブロックしたりすることがあります。問題を一時的に解決するには、ファイアウォールを無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を恒久的に解決するには、必要に応じてファイアウォールを再設定し、他の侵入検知システムのポリシーと設定を調整します。詳しくは、ネットワーク管理者または IT 部門にお問い合わせください。

緊急アップデートのインストール

△ **注意：** Microsoft 社は、緊急アップデートに関する通知を配信しています。お使いのコンピューターをセキュリティの侵害やコンピューター ウィルスから保護するため、通知があった場合はただちに Microsoft 社からのすべての緊急アップデートをインストールしてください。

オペレーティング システムやその他のソフトウェアに対するアップデートが、コンピューターの工場出荷後にリリースされている可能性があります。すべての使用可能なアップデートが確実にコンピューターにインストールされているようにするには、以下の操作を行います。

- Windows Update を毎月実行して、Microsoft 社が提供する最新のソフトウェアをインストールします。
- アップデートがリリースされる度に、Microsoft 社の Web サイトおよび[ヘルプとサポート]のアップデート リンクから入手します。

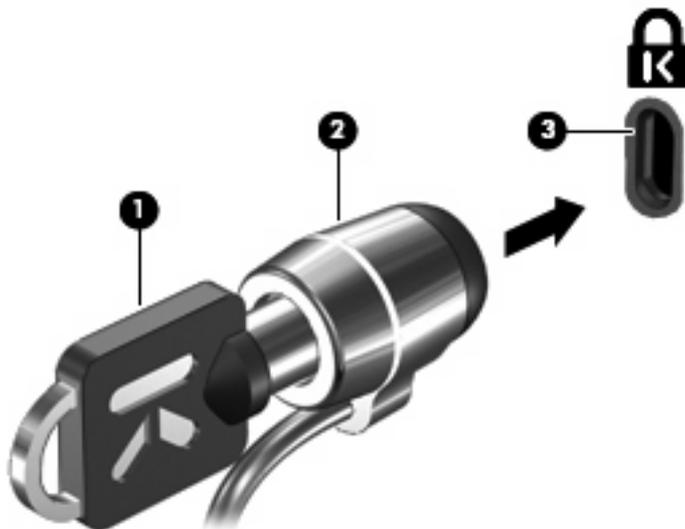
[HP ProtectTools Security Manager] (HP ProtectTools セキュリティ マネージャ) の使用 (一部のモデルのみ)

一部のモデルのコンピューターでは、[HP ProtectTools Security Manager]ソフトウェアがプリインストールされています。このソフトウェアは、Windowsの[コントロール パネル]からアクセスできます。このソフトウェアが提供するセキュリティ機能は、コンピューター本体、ネットワーク、および重要なデータを不正なアクセスから保護するために役立ちます。詳しくは、[HP ProtectTools]のヘルプを参照してください。

セキュリティ ロック ケーブルの取り付け

注記： セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの誤った取り扱いや盗難を完全に防ぐものではありません。

1. 固定された物体にセキュリティ ロック ケーブルを巻きつけます。
2. 鍵 (1) をケーブル ロック (2) に差し込みます。
3. セキュリティ ロック ケーブルをコンピューターのセキュリティ ロック ケーブル用スロット (3) に差し込み、鍵をかけます。



注記： セキュリティ ロック ケーブル用スロットの位置は、コンピューターのモデルによって異なります。

11 ソフトウェアの更新

ソフトウェアの更新

コンピューターに付属のソフトウェアの最新版は、[HP Assistant] (HP アシスタント) ユーティリティを介して、または HP の Web サイトから入手できます。

[HP Assistant]は、HP の最新ソフトウェアを自動的にチェックします。このユーティリティは指定した時間間隔で実行され、セキュリティの強化対策などサポート警告の一覧、および最新ソフトウェアやドライバーのオプションを表示します。

[スタート]→[ヘルプとサポート]→[管理]の順に選択し、画面の説明に沿って操作することで、いつでも最新ソフトウェアを調べることができます。

HP の Web サイトには、多くのソフトウェアが **SoftPaq** という圧縮ファイル形式で提供されています。一部の最新 BIOS は、ROMPaq という名前の圧縮ファイルで提供される場合があります。

ダウンロード パッケージに Readme.txt というファイルが含まれている場合があります。このファイルには、ファイルのインストールとトラブルシューティングに関する情報が記載されています (ROMPaq に収録されている Readme.txt ファイルは、英語で提供されています)。

最新ソフトウェアは、『Support Software』 (サポート ソフトウェア) ディスク (別売) から利用することもできます。このディスクには、デバイス ドライバー、最新 BIOS、およびユーティリティが収録されています。

『Support Software』 ディスクを購入したり、最新バージョンおよび今後のバージョンの両方のディスクを利用するための申し込みを行ったりするには、以下の操作を行います。

1. インターネット ブラウザーを開き、<http://www.hp.com/support/>を表示します。
2. 国または地域を選択します。
3. [ドライバー&ソフトウェアをダウンロードする]オプションをクリックし、お使いのコンピューターの製品名または製品番号を[製品名・番号で検索]フィールドに入力します。
4. **enter** キーを押します。
5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

『Support Software』 ディスクを使用してソフトウェアを更新するには、以下の操作を行います。

1. 『Support Software』 ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

HP の Web サイトでソフトウェアを更新するには、以下の操作を行います。

1. お使いのモデルのコンピューター、製品のカテゴリ、およびシリーズまたはファミリーを確認します。コンピューターに現在インストールされている BIOS のバージョンを確認して、システム BIOS アップデートを準備します。詳しくは、「BIOS のバージョンの確認」を参照してください。

コンピューターがネットワークに接続されている場合は、ソフトウェア アップデート（特にシステム BIOS アップデート）のインストールは、ネットワーク管理者に確認してから実行してください。

 **注記：** コンピューター システムの BIOS は、システム ROM に格納されます。BIOS は、オペレーティング システムを初期化し、コンピューターとハードウェア デバイスとの通信方法を決定し、ハードウェア デバイス間で日付と時刻などのデータを転送します。

注記： Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。アプリケーションのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、Windows の[ヘルプとサポート]を参照してください。

2. インターネット ブラウザーを開き、<http://www.hp.com/support/>を表示します。
3. 国または地域を選択します。
4. [ドライバー&ソフトウェアをダウンロードする]オプションをクリックし、お使いのコンピューターの製品名または製品番号を[製品名・番号で検索]フィールドに入力します。
5. **enter** キーを押します
6. 画面に表示される説明に沿って操作します。

BIOS の更新

BIOS を更新するには、まず現在使用している BIOS のバージョンを確認してから、新しい BIOS をダウンロードしてインストールします。

BIOS のバージョンの確認

BIOS バージョン情報（ROM の日付またはシステム BIOS と呼ばれます）を表示するには、**fn + esc** キーを押す（Windows を起動している場合）か、[Computer Setup]を使用します。

[Computer Setup]を使用して BIOS の情報を表示するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して **[File]**（ファイル）→**[System Information]**（システム情報）の順に選択します。
4. **[File]**メニューに戻るには、**esc** キーを押します。
5. 画面の左下隅にある **[Exit]**（終了）をクリックし、画面に表示される説明に沿って操作します。

または

矢印キーを使用して **[File]**→**[Ignore Changes and Exit]**（変更を無視して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。

BIOS アップデートのダウンロード

- △ **注意：** コンピューターの損傷やインストールの失敗を防ぐため、BIOS アップデートのダウンロードおよびインストールを実行するときは必ず、AC アダプターを使用した信頼性の高い外部電源にコンピューターを接続してください。コンピューターがバッテリー電源で動作しているとき、別売のドッキング デバイスに接続されているとき、または別売の電源に接続されているときは、BIOS アップデートをダウンロードまたはインストールしないでください。ダウンロードおよびインストール時は、以下の点に注意してください。

電源コンセントからコンピューターの電源コードを抜いて外部からの電源供給を遮断することはおやめください。

コンピューターをシャットダウンしたり、スリープやハイバネーションを開始したりしないでください。

デバイス、ケーブル、またはコードの挿入、取り外し、接続、または切断を行わないでください。

BIOS アップデートをダウンロードするには、以下の操作を行います。

- ☞ **注記：** BIOS アップデートは必要に応じてリリースされます。お使いのコンピューター用に BIOS アップデートが準備されていない場合もあります。HP の Web サイトを定期的にチェックして、BIOS アップデートがあるかどうかを確認することをおすすめします。

1. インターネット ブラウザーを開き、<http://www.hp.com/support/>を表示して、国または地域を選択します。
2. [ドライバー&ソフトウェアをダウンロードする]オプションをクリックし、お使いのコンピューターの製品名または製品番号を[製品名・番号で検索]フィールドに入力して、**enter** キーを押します。
3. 一覧に表示されたモデルから特定の製品をクリックします。
4. お使いのオペレーティング システムをクリックします。
5. 画面の説明に沿って、ダウンロードする BIOS アップデートにアクセスします。ダウンロードの日付や名前、またはその他のファイルを識別するための情報をメモしておきます。後で、ハードドライブにダウンロードしたアップデートを探すときにこの情報が必要になる場合があります。
6. ダウンロード エリアで、以下の操作を行います。
 - a. お使いのコンピューターに現在インストールされている BIOS のバージョンよりも新しい BIOS アップデートを確認します。
 - b. 画面の説明に沿って操作し、選択したバージョンをハードドライブにダウンロードします。

BIOS アップデートをダウンロードする場所へのパスをメモします。このパスは、アップデートをインストールするときが必要です。

- ☞ **注記：** コンピューターをネットワークに接続している場合は、ソフトウェア アップデート（特にシステム BIOS アップデート）のインストールは、ネットワーク管理者に確認してから実行してください。

ダウンロードした BIOS によってインストール手順が異なります。ダウンロードが完了した後、画面に表示される説明に沿って操作します。説明が表示されない場合は、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コンピューター]の順に選択して、Windows の[エクスプローラー]を開きます。
2. ハードドライブをダブルクリックします。通常は、ローカル ディスク (C:) を指定します。

3. BIOS ソフトウェアをダウンロードした時のメモを参照するなどして、ハードドライブ上のアップデート ファイルが保存されているフォルダーを開きます。
4. 拡張子が.exe であるファイル (filename.exe など) をダブルクリックします。

BIOS のインストールが開始されます。

 **注記：** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。アプリケーションのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、Windows の[ヘルプとサポート]を参照してください。

5. 画面の説明に沿って操作し、インストールを完了します。

 **注記：** インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードしたファイルをハードドライブから削除できます。

プログラムおよびドライバーの更新

1. インターネット ブラウザーを開き、<http://www.hp.com/support/>を表示して、国または地域を選択します。
2. [ドライバー&ソフトウェアをダウンロードする]オプションをクリックし、お使いのコンピューターの製品名または製品番号を[製品名・番号で検索]フィールドに入力して、**enter** キーを押します。

または

特定の SoftPak が必要な場合は、画面の右上隅にある[検索]フィールドに SoftPak 番号を入力します。次に、**enter** キーを押し、画面の説明に沿って操作します。手順 6 に進んでください。

3. 一覧に表示されたモデルから特定の製品をクリックします。
4. お使いのオペレーティング システムをクリックします。
5. アップデートの一覧が表示されたら、アップデートをクリックして追加の情報を含むウィンドウを開きます。
6. [ダウンロード]をクリックします。
7. ファイルをダウンロードしないで更新されたソフトウェアをインストールするには、[実行]をクリックします。

または

コンピューターにファイルを保存するには、[保存]をクリックします。メッセージが表示されたら、ハードドライブ上のファイルを保存する場所を選択します。

ファイルをダウンロードしたら、ファイルを保存したフォルダーに移動し、ファイルをダブルクリックしてアップデートをインストールします。

8. インストールが完了した後に、コンピューターの再起動を求めるメッセージが表示された場合は、コンピューターを再起動します。

[HP SoftPaq Download Manager] (HP SoftPaq ダウンロード マネージャ) の使用

[HP SoftPaq Download Manager] (HP SDM) は、SoftPaq 番号なしに HP 製ビジネス向けコンピューターの SoftPaq 情報にすばやくアクセスできるツールです。このツールを使用すると、SoftPaq の検索、ダウンロード、および展開を簡単に実行できます。

[HP SoftPaq Download Manager]は、コンピューターのモデルや SoftPaq の情報を含む公開データベース ファイルを、HP の FTP サイトから読み込み、ダウンロードすることによって動作します。[HP SoftPaq Download Manager]を使用すると、1 つ以上のコンピューターのモデルを指定し、利用可能な SoftPaq を調べてダウンロードできます。

[HP SoftPaq Download Manager]は HP の FTP サイトをチェックし、データベースおよびソフトウェアの更新がないかどうかを確認します。更新が見つかったら、自動的にその更新がダウンロードされて、適用されます。

[HP SoftPaq Download Manager]は HP の Web サイトから入手できます。[HP SoftPaq Download Manager]を使用して SoftPaq をダウンロードするには、まず、[HP SoftPaq Download Manager]のダウンロードおよびインストールを行う必要があります。HP の Web サイト <http://www.hp.com/go/sdm/> (英語サイト) を表示して、画面の説明に沿って[HP SoftPaq Download Manager]のダウンロードとインストールを行います。

SoftPaq をダウンロードするには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[HP Software Setup] (HP ソフトウェア セットアップ) →[HP SoftPaq Download Manager]の順に選択します。
2. [HP SoftPaq Download Manager]を初めて起動すると、使用中のコンピューターのソフトウェアのみを表示するか、サポートされているすべてのモデルのソフトウェアを表示するかを尋ねるウィンドウが表示されます。[サポートされているすべてのモデルのソフトウェアを表示する]を選択します。[HP SoftPaq Download Manager]を以前に使用したことがある場合は、手順 3 に進みます。
 - a. [構成オプション]ウィンドウでオペレーティング システムおよび言語フィルターを選択します。フィルターによって、[製品カタログ]パネルに一覧表示されるオプションの数が制限されます。たとえば、オペレーティング システム フィルターで Windows 7 Professional のみを選択すると、[製品カタログ]に表示されるオペレーティング システムは Windows 7 Professional のみになります。
 - b. 他のオペレーティング システムを追加するには、[構成オプション]ウィンドウでフィルター設定を変更します。詳しくは、[HP SoftPaq Download Manager]ソフトウェアのヘルプを参照してください。
3. 左側の枠内で、プラス記号 (+) をクリックしてモデル一覧を展開し、更新する製品のモデルを 1 つまたは複数選択します。
4. [利用可能な SoftPaq の検索]をクリックして、選択したコンピューターで利用可能な SoftPaq の一覧をダウンロードします。
5. SoftPaq の選択内容およびインターネットの接続速度によってはダウンロード処理に時間がかかることがあるため、ダウンロードする SoftPaq の数が多い場合は、利用可能な SoftPaq の一覧から SoftPaq を選択して、[ダウンロードのみ]をクリックします。

ダウンロードする SoftPaq が 1 つまたは 2 つのみで、高速のインターネット接続を使用している場合は、**[ダウンロードしてパッケージを展開]** をクリックします。

6. [HP SoftPaq Download Manager]ソフトウェアで**[SoftPaq のインストール]**を右クリックすると、選択した SoftPaq がコンピューターにインストールされます。

12 バックアップおよび復元

情報を保護するには、Windows の[バックアップと復元]を使用して、個々のファイルやフォルダーをバックアップしたり、ハードドライブ全体をバックアップしたり（一部のモデルのみ）、システム修復ディスクを作成したり（一部のモデルのみ）、システムの復元ポイントを作成したりします。システムに障害が発生した場合は、バックアップ ファイルを使用して、コンピューターの内容を復元できます。

Windows の[バックアップと復元]には、以下のオプションが用意されています。

- システム修復ディスクの作成（一部のモデルのみ）
- 個々のファイルやフォルダーのバックアップ
- システム イメージの作成（一部のモデルのみ）
- 自動バックアップのスケジュールの設定（一部のモデルのみ）
- システムの復元ポイントの作成
- 個々のファイルの復元
- 以前の状態へのコンピューターの復元
- リカバリ ツールによる情報の復元

 **注記：** 詳しい手順については、[ヘルプとサポート]でこれらの項目を参照してください。

注記： システムが不安定な場合に備え、復元の手順を印刷し、後で利用できるように保管しておくことをおすすめします。

情報のバックアップ

障害が発生した後にシステムの復元を実行すると、最後にバックアップを行ったときの状態が復元されます。ソフトウェアのセットアップが終了したら、すぐにシステム修復ディスク（一部のモデルのみ）および初期バックアップを作成してください。その後も、新しいソフトウェアやデータ ファイルの追加に応じて定期的にシステムをバックアップし、適切な新しいバックアップを作成しておくようにしてください。システム修復ディスク（一部のモデルのみ）は、システムが不安定になった場合、またはシステムに障害が発生した場合に、コンピューターを起動（ブート）し、オペレーティング システムとソフトウェアを修復するために使用します。システムに障害が発生した場合は、初期バックアップおよびその後のバックアップを使用してデータおよび設定を復元できます。

情報は、別売の外付けハードドライブ、ネットワーク ドライブ、またはディスクにバックアップできます。

バックアップを行う場合は、以下の点を参考にしてください。

- 個人用ファイルをドキュメント ライブラリに保存して、定期的にバックアップします。
- 関連付けられたプログラムに保存されているテンプレートをバックアップします。
- カスタマイズされているウィンドウ、ツールバー、またはメニュー バーの設定のスクリーンショットを撮って保存します。設定をリセットする必要がある場合、画面のコピーを保存しておくことで時間を節約できます。

スクリーン ショットを作成するには、以下の操作を行います。

1. 保存する画面を表示させます。
 2. 表示されている画面を、クリップボードに画像としてコピーします。
アクティブなウィンドウだけをコピーするには、**alt + fn + prt sc** キーを押します。
画面全体をコピーするには、**fn + prt sc** キーを押します。
 3. ワードプロ文書などを開き、**[編集]**→**[貼り付け]**の順に選択します。
画面のイメージが文書に追加されます。
 4. 文書を保存します。
- ディスクにバックアップする場合は、以下の種類の別売のディスクを使用できます。CD-R、CD-RW、DVD+R、DVD+R（2層記録（DL）対応）、DVD-R、DVD-R（2層記録（DL）対応）、および DVD±RW。使用するディスクはコンピューターに取り付けられているオプティカル ドライブの種類によって異なります。
-  **注記：** DVD および 2層記録（DL）対応 DVD を使用すると、CD より保存できる情報量が増えるため、バックアップに必要なリカバリ ディスクの数が少なくなります。
- ディスクにバックアップする場合は、各ディスクに番号を付けてからコンピューターのオプティカル ドライブに挿入します。

[バックアップと復元]を使用してバックアップを作成するには、以下の操作を行います。

-  **注記：** お使いのコンピューターが外部電源に接続されていることを確認してから、バックアップ処理を開始してください。

注記： ファイルのサイズやコンピューターの処理速度に応じて、バックアップ処理には1時間以上かかることがあります。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[メンテナンス]→[バックアップと復元]の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って、バックアップをセットアップするか、システム イメージ（一部のモデルのみ）を作成するか、またはシステム修復ディスク（一部のモデルのみ）を作成します。

 **注記：** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。アプリケーションのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、Windows の[ヘルプとサポート]を参照してください。

復元の実行

お使いのコンピューターには、システムの障害やシステムが不安定な場合に備え、ファイルを復元する以下のツールが用意されています。

- Windows リカバリ ツール : Windows の[バックアップと復元]を使用して、以前バックアップを行った情報を復元できます。また、Windows の [スタートアップ修復] を使用して、Windows が正常に起動できなくなる可能性のある問題を修復できます。
- f11 リカバリ ツール : f11 リカバリ ツールを使用して、初期状態のハードドライブのイメージを復元できます。このイメージには、工場出荷時にインストールされていた Windows オペレーティング システムおよびソフトウェア プログラムが含まれます。

 **注記 :** コンピューターを起動できず、以前に作成したシステム修復ディスク (一部のモデルのみ) を使用できない場合は、Windows 7 オペレーティング システムの DVD を購入してコンピューターを再起動し、オペレーティング システムを修復する必要があります。詳しくは、このガイドの「別売の Windows 7 オペレーティング システムの DVD を使用した情報の復元」の項目を参照してください。

Windows リカバリ ツールの使用

以前バックアップした情報を復元するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[メンテナンス]→[バックアップと復元]の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って、システム設定、コンピューター全体 (一部のモデルのみ)、またはファイルを復元します。

 **注記 :** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。アプリケーションのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、Windows の[ヘルプとサポート]を参照してください。

[スタートアップ修復] を使用して情報を復元するには、以下の操作を行います。

△ **注意：** [スタートアップ修復]を使用した場合、ハードドライブの内容が完全に消去され、ハードドライブが再フォーマットされます。コンピューター上に作成したすべてのファイルおよびインストールしたすべてのソフトウェアが完全に削除されます。再フォーマットが完了すると、復元に使用されるバックアップから、オペレーティング システム、ドライバー、ソフトウェア、ユーティリティが復元されます。

1. 可能であれば、すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. 可能であれば、Windows のパーティションと HP 復元用パーティションがあることを確認します。

Windows パーティションがあることを確認するには、[スタート]→[コンピューター]の順に選択します。

HP 復元用パーティションの有無を確認するには、[スタート]を選択し、[コンピューター]を右クリックして[管理]→[ディスクの管理]の順にクリックします。

☞ **注記：** Windows パーティションと HP 復元用パーティションが一覧に表示されない場合は、Windows 7 オペレーティング システムの DVD および『Driver Recovery』（ドライバー リカバリ）ディスク（両方とも別売）を使用して、オペレーティング システムおよびプログラムを復元する必要があります。詳しくは、このガイドの「別売の Windows 7 オペレーティング システムの DVD を使用した情報の復元」の項目を参照してください。

3. Windows パーティションと HP 復元用パーティションが一覧に表示される場合は、コンピューターを再起動してから、Windows オペレーティング システムがロードされる前に **f8** キーを押します。
4. [スタートアップ修復]を選択します。
5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

☞ **注記：** Windows ツールを使用した情報の復元について詳しくは、[ヘルプとサポート]でこれらの項目を参照してください。

f11 キーによるハードドライブの復元

△ **注意：** **f11** を使用した場合、ハードドライブの内容が完全に消去され、ハードドライブが再フォーマットされます。コンピューター上に作成したすべてのファイルおよびインストールしたすべてのソフトウェアが完全に削除されます。**f11** キーのリカバリ ツールを使用すると、工場出荷時にインストールされていたオペレーティング システム、HP プログラム、およびドライバーが再インストールされます。工場出荷時にインストールされていなかったソフトウェアは、再インストールする必要があります。

f11 を使用して初期状態のハードドライブのイメージを復元するには、以下の操作を行います。

1. 可能であれば、すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. 可能であれば、HP 復元用パーティションがあることを確認します。[スタート]を選択し、[コンピューター]を右クリックして[管理]→[ディスクの管理]の順にクリックします。

☞ **注記：** HP 復元用パーティションが一覧に表示されない場合は、Windows 7 オペレーティング システムの DVD および『Driver Recovery』（ドライバー リカバリ）ディスク（両方とも別売）を使用して、オペレーティング システムおよびプログラムを復元する必要があります。詳しくは、このガイドの「別売の Windows 7 オペレーティング システムの DVD を使用した情報の復元」の項目を参照してください。

3. HP 復元用パーティションが一覧に表示される場合は、コンピューターを再起動してから、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。
4. [Press <F11> for recovery]というメッセージが表示されている間に、**f11** キーを押します。
5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

別売の Windows 7 オペレーティング システムの DVD を使用した情報の復元

コンピューターを起動できず、以前に作成したシステム修復ディスク（一部のモデルのみ）を使用できない場合は、Windows 7 オペレーティング システムの DVD を購入してコンピューターを再起動し、オペレーティング システムを修復する必要があります。最新のバックアップ（ディスクか外付けドライブに保存されているもの）が手元にあることを確認してください。Windows 7 オペレーティング システムの DVD を購入するには、<http://www.hp.com/jp/>にアクセスしてお使いのコンピューターについての情報を確認してください。また、電話でお問い合わせになる場合は、製品に付属の『サービスおよびサポートを受けるには』を参照してください。日本以外の国や地域については、製品に付属の冊子『Worldwide Telephone Numbers』（英語版）を参照してください。

- △ **注意：** Windows 7 オペレーティング システムの DVD を使用した場合、ハードドライブの内容が完全に消去され、ハードドライブが再フォーマットされます。コンピューター上に作成したすべてのファイルおよびインストールしたすべてのソフトウェアが完全に削除されます。再フォーマットが完了すると、オペレーティング システム、ドライバ、ソフトウェア、ユーティリティが復元されます。

Windows 7 オペレーティング システムの DVD を使用して復元を開始するには、以下の操作を行います。

- 📖 **注記：** この処理には数分かかる場合があります。

1. 可能であれば、すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. コンピューターを再起動した後、Windows オペレーティング システムがロードされる前に、Windows 7 オペレーティング システムの DVD をオプティカル ドライブに挿入します。
3. 指示が表示されたら、任意のキーボード キーを押します。
4. 画面に表示される説明に沿って操作します。
5. **[次へ]**をクリックします。
6. **[コンピューターを修復する]**を選択します。
7. 画面に表示される説明に沿って操作します。

13 Computer Setup

[Computer Setup]の開始

[Computer Setup]は、プリインストールされた ROM ベースのユーティリティです。オペレーティング システムが動かなかったり読み込まれなかったりする場合でも使用できます。

 **注記：** このガイドに記載されている[Computer Setup]の一部のメニュー項目は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

注記： [Computer Setup]では、USB レガシー サポート機能が有効な場合にのみ、USB コネクタに接続された外付けキーボードまたはマウスを使用できます。

[Computer Setup]を開始するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。

[Computer Setup]の使用

[Computer Setup]での移動および選択

[Computer Setup]の情報および設定は、[File]（ファイル）、[Security]（セキュリティ）、[Diagnostics]（診断）、[System Configuration]（詳細設定）の4つのメニューからアクセスできます。

[Computer Setup]で移動および選択するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。
 - メニューまたはメニュー項目を選択するには、ポインティング デバイスを使用して項目をクリックするか、キーボードのタブ キーや矢印キーを使用して項目を移動してから **enter** キーを押します。
 - 画面を上下にスクロールするには、ポインティング デバイスを使用して画面の右上隅にある上向き矢印または下向き矢印をクリックするか、キーボードの上向き矢印キーまたは下向き矢印キーを使用します。
 - 開いているダイアログ ボックスを閉じて[Computer Setup]のメイン画面に戻るには、**esc** キーを押し、画面の説明に沿って操作します。

 **注記：** [Computer Setup]で項目間を移動したり項目を選択したりするには、ポインティングデバイス（タッチパッド、ポインティング スティック、またはUSB マウス）またはキーボードを使用します。

2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. **[File]**、**[Security]**、**[Diagnostics]**、または**[System Configuration]**メニューを選択します。

[Computer Setup]のメニューを終了するには、以下のどれかの方法を選択します。

- 変更を保存しないで[Computer Setup]メニューを終了するには、画面の左下隅にある**[Exit]**（終了）アイコンをクリックし、画面に表示される説明に沿って操作します。

または

タブ キーおよび矢印キーを使用して**[File]**→**[Ignore Changes and Exit]**（変更を無視して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。

または

- 変更を保存して[Computer Setup]メニューを終了するには、画面の左下隅にある**[Save]**（保存）アイコンをクリックしてから画面に表示される説明に沿って操作します。

または

タブ キーおよび矢印キーを使用して**[File]**→**[Save changes and exit]**（変更を保存して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

[Computer Setup]の工場出荷時設定の復元

 **注記：** 初期設定を復元しても、ハードドライブのモードには影響ありません。

[Computer Setup]のすべての設定を工場出荷時の設定に戻すには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して**[File]**（ファイル）→**[Restore defaults]**（初期設定に設定）の順に選択します。
4. 画面に表示される説明に沿って操作します。
5. 変更を保存して終了するには、画面の左下隅にある**[Save]**（保存）アイコンをクリックし、画面に表示される説明に沿って操作します。

または

矢印キーを使用して**[File]**→**[Save changes and exit]**（変更を保存して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

 **注記：** 上記の手順で工場出荷時の設定を復元しても、パスワードおよびセキュリティの設定は変更されません。

[Computer Setup]のメニュー

このセクションのメニューの表に、[Computer Setup]のオプションの概要を示します。

 **注記：** この章に記載されている[Computer Setup]の一部のメニュー項目は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

[File] (ファイル) メニュー

オプション	設定内容
System Information (システム情報)	<ul style="list-style-type: none">コンピューターおよびバッテリーについての識別情報を表示しますプロセッサ、キャッシュ サイズおよびメモリ サイズ、システム ROM、ビデオのリビジョン、キーボード コントローラーのバージョンについての仕様情報を表示します
Set System Date and Time (システムの日付および時刻の設定)	コンピューターの日付と時刻を設定したり変更したりします
System Diagnostics (システム診断)	以下の情報が含まれています <ul style="list-style-type: none">System Information (システム情報)<ul style="list-style-type: none">コンピューターおよびバッテリーについての識別情報プロセッサ、キャッシュ サイズおよびメモリ サイズ、システム ROM、ビデオのリビジョン、キーボード コントローラーのバージョンについての仕様情報Start-up Test (起動テスト) : コンピューターを起動するために必要なシステム コンポーネントを確認しますRun-In Test (実行時テスト) : システム メモリの包括的なチェックを実行しますHard Disk Test (ハードドライブ テスト) : システム内の任意のハードドライブに対する包括的な自己診断テストを実行しますMemory Test (メモリ テスト) : コンピューターに取り付けられているメモリの包括的なテストを実行しますBattery Test (バッテリー テスト) : コンピューターに取り付けられているバッテリーの包括的なテストを実行しますError Log (エラー ログ) : エラーが発生した場合にログ ファイルを表示します
Restore defaults (初期設定に設定)	[Computer Setup]の設定を工場出荷時の設定に戻します (工場出荷時の設定を復元しても、ハードドライブ モード、パスワード設定、およびセキュリティの設定は変更されません)
Reset BIOS security to factory default (BIOS セキュリティを工場出荷時の設定に戻す)	BIOS セキュリティを工場出荷時の設定に戻します

オプション	設定内容
Ignore changes and exit (変更を無視して終了)	そのセッションで行った変更をキャンセルします。次に[Computer Setup]を終了してコンピューターを再起動します
Save changes and exit (変更を保存して終了)	そのセッションで行った変更を保存します。次に[Computer Setup]を終了してコンピューターを再起動します。変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります

[Security] (セキュリティ) メニュー

 **注記:** ここに示すメニュー項目によっては、お使いのコンピューターでサポートされていない場合があります。

オプション	設定内容
Administrator Tools (管理者ツール)	
Setup BIOS Administrator Password (BIOS 管理者パスワードの設定)	BIOS Administrator Password (BIOS 管理者パスワード) を設定します
User Management (ユーザー管理) (BIOS 管理者パスワードが必要)	
Create New BIOS User Account (BIOS ユーザー アカウントの新規作成)	<ul style="list-style-type: none"> BIOS ユーザーを一覧から選択します [HP ProtectTools]ユーザーを一覧から選択します
Password Policy (パスワード ポリシー) (BIOS 管理者パスワードが必要)	パスワード ポリシーの基準を修正します
HP SpareKey (HP スペアキー)	[HP SpareKey]を有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています)
Always Prompt for HP SpareKey Enrollment ([HP SpareKey]への登録の確認を常に表示)	[HP SpareKey Enrollment]を有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています)
Fingerprint Reset on Reboot (再起動時に指紋認証をリセット) (存在する場合)	指紋認証システムのオーナーシップをリセット/消去します (一部のモデルのみ。初期設定で無効に設定されています)
User Tools (ユーザー ツール)	
Change Password (パスワードの変更)	BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) を入力、変更、または削除します
HP SpareKey Enrollment ([HP SpareKey]の登録)	パスワードを忘れてしまった場合に使用する、セキュリティに関する質問と回答の組み合わせである HP SpareKey を登録またはリセットします
Anti Theft (盗難防止)	
AT-p	盗難防止のための保護 (Anti-Theft Protection) を有効/無効にします

オプション	設定内容
DriveLock Passwords (DriveLock パスワード)	<ul style="list-style-type: none"> システム内のハードドライブの DriveLock (ドライブロック) を有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています) DriveLock の user password (ユーザー パスワード) または master password (マスター パスワード) を変更します <p>注記: コンピューターを再起動するのではなく、電源を入れて[Computer Setup]を開いた場合にのみ、DriveLock の設定値にアクセスできます</p>
Automatic DriveLock (自動 DriveLock)	自動 DriveLock のサポートを有効/無効にします
TPM Embedded Security (TPM 内蔵セキュリティ)	<p>TPM (Trusted Platform Module) 内蔵セキュリティのサポートを有効/無効にして、[HP Embedded Security for ProtectTools]の所有者機能への不正なアクセスからコンピューターを保護します。詳しくは、[HP ProtectTools]ソフトウェアのヘルプを参照してください</p> <p>注記: この設定を変更するにはセットアップ パスワードが必要です</p>
Disk Sanitizer (ディスク クリーナー)	<p>メイン ハードドライブまたはアップグレード ベイ内のドライブにあるすべてのデータを消去するディスク クリーナーを実行します</p> <p>注意: ディスク クリーナーを実行すると、選択したドライブのデータは完全に消去されます</p>
System IDs (システム ID)	コンピューターの、ユーザー定義のアセット タグおよびオーナーシップ タグを入力します

[System Configuration] (システム コンフィギュレーション) メニュー

 **注記:** このセクションに記載されているメニュー項目の一部は、お使いのコンピューターではサポートされない場合があります。

オプション	設定内容
Language (言語)	[Computer Setup]の使用言語を変更します

オプション	設定内容
Boot Options (ブート オプション)	<ul style="list-style-type: none"> ● [Startup Menu delay (in seconds)] (起動メニュー遅延 (秒)) を設定します ● MultiBoot Express の[Express Boot Popup Delay (Sec)] (高速ブート ポップアップ遅延 (秒)) を設定します ● [Custom Logo] (カスタム ログ) を有効/無効にします (初期設定で無効に設定されています) ● [Display Diagnostic URL] (診断 URL の表示) を有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています) ● [CD-ROM boot] (CD-ROM ブート) を有効/無効にします (初期設定で無効に設定されています) ● [SD Card boot] (SD カード ブート) を有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています) ● [Floppy boot] (フロッピーディスク ブート) を有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています) ● [PXE Internal NIC boot] (PXE 内蔵 NIC ブート) を有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています) ● [UEFI Boot Mode] (UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) ブート モード) を有効/無効にします (初期設定で無効に設定されています) ● [Legacy Boot Order] (レガシー ブート順序) を設定します
Device Configurations (デバイス構成)	<ul style="list-style-type: none"> ● [USB legacy support] (USB レガシー サポート) を有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています)。[USB legacy support]を有効にすると、以下のことが可能になります <ul style="list-style-type: none"> ◦ Windows オペレーティング システムが実行されていなくても、USB 対応キーボードを[Computer Setup]で使用できます ◦ コンピューターの USB コネクタに接続されているハードドライブ、フロッピーディスク ドライブ、およびオプティカル ドライブを含めた、ブート可

オプション**設定内容**

能な USB デバイスからコンピューターを起動できます

- [parallel port mode] (パラレル ポート モード) を、[ECP (Enhanced Capabilities Port)], [Standard] (標準)、[Bidirectional] (双方向)、または[EPP (Enhanced Parallel Port)]から選択します
 - 外部電源使用時のシステムのファンを有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています)
 - [Data Execution Prevention] (データ実行防止設定) を有効/無効にします (一部のモデルのみ)。実行時防止設定を有効にすると、一部のウィルスのコード実行をプロセッサによって無効にでき、コンピューターの安全性が向上します (初期設定で無効に設定されています)
 - [SATA Device Mode] (SATA (Serial Advanced Technology Attachment) デバイス モード) を設定します。以下のオプションがあります
 - AHCI (Advanced Host Controller Interface)
 - IDE (Integrated Drive Electronics)
 - RAID (Redundant Array of Independent Disks) (一部のモデルのみ)
-

注記： 上記のオプションを利用できるかどうかは、コンピューターのモデルによって異なります

- [Secondary Battery Fast Charge] (セカンダリ バッテリーの高速充電) を有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています)
- [HP QuickLook] を有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています)
- [HP QuickLook Boot]の[Preboot Authentication on] (ブート前認証) を有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています)
- [HP QuickWeb] を有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています)
- [HP QuickWeb]の書き込み保護を有効/無効にします (初期設定で無効に設定されています)
- [Virtualization Technology] (仮想化テクノロジー) を有効/無効にします (一部のモデルのみ。初期設定で無効に設定されています)
- TXT (インテル® トラステッド・エグゼキューション・テクノロジー) を有効/無効にします (一部のモデルのみ。初期設定で無効に設定されています)
- マルチ コア CPU (初期設定で有効に設定されています)
- インテル HT テクノロジー (初期設定で有効に設定されています)
- [Wake on USB] (ウェイク オン USB) を有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています)
- ブート時の Num Lock の状態を有効/無効にします (初期設定で無効に設定されています)

オプション	設定内容
Built-In Device Options (内蔵デバイス オプション)	<ul style="list-style-type: none"> ● [Wireless Button State] (無線ボタン状態) を有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています) ● [Embedded WWAN Device Radio] (内蔵無線 LAN デバイスの無線) を有効/無効にします (一部のモデルのみ。初期設定で有効に設定されています) ● [Embedded Bluetooth device radio] (内蔵 Bluetooth デバイスの無線) を有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています) ● [Network Interface Controller (LAN)] (ネットワーク インタフェース コントローラ (LAN)) を有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています) ● [LAN/WLAN Switching] (LAN/無線 LAN の切り替え) を有効/無効にします (初期設定で無効に設定されています) ● [Wake on LAN] (ウェイク オン LAN) の状態を設定します。以下のオプションがあります <ul style="list-style-type: none"> ○ Disabled (無効) ○ Boot to Network (ネットワークからのブート) ○ Follow Boot Order (ブート順序に従う) ● 周辺光センサーを有効/無効にします ● [Notebook Upgrade Bay] (コンピューター本体のアップグレード ベイ) のデバイスを有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています) ● [Fingerprint Device] (指紋認証デバイス) を有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています) ● 内蔵カメラを有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています) ● [Power Monitor Circuit] (電源モニタ回路) を有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています) ● オーディオ デバイスを有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています) ● [Modem Device] (モデム デバイス) を有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています) ● マイクを有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています) ● 内蔵スピーカーを有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています)

オプション	設定内容
Port Options (ポート オプション)	<p>注記： すべてのポート オプションが初期設定で有効に設定されています</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [Serial Port] (シリアル ポート) を有効/無効にします ● [Parallel Port] (パラレル ポート) を有効/無効にします ● [Flash Media Reader] (フラッシュ メディア リーダー) を有効/無効にします ● [USB Port] (USB ポート) を有効/無効にします <p>注意： [USB Port]を無効にすると、アドバンスト ポート リプリケータのマルチベイ デバイスおよび ExpressCard デバイスも無効になります</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [1394 Port] (1394 ポート) を有効/無効にします ● [ExpressCard Slot] (ExpressCard スロット) を有効/無効にします ● [Smart Card Slot] (スマート カード スロット) を有効/無効にします ● [eSATA Port] (eSATA ポート) を有効/無効にします
AMT Options (AMT オプション)	<ul style="list-style-type: none"> ● [Firmware Verbosity] (ファームウェアの詳細) を有効/無効にします ● [AMT Setup Prompt (Ctrl-P)] (AMT セットアップのプロンプト (Ctrl-P)) を有効/無効にします ● [USB Key Provisioning Support] (USB キー プロビジョニング サポート) を有効/無効にします ● [Unconfigure AMT on next boot] (次回ブート時に AMT を設定解除) を有効/無効にします ● [Terminal Emulation Mode] (ターミナル エミュレーション モード) を選択します <ul style="list-style-type: none"> ○ ANSI ○ VT100 ● [Firmware Progress Event Support] (ファームウェア進行イベント サポート) を有効/無効にします ● [Initiate Intel CIRA] (インテル CIRA の実行) を有効/無効にします
Set Security Level (セキュリティ レベルの設定)	すべての BIOS メニュー項目のセキュリティ レベルを変更するか、表示または非表示にします
Restore Security Defaults (セキュリティ初期設定の復元)	セキュリティの初期設定を復元します

14 マルチブート

ブート デバイスの順序について

お使いのコンピューターを起動するとき、システムは有効なブート デバイスからブートします。マルチブート ユーティリティ（初期設定の状態でも有効に設定されています）を使用すると、コンピューターの起動時にデバイスを選択する順序を制御できます。ブート デバイスには、オプティカルドライブ、フロッピーディスク ドライブ、ネットワーク インターフェイス カード（NIC）、ハードドライブ、USB ドライブなどを含めることができます。ブート デバイスには、コンピューターの起動や適切な動作に必要な、ブート可能なメディアやファイルが含まれます。

 **注記：** 一部のブート デバイスは、ブート順序に含める前に[**Computer Setup**]で有効に設定しておく必要があります。

工場出荷時の設定では、コンピューターは、有効なブート デバイスおよびドライブ ベイを以下のような順序で検索してブート デバイスを選択します。

 **注記：** ブート デバイスおよびドライブ ベイの一部は、お使いのコンピューターでサポートされていない場合があります。

- コンピューター本体のマルチベイ
- 内蔵ハードドライブ
- USB フロッピーディスク ドライブ
- USB CD-ROM
- USB ハードドライブ
- ノートブック Ethernet（イーサネット）
- SD（Secure Digital）メモリーカード
- ドッキング ステーションのマルチベイ
- 外付け SATA ドライブ

[**Computer Setup**]でブート順序を変更すれば、ブート デバイスの検索順序を変更できます。コンピューターの起動または再起動時に、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]メッセージが表示されている間に **esc** キーを押してから、**f9** キーを押して変更することもできます。**f9** キーを押すと、現在のブート デバイスを示すメニューが表示され、ブート デバイスの選択が可能になります。または、MultiBoot Express を使用すれば、コンピューターを起動または再起動するたびにブートの場所を確認する画面が表示されるように設定することもできます。

マルチブートが無効になっている場合は、A ドライブのブート デバイスを最初に検索するように設定されている固定ブート順序が使用されます。見つからない場合は、C ドライブのブート デバイスが検

索されます。Aドライブのブート デバイスは、オプティカル ドライブやフロッピー ディスク ドライブです。Cドライブのブート デバイスは、オプティカル ドライブやハードドライブです。

NICにドライブ文字は割り当てられません。

 **注記：** ブート CD の形式に応じて、オプティカル ドライブ（CD-ROM ドライブなど）はドライブ A またはドライブ C のどちらかとしてブートできます。

以下に、マルチブートが無効の場合に初期設定でドライブ名 A または C が割り当てられるブート順序の一覧を示します。（実際の順序は、コンフィギュレーションによって異なります。）

- Aドライブのブート デバイスのブート順序は以下のとおりです。
 1. Aドライブとして作成されたディスクが挿入されている、別売のドッキング デバイスまたは別売の外付けマルチベイ内のオプティカル ドライブ
 2. Aドライブとして作成されたディスクが挿入されている、内蔵マルチベイ内のオプティカル ドライブ（一部のモデルのみ）
 3. 別売のドッキング デバイスまたは別売の外付けマルチベイ内のフロッピーディスク ドライブ
- Cドライブのブート デバイスのブート順序は以下のとおりです。
 1. Cドライブとして作成されたディスクが挿入されている、別売のドッキング デバイスまたは別売の外付けマルチベイ内のオプティカル ドライブ
 2. Cドライブとして作成されたディスクが挿入されている、内蔵マルチベイ内のオプティカル ドライブ（一部のモデルのみ）
 3. コンピューターのハードドライブ ベイ内のハードドライブ
 4. 別売のドッキング デバイスまたは別売の外付けマルチベイ内のハードドライブ

 **注記：** NIC にはドライブ文字が関連付けられていないので、NIC のブート順序を変更しても他のデバイスのドライブ文字に影響はありません。

[Computer Setup]でのブート デバイスの有効化

USB デバイスまたは NIC デバイスからブートするには、あらかじめ[Computer Setup]でデバイスを有効にしておく必要があります。

[Computer Setup]を開始し、USB デバイスまたは NIC デバイスをブート デバイスとして有効にするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. USB ドライブ内または別売のドッキング デバイス（一部のモデルのみ）に取り付けられたドライブ内のブート可能なメディアを有効にするには、ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して **[System Configuration]**（システム コンフィギュレーション）→ **[Device Configurations]**（デバイス構成）の順に選択します。 **[USB legacy support]**（USB レガシー サポート）の横にある **[Enabled]**（有効）が選択されていることを確認します。

 **注記：** USB レガシー サポートを使用するには、USB ポートのオプションを有効にする必要があります。出荷時の設定では、有効になっています。USB ポートが無効になっている場合は、**[System Configuration]**→**[Port Options]**（ポート オプション）の順に選択して、**[USB Port]**（USB ポート）の横にある **[Enabled]** をクリックして、再び有効にします。

または

NIC デバイスを有効にするには、**[System Configuration]**→**[Boot Options]**（ブート オプション）の順に選択し、**[PXE Internal NIC boot]**（PXE 内蔵 NIC ブート）の横にある **[Enabled]** をクリックします。

4. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、画面の左下隅にある **[Save]**（保存）をクリックしてから画面に表示される説明に沿って操作します。

または

矢印キーを使用して **[File]**（ファイル）→ **[Save changes and exit]**（変更を保存して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

 **注記：** マルチブートを使用しないで NIC を Preboot eXecution Environment (PXE) サーバーまたは Remote Program Load (RPL) サーバーに接続するには、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]メッセージが表示されている間に **esc** キーを押し、次にすばやく **f12** キーを押します。

ブート順序の変更に関する注意

ブート順序を変更する場合には、以下の点を考慮してください。

- ブート順序を変更した後でコンピューターを再起動すると、コンピューターは新しいブート順序で起動されます。
- 複数の種類のブート デバイスがある場合、オプティカル デバイスを除く同じ種類の最初のデバイスを使用してブートされます。たとえば、ハードドライブが取り付けられている別売のドッキング デバイス（一部のモデルのみ）がコンピューターに接続されている場合、このハードドライブは「USB ハードドライブ」としてブート順序に表示されます。システムが USB ハードドライブからブートできない場合は、ハードドライブ ベイのハードドライブからはブートされません。代わりに、ブート順序内で 2 番目の種類のデバイスからブートされます。ただし、オプティカル デバイスが 2 つあり、メディアが挿入されていないかブート ディスクでないために最初のオプティカル デバイスからブートされない場合は、2 番目のオプティカル デバイスからブートされます。
- ブート順序を変更すると、論理ドライブ名も変更されます。たとえば、C ドライブとして作成されたディスクが挿入されている CD-ROM ドライブから起動する場合、この CD-ROM ドライブが C ドライブになり、ハードドライブ ベイ内のハードドライブが D ドライブになります。
- [Computer Setup]の[Built-In Device Options]（内蔵デバイス オプション）メニューで NIC デバイスが有効に設定されている場合にのみ、NIC からコンピューターをブートできます。NIC からブートしても、論理ドライブの指定には影響しません。NIC にドライブ名が関連付けられていないためです。
- 別売のドッキング デバイス（一部のモデルのみ）内のドライブのブート順序は、外付け USB デバイスと同様に扱われます。

マルチブート設定の選択

マルチブートを使用すると、以下のことが可能になります。

- [Computer Setup]でブート順序を変更することで、コンピューターを起動するたびに使用されるブート順序を新しく設定します。
- ブート デバイスを動的に選択するには、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押し、次に **f9** キーを押して、ブート デバイスのオプション メニューに入ります。
- MultiBoot Express を使用して可変ブート順序を使用する、この機能によって、コンピューターの起動または再起動のたびにブート デバイスの確認メッセージが表示されます。

[Computer Setup]での新しいブート順序の設定

[Computer Setup]を開始し、コンピューターを起動または再起動するたびに、使用されるブート デバイスの順序を設定するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して[**System Configuration**] (システム コンフィギュレーション) → [**Boot Options**] (ブート オプション) → [**Boot Order**] (ブート順序)の順に選択します。[**MultiBoot**] (マルチ ブート)の横にある[**Enabled**] (有効)が選択されていることを確認します。

 **注記：** マルチ ブートは、出荷時の設定で無効になっています。

4. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して一覧からデバイスを選択します。
5. デバイスのブート順序を上げるには、ポインティング デバイスを使用してプラス記号 (+) をクリックするか、**+** キーを押します。

または

デバイスのブート順序を下げるには、ポインティング デバイスを使用してマイナス記号 (-) をクリックするか、**-** キーを押します。

6. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、画面の左下隅にある[**Save**] (保存) をクリックしてから画面に表示される説明に沿って操作します。

または

矢印キーを使用して[**File**] (ファイル) → [**Save changes and exit**] (変更を保存して終了)の順に選択し、**enter** キーを押します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

f9 キーの画面を使用したブート デバイスの動的な選択

現在の起動でブート デバイスを動的に選択するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるか再起動し、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]メッセージが表示されている間に **esc** キーを押して、[Select Boot Device] (ブート デバイスの選択) メニューを開きます。
2. **f9** キーを押します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用してブート デバイスを選択し、**enter** キーを押します。

変更はすぐに有効になります。

MultiBoot Express プロンプトの設定

[Computer Setup]を開始し、コンピューターを起動または再起動するたびにマルチブートの起動場所を指定するメニューが表示されるように設定するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して[**System Configuration**] (システム コンフィギュレーション) → [**Boot Options**] (ブート オプション) の順に選択し、**enter** キーを押します。
4. [**Express Boot Popup Delay (Sec)**] (高速ブート ポップアップ遅延 (秒)) フィールドで、現在のマルチブート設定が使用される前に起動場所メニューが表示される時間を秒単位で入力します (0 を選択すると、Express Boot 起動場所メニューは表示されません)。
5. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、画面の左下隅にある[**Save**] (保存) をクリックしてから画面に表示される説明に沿って操作します。

または

矢印キーを使用して[**File**] (ファイル) → [**Save changes and exit**] (変更を保存して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

MultiBoot Express 設定の入力

起動時に[**Express Boot**] (高速ブート) メニューが表示された場合は、以下の操作を行います。

- [Express Boot]メニューからブート デバイスを指定するには、割り当て時間内に目的のデバイスを選択し、**enter** キーを押します。
- 現在のマルチブート設定が使用されないようにするには、割り当て時間が終わる前に、**enter** キー以外の任意のキーを押します。ブート デバイスを選択して **enter** キーを押すまで、コンピューターは起動しません。
- 現在のマルチブート設定を使用してコンピューターを起動するには、割り当て時間が終わるまで何も操作を行わずに待ちます。

15 管理および印刷

[Client Management Solutions]の使用

[Client Management Solutions]ソフトウェアは、ネットワーク環境にあるデスクトップ コンピューター、ワークステーション、ノートブック コンピューター、およびタブレット PC の管理の分野で、業界標準仕様のソリューションを提供しています。

Client Management の主要な機能と特長は以下のとおりです。

- 初期のソフトウェア イメージの展開
- リモートでのシステム ソフトウェアのインストール
- ソフトウェアの管理およびアップデート
- ROM の更新
- コンピューターの資産情報の管理機能およびセキュリティ機能（コンピューターの資産とは、取り付けられているハードウェアやインストールされているソフトウェアのことです）
- 一部のシステム ソフトウェアおよびハードウェア コンポーネントの障害通知および復旧機能

 **注記：** この章で説明される機能のサポートは、コンピューターの種類やインストールされている管理ソフトウェアのバージョンによって異なることがあります。

ソフトウェア イメージの設定および展開

お使いのコンピューターには、システム ソフトウェア イメージがプリインストールされています。出荷時のソフトウェア イメージは、コンピューターの初回のセットアップ時に設定されます。ソフトウェアの「展開」が行われた後、コンピューターは使用可能な状態になります。

以下のどれかの方法で、カスタマイズされたソフトウェア イメージを展開（配布）できます。

- プリインストールされたソフトウェア イメージを展開した後、追加するアプリケーションをインストールする
- [Altiris Deployment Solutions]などのソフトウェアの導入用ツールを使用して、プリインストール ソフトウェアをカスタマイズされたソフトウェア イメージに置き換えて使用する
- ディスク複製手順を使用して、ハードドライブの内容を別のハードドライブにコピーする

最適なコンピューター環境の構築方法は、所属する企業の情報技術システム インフラや作業内容によって異なります。

 **注記：** [Computer Setup]およびその他のシステム機能によって、コンフィギュレーション マネジメント機能、トラブルシューティング、電源管理、およびシステム ソフトウェアの復元を利用できます。

ソフトウェアの管理およびアップデート

HP では、クライアント コンピューター上のソフトウェアの管理およびアップデートを行うための以下のツールを提供しています。

- HP Client Manager for Altiris (一部のモデルのみ)

 **注記：** [HP Client Manager for Altiris]をダウンロードする場合、または[HP Client Manager for Altiris]の詳細を参照する場合は、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/> (英語サイト) にアクセスしてください。

- HP CCM (HP Client Configuration Manager) (一部のモデルのみ)
- HP SSM (HP System Software Manager)

HP Client Manager for Altiris (一部のモデルのみ)

[HP Client Manager for Altiris]は Altiris ソフトウェアに HP のインテリジェント マネジメント機能を統合します。[HP Client Manager for Altiris]は、HP のデバイスに以下のような優れたハードウェア管理機能を提供します。

- 資産管理用のハードウェア インベントリの詳細表示
- システムの状態検査の監視および診断
- 温度異常やメモリ異常の警告など、ビジネスに重大な影響を及ぼす可能性がある事象に関する、Web サイトを利用したレポート
- システム ソフトウェア (デバイス ドライバーやシステム BIOS など) のリモート アップデート

 **注記：** [HP Client Manager for Altiris]を別売の Altiris ソリューション ソフトウェアとともに使用すると、さらに機能が追加されます。

クライアント コンピューターにインストールされている[HP Client Manager for Altiris]を、管理用コンピューターにインストールされている Altiris ソリューション ソフトウェアとともに使用すると、以下の IT ライフサイクル分野において、管理機能が向上し、HP クライアント デバイスのハードウェアの中央管理機能が提供されます。

- インベントリおよび資産管理
 - ソフトウェア ライセンスの準拠
 - コンピューターの管理および報告
 - コンピューターのリース契約情報および固定資産の管理
- システム ソフトウェアの展開および移行
 - Windows への移行
 - システムの展開
 - 個人設定の移行

- ヘルプ デスクおよび問題解決
 - ヘルプ デスク チケットの管理
 - リモートでのトラブルシューティング
 - リモートでの問題解決
 - クライアントでの問題修復
- ソフトウェアおよび操作の管理
 - クライアント管理の実行
 - HP システム ソフトウェアの展開
 - アプリケーションの自己修復（アプリケーションの一部の問題を検出し、修復する機能）

Altiris ソリューション ソフトウェアには、使いやすいソフトウェア配布機能も含まれています。[HP Client Manager for Altiris]によって Altiris ソリューション ソフトウェアとの通信が可能になります。Altiris ソリューション ソフトウェアを使用すると、簡単なウィザードに沿って、新しいハードウェアの展開や新しいオペレーティング システムへの個人設定の移行を完了できます。[HP Client Manager for Altiris]は HP の Web サイトからダウンロードできます。

Altiris ソリューション ソフトウェアを[HP System Software Manager]または[HP Client Manager for Altiris]と組み合わせて使用すると、管理者はシステム BIOS およびデバイス ドライバーのソフトウェアを中央管理コンソールからアップデートすることもできます。

HP CCM (HP Client Configuration Manager) (一部のモデルのみ)

HP CCM を使用して、オペレーティング システム、プログラム、ソフトウェアの更新、コンテンツ、および構成設定などのソフトウェアの管理を自動化することで、それぞれのコンピューターが正しい構成で管理されます。こうした自動化された管理方法によって、常にソフトウェアを管理できます。

HP CCM を使用すると、以下のタスクを実行できます。

- 複数のプラットフォームにわたってハードウェアおよびソフトウェア インベントリを収集する
- 配布の前にソフトウェア パッケージを準備し、影響を分析する
- ポリシーに従い、個々のコンピューター、ワークグループ、またはコンピューターのグループ全体を対象にして、ソフトウェアとコンテンツの展開およびメンテナンスを行う
- 分散したコンピューター上にあるオペレーティング システム、アプリケーション、およびコンテンツを任意の場所からプロビジョニングして管理する
- HP CCM をヘルプ デスクやその他のシステム管理ツールと統合することによって、継続的な運用を実現する
- 利用しているすべての企業内ユーザーのために、あらゆるネットワーク上にある標準的なコンピューター機器のソフトウェアおよびコンテンツを管理するため、共通インフラを活用する
- 企業ニーズを満たすように規模を変更する

HP SSM (HP System Software Manager)

HP SSM を使用すると、複数のシステムにおいてシステム レベルのソフトウェアをリモートで同時に更新できます。クライアント コンピューター上で HP SSM を実行すると、HP SSM はハードウェアおよびソフトウェアのバージョンを検出し、検証済みのファイル サーバーから指定されたソフトウェアを更新します。HP SSM でサポートされるドライバーのバージョンは、HP のドライバーのダウンロード サイトおよび『Support Software』（サポート ソフトウェア）CD に、独自のアイコンで示されています。SSM ユーティリティのダウンロードまたは HP SSM については、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/go/ssm/>（英語サイト）を参照してください。

Intel Active Management Technology (iAMT : インテル アクティブ・マネジメント・テクノロジー) の使用 (一部のモデルのみ)

Intel Active Management Technology (iAMT : インテル アクティブ・マネジメント・テクノロジー) を使用すると、ネットワーク接続されたコンピューティング資産を検出、修復、および保護できます。iAMT では、電源のオンの状態でもオフの状態でも、コンピューターを管理できます。iAMT ソリューションは、vPro モバイル テクノロジー インテル Centrino® を搭載しているコンピューターで利用できます。

iAMT には、以下の機能があります。

- ハードウェア インベントリ情報
- イベント通知
- 電源の管理
- リモートでの診断および修復
- ハードウェア ベースの隔離および修復 (ウィルスのような動作が検出された場合に、コンピューター ネットワークへのアクセスを制限または切断)

iAMT ソリューションの有効化

iAMT の設定を行うには、以下の操作を行います。

 **注記 :** `ctrl + p` プロンプトは、セットアップ ユーティリティで [AMT Setup Prompt] (AMT セットアップのプロンプト) が有効になっている場合にのみ表示されます。

1. コンピューターの電源を入れるか、再起動します。
2. Windows が起動する前に、`ctrl + p` キーを押します。

 **注記 :** 適切なタイミングで `ctrl + p` キーを押さなかった場合は、MEBx セットアップ ユーティリティにアクセスするために、手順 1 と 2 の操作をもう一度行う必要があります。

3. ME パスワードを入力します。パスワードの工場出荷時の設定は、[admin] です。
MEBx セットアップ ユーティリティが起動します。矢印キーを使用して操作します。
4. インテル ME の設定、iAMT の設定、またはインテル ME パスワードの変更を選択します。
5. 必要な選択が完了したら、[Exit] (終了) を選択して MEBx セットアップ ユーティリティを閉じます。

MEBx セットアップ ユーティリティ メニューの使用

 **注記 :** iAMT について詳しくは、インテル社の Web サイト <http://www.intel.com/jp/> にアクセスし、「iAMT」で検索してください。

インテル ME の構成

選択	設定内容
Intel ME State Control (インテル ME の状態制御)	管理エンジンを有効/無効にします

選択	設定内容
Intel ME Firmware Local Update (インテル ME ファームウェアのローカルでの更新)	ファームウェア更新のローカルでの管理を有効/無効にします
LAN Controller (LAN コントローラ)	内蔵ネットワーク コントローラを有効/無効にします
Intel ME Features Control (インテル ME の機能制御)	AMT を有効にするか、両方を無効にします
Intel ME Power Control (インテル ME の電源制御)	管理エンジンの電源ポリシーを設定します

iAMT の設定

選択	設定内容
Host Name (ホスト名)	コンピューターにホスト名を割り当てます
TCP/IP	ネットワーク インターフェイスまたは DHCP を有効/無効にしたり (DHCP が無効になっている場合は IP アドレスを割り当てます)、ドメイン名を変更したりできます
Provision Model (プロビジョニング モデル)	Enterprise (大企業) または Small Business (中小・中堅企業) iAMT モデルを割り当てます
Setup and Configuration (セットアップとコンフィギュレーション)	AMT のリモート構成を制御するためのオプションを設定します
Un-Provision (プロビジョニングの解除)	AMT 構成を初期設定の状態に戻すことができます
SOL/IDE-R	IDE フロッピーディスクまたは CD-ROM に対するリモートブート制御を有効にし、ユーザー名およびパスワードを割り当てます
Password Policy (パスワード ポリシー)	ネットワーク パスワードおよび MEBx パスワードの要件を制御するためのオプションを設定します
Secure Firmware Update (安全なファームウェア更新)	リモートでのファームウェアの更新を有効/無効にします
Set PRTC (PRTC の設定)	リアルタイム クロックを設定します
Idle Timeout (アイドル タイムアウト)	アイドル タイムアウトの値を設定します

Intel ME パスワードの変更

選択	設定内容
Change ME Password (インテル ME パスワードの変更)	ME パスワードを変更します

注記: 初期設定のパスワードは[admin]です

HP ユニバーサル プリンター ドライバーの使用（一部のモデルのみ）

Windows 用 HP ユニバーサル プリンター ドライバーは単一のインテリジェント ドライバーであり、HP のネットワーク プリンター用の各ドライバーと置き換わるものです。

 **注記：** HP ユニバーサル プリンター ドライバーは一部のモデルのコンピューターにのみプリインストールされています。HP ユニバーサル プリンター ドライバーのダウンロードまたはその使用方法について詳しくは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/go/universalprintdriver/>（英語サイト）を参照するか、<http://www.hp.com/jp/>にアクセスしてお使いのコンピューター用のサービスおよびサポート情報から、お使いの製品の名称を入力してプリンター ドライバーを検索してください。

HP ユニバーサル プリンター ドライバーを使用して印刷するには、以下の操作を行います。

1. 使用しているアプリケーションで、[ファイル]→[印刷]の順に選択します。
2. プリンターの一覧から[HP Universal Printing PS]を選択します。
3. [印刷]をクリックします。
4. プリンターの IP アドレスまたはネットワーク パスを入力します。

 **注記：** プリンターの IP アドレスまたはネットワーク パスが特定できない場合には、システム管理者に問い合わせてください。

5. [このプリンターを[プリンターと FAX]フォルダーに追加]チェック ボックスにチェックを入れます。
6. [印刷]をクリックします。

索引

□□/□□

- 1394 ケーブル、接続 102
- 1394 コネクタ
 - 位置 10
- 1394 デバイス
 - 接続 102
 - 停止 102

A

- Active Management Technology, Intel 175
- AC アダプター
 - 確認 14
 - 接続 73
- Altiris Deployment Solutions 170
- AMT オプション
 - AMT Setup Prompt (Ctrl-P) (AMT セットアップのプロンプト (Ctrl-P)) 163
 - Firmware Progress Event Support (ファームウェア進捗イベント サポート) 163
 - Firmware Verbosity (ファームウェア詳細出力) 163
 - Initiate Intel CIRA (インテル CIRA の実行) 163
 - Terminal Emulation Mode (ターミナル エミュレーション モード) 163
 - Unconfigure AMT on next boot (次回ブート時に AMT を構成解除) 163
 - USB Key Provisioning Support (USB キー プロビジョニング サポート) 163
- Anti Theft (盗難防止) 157

B

- BD
 - コピー 58
 - 再生 56
 - 作成 58
 - 取り出し 59, 60
 - BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) 157
 - BIOS アップデート
 - インストール 143
 - ダウンロード 143
 - Bluetooth
 - デバイス 16, 26
 - ラベル 15
 - Built-In Device Options (内蔵デバイス オプション) 162
- ## C
- Caps Lock ランプ、位置 4
 - CD
 - 書き込み 48
 - コピー 58
 - 再生 56
 - 作成 58
 - ドライブ 106
 - 取り出し 59, 60
 - 保護 48
 - Certificate of Authenticity ラベル 14
 - Computer Setup
 - BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) 125
 - DriveLock パスワード 127
 - [File] (ファイル) メニュー 156
 - MultiBoot Express プロンプトの設定 169

- [Security] (セキュリティ) メニュー 157
- [System Configuration] (システム コンフィギュレーション) メニュー 158
- 移動および選択 154
- 工場出荷時設定の復元 155
- デバイス セキュリティ 133
- ブート可能デバイスの有効化 166
- ブート順序の設定 168

D

- Device Configurations (デバイス構成) 159
- Disk Sanitizer (ディスク クリーナー) 158
- DisplayPort、位置 9
- DriveLock Passwords (DriveLock パスワード) 158
- DriveLock、自動 158
- DriveLock パスワード
 - 設定 128
 - 説明 127
 - 入力 129
 - 変更 130
- DVD
 - 書き込み 48
 - コピー 58
 - 再生 56
 - 作成 58
 - 地域設定 57
 - 地域設定の変更 57
 - ドライブ 106
 - 取り出し 59, 60
 - 保護 48

E

- eSATA ケーブル、接続 104

eSATA コネクタ、位置 9
eSATA デバイス
 接続 104
 説明 104
 停止 104
 取り外し 104
esc キー、位置 7
ExpressCard
 設定 110
 挿入 110
 停止 111
 取り出し 111
 保護用カードの取り出し 110
ExpressCard スロット、位置 10

F
f11 リカバリ 152
[File] (ファイル) メニュー 156
fn キー
 位置 7

H
HDMI 39
HP 3D DriveGuard 89
HP Client Configuration
 Manager 171, 173
HP Client Manager for
 Altiris 171
[HP Connection Manager] アイ
 コン 17
[HP Connection Manager] ソフト
 ウェア 19
HP Quick Launch Buttons
 コントロール パネル 41
HP QuickLook 161
HP SpareKey Enrollment ([HP
 SpareKey] の登録) 157
HP System Software
 Manager 171, 174
[HP Wireless Assistant] ソフトウ
 ェア 17, 18
HP モバイル ブロードバンド モ
 ジュール 23
HP ユニバーサル プリンター ドラ
 イバー、使用 177

I
IEEE 1394 コネクタ
 位置 10

J
Java Card
 挿入 112
 定義 112
 取り出し 112

L
Language (言語)、[Computer
 Setup] での変更 158
LAN、接続 35
LAN への接続 35

M
McAfee Total Protection 135,
 136
Microsoft Certificate of
 Authenticity ラベル 14
MultiBoot Express 164, 169

N
NIC ブート デバイス 164, 166
Num Lock、外付けテンキー 44
Num Lock ランプ、位置 4

P
[Parallel Port Mode] (パラレル
 ポート モード) 160
Port Options (ポート オプション)
 [1394 Port] (1394 ポー
 ト) 163
 [eSATA Port] (eSATA ポー
 ト) 163
 [ExpressCard slot]
 (Expression Card スロッ
 ト) 163
 [Flash Media Reader] (フラッ
 シュ メディア リー
 ダー) 163
 [Parallel Port] (パラレル ポー
 ト) 163
 [Serial Port] (シリアル ポー
 ト) 163
 [Smart Card Slot] (スマート
 カード スロット) 163
 [USB Port] (USB ポー
 ト) 163
PXE サーバー 166

Q
QuickLook ボタン
 位置 5
QuickLook ランプ、位置 3
QuickWeb ボタン
 位置 6
QuickWeb ランプ、位置 3

R
Restore Security Defaults (セキュ
 リティ初期設定の復元) 163
RJ-11 (モデム) コネクタ、位
 置 9
RJ-45 (ネットワーク) コネクタ、
 位置 9

S
SATA (Serial Advanced
 Technology Attachment) デバイ
 ス
 AHCI (Advanced Host
 Controller Interface) 160
 IDE (Integrated Drive
 Electronics) 160
[Security] (セキュリティ) メ
 ニュー
 Always Prompt for HP
 SpareKey Enrollment ([HP
 SpareKey] への登録の確認を常
 に表示) 157
 Automatic DriveLock (自動
 DriveLock) 158
 Change Password (パスワード
 の変更) 157
 Disk Sanitizer (ディスク ク
 リーナー) 158
 DriveLock 158
 FP リセット 157
 HP SpareKey Enrollment
 ([HP SpareKey] の登
 録) 157
 HP SpareKey (HP スペア
 キー) 157
 Setup BIOS Administrator
 Password (BIOS 管理者パス
 ワードの設定) 157
 System IDs (システム
 ID) 158
 パスワード ポリシー 157

- Set Security Level (セキュリティレベルの設定) 163
- SIM
 - 挿入 23
 - 取り出し 24
- SoftPaq、ダウンロード 145, 146
- [System Configuration] (システムコンフィギュレーション) メニュー 158
- System Diagnostics (システム診断) 156
- System IDs (システムID) 158
- T**
- TPM 内蔵セキュリティ 158
- TXT (インテル トラストッド・エグゼキューション・テクノロジー) 161
- U**
- UEFI mode (UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) モード) 159
- USB ケーブル、接続 100
- USB コネクタ
 - 位置 9
 - 確認 100
- USB デバイス
 - 接続 100
 - 説明 100
 - 停止 101
 - 取り外し 101
- USB ハブ 100
- USB レガシー サポート 101, 154, 159
- W**
- Web カメラ
 - 位置 12
 - 使用 66
 - 使用上の注意 66
 - プロパティ、調整 67
 - 名刺の取り込み 67
- Web カメラ ランプ、位置 12
- Web サイト
 - AMT に関するインテル Pro テクノロジー 175
 - HP System Software Manager 174
- HP ユニバーサル プリンター ドライバー 177
- インテル Centrino Pro 175
- Windows 7 オペレーティング システム DVD 153
- Windows アプリケーション キー、位置 7
- Windows ロゴ キー、位置 7
-
- アイコン
 - HP Connection Manager 17
 - ネットワーク 28
 - ネットワーク ステータス 17
 - 無線 17
- アップグレード ベイ
 - 位置 9
 - オプティカル ドライブの交換 97
 - ハードドライブの交換 94
- アップデート、ソフトウェア 171
- アプリケーション キー、Windows 7
- 暗号化 21
- アンテナ
 - 無線 LAN 13
 - 無線 WAN 13
-
- イメージ、コンピューター 170
- インターネット接続のセットアップ 20
- インテル Centrino Pro テクノロジー 175
- インテル HT テクノロジー 161
-
- オーディオ機能
 - 確認 50
- オーディオ出力 (ヘッドフォン) コネクタ
 - 位置 10
- オーディオ デバイス、外付け 50
- オーディオ入力 (マイク) コネクタ
 - 位置 10
- オプティカル ディスク
 - 書き込み 48
- 使用 55
- 取り出し 59
- オプティカル ドライブ
 - 保護 48
- オペレーティング システム
 - Microsoft Certificate of Authenticity ラベル 14
 - プロダクト キー 14
- 温度 83
- 音量上げボタン、位置 6
- 音量上げランプ、位置 4
- 音量下げボタン、位置 6
- 音量下げランプ、位置 4
- 音量、調整 46
- 音量ボタン 46
-
- 書き込み可能メディア 70
- 拡張メモリ モジュール
 - 交換 115
- 拡張メモリモジュール
 - 取り付け 116
 - 取り外し 115
- 確認、オーディオ機能 50
- 各部
 - 前面 7
 - その他のハードウェア 13
 - ディスプレイ 12
 - 背面 10
 - 左側面 9
 - 表面 1
 - 右側面 9
 - 裏面 11
- 仮想化テクノロジー 161
- 各国仕様のモデム ケーブル アダプター 31
- 各国または各地域仕様のモデム ケーブル アダプター、確認 14
- 画面の輝度ホットキー 40
- 画面表示、切り替え 39
- 干渉、最小化 29
- 完全なロー バッテリー状態 78
- 管理者パスワード 124
-
- キー
 - esc 7
 - fn 7
 - Windows アプリケーション 7
 - Windows ロゴ 7

- テンキー 7
- ファンクション 7
- キーボードのネジ
 - 取り外し 119
 - 元に戻す 122
- キーボードのホットキー、位置と名称 36
- キーボード ライト、位置 12
- キーボード ライト ボタン、位置 12
- 企業無線 LAN への接続 21
- 規定情報
 - 規定ラベル 14
 - 無線認定/認証ラベル 15
 - モデム認定/認証ラベル 15
-
- 空港のセキュリティ装置 87
-
- ケーブル
 - 1394 102
 - eSATA 104
 - LAN 35
 - USB 100
 - モデム 30
-
- 交換
 - 拡張メモリ モジュール 115
 - メイン メモリ モジュール 119
- 公共無線 LAN への接続 21
- 工場出荷時の設定に戻す 156
- コード、電源 14
- コネクタ
 - 1394 10, 102
 - DisplayPort 9
 - eSATA 9, 104
 - RJ-11 (モデム) 9
 - RJ-45 (ネットワーク) 9
 - USB 9, 100
 - オーディオ出力 (ヘッドフォン) 10
 - オーディオ入力 (マイク) 10
 - 外付けモニター 10, 52
 - 電源 10
- コンピューター
 - 電源切断 84
- コンピューター情報 142
- コンピューターの持ち運び
 - モデム認定/認証ラベル 15
- コンポジット ビデオ 39
-
- サービス タグ 14
-
- システム情報 156
- システム情報ホットキー 37
- システムの応答停止 84
- システムの日付および時刻 156
- システムのファン 160
- 実行の無効化 160
- 自動 DriveLock パスワード
 - 解除 132
 - 入力 131
- 自動再生 57
- 指紋認証システム、位置 6
- シャットダウン 84
- 周辺光センサー
 - 位置 12
 - ホットキー 40
- 使用、Web カメラ 66
- 使用上の注意、Web カメラ 66
- シリアル番号、コンピューター 14
-
- スーパー マルチ DVD+/-RW 対応ブルーレイ R/RE ドライブ (2 層記録 (DL) 対応) 54
- スーパー マルチ DVD±R 対応ブルーレイ ROM ドライブ (2 層記録 (DL) 対応) 54
- スクロール ゾーン、タッチパッド 2
- スピーカー、位置 8
- スマート カード
 - 挿入 112
 - 定義 112
 - 取り出し 112
- スマート カード リーダー、位置 9
- スリープ
 - 起動 70
 - 終了 70
 - ホットキー 38
- スロット
 - ExpressCard 10
- スマート カード リーダー 9
- セキュリティ ロック ケーブル 9
- 名刺 8
- メモリ 114
-
- 製品名および製品番号、コンピューター 14
- セカンダリ バッテリ高速充電 161
- セキュリティ、無線 20
- セキュリティ ロック ケーブル用スロット
 - 位置 9
- 接続、外部電源 73
- セットアップ、コンピューター 1
- 節約、電源 82
-
- 外付けオーディオ デバイス、接続 50
- 外付けドライブ 106
- 外付けモニター コネクタ
 - 位置 10
- ソフトウェア
 - BIOS アップデート 143
 - HP Connection Manager 19
 - Wireless Assistant 18
 - アップデート 171
 - ディスク クリーンアップ 88
 - ディスク デフラグ 88
 - 展開 170
 - 復元 170
 - プログラムおよびドライバーの更新 145
 - 名刺読み取り 67
-
- タッチパッド
 - 位置 2
 - 使用 36
 - スクロール ゾーン、位置 2
- タッチパッド ボタン、位置 2, 6
- タッチパッド ランプ、位置 4
-
- 地域コード、DVD 57
- 著作権に関する警告 58

- 通気孔、位置 9, 11
- ディスク クリーンアップ ソフトウェア 88
- ディスク デフラグ ソフトウェア 88
- ディスプレイ
 - 画像、切り替え 39
 - 画面の輝度ホットキー 40
- ディスプレイ リリース ボタン、位置 8
- デバイス セキュリティ 133
- デバイス ドライバー
 - HP ドライバー 64
 - Microsoft ドライバー 64
 - 再インストール 64
- デバイス、ブート順序 164
- 展開、ソフトウェア 170
- テンキー、位置 7
- テンキー、外付け
 - Num Lock 44
 - 使用 44
- 電源
 - 接続 73
 - 節約 82
- 電源コード、確認 14
- 電源コネクタ、位置 10
- 電源プラン 72
- 電源ボタン、位置 5
- 電源ランプ
 - 位置 3, 8
- ドッキング コネクタ 107
- ドライブ
 - DVD-ROM 54
 - LightScribe スーパーマルチ DVD±R ドライブ (2 層記録 (DL) 対応) 54
 - オプティカル 106
 - スーパー マルチ DVD+/-RW 対応ブルーレイ R/RE ドライブ (2 層記録 (DL) 対応) 54
 - スーパー マルチ DVD±R 対応ブルーレイ ROM ドライブ (2 層記録 (DL) 対応) 54
 - 外付け 106
 - 取り扱いについて 86
- ハード 91, 92, 106
- ブート順序 159
- フロッピーディスク 106
- ランプ 8, 89
- 「ハードドライブ」、「オプティカルドライブ」も参照
- ドライブ メディア 70
- トラブルシューティング
 - HP デバイス ドライバー 64
 - Microsoft デバイス ドライバー 64
 - オプティカル ディスク トレイ 60
 - オプティカル ドライブ検出 61
 - 自動再生 63
 - 外付けディスプレイ 63
 - ディスクが再生されない場合 62
 - ディスクへの書き込み 63
 - デバイス ドライバー 64
 - 動画再生 63
 - モデム 33
- 電源
 - 内蔵ディスプレイ スイッチ、位置 12
 - 内蔵デバイス
 - Bluetooth デバイスの無線 162
 - LAN/無線 LAN の切り替え 162
 - [Network Interface Controller (LAN)] (ネットワーク インタフェース コントローラ (LAN)) 162
 - Notebook Upgrade Bay (コンピューター本体のアップグレード ベイ) 162
 - [Wake on LAN] (ウェイク オン LAN) 162
 - オーディオ デバイス 162
 - 指紋認証システム 162
 - 周辺光センサー 162
 - 電源モニター回路 162
 - 内蔵カメラ 162
 - 内蔵スピーカー 162
 - マイク 162
 - 無線 LAN デバイスの無線 162
 - 無線ボタン 162
 - モデム 162
- 内蔵マイク、確認 12
- ネットワーク アイコン 28
- ネットワーク キー 28
- ネットワーク ケーブル
 - 接続 35
 - ノイズ抑制コア 35
- ネットワーク サービス ブート 166
- ネットワーク ステータス アイコン 17
- ネットワーク セキュリティ コード
 - SSID 28
 - ネットワーク キー 28
- ノイズ抑制コア
 - ネットワーク ケーブル 35
 - モデム ケーブル 30
- ハードドライブ
 - HP 3D DriveGuard 89
 - 交換 91
 - 外付け 106
 - 取り付け 92
 - 復元 152
- ハードドライブ ベイ 11
- ハイバネーション
 - 開始 71
 - 完全なロー バッテリー状態で開始 78
 - 終了 71
- パスワード
 - BIOS 管理者 125
 - DriveLock 127
 - 管理者 124
 - ユーザー 125
- バックアップおよび復元 148, 149
- バックアップの作成 149
- バッテリー
 - 温度 83
 - 確認 14
 - 交換 83
 - 再充電 82
 - 充電 77, 79
 - 処理 83
 - 節電 82

- 装着 76
- 調整 79
- 取り外し 76
- 保管 83
 - ロー バッテリー状態 78
- バッテリー ゲージの調整 79
- バッテリー残量についての情報を表示する 40
- バッテリー充電、最長化 78
- バッテリー電源 74
- バッテリー ベイ 11, 14
- バッテリー ランプ 8, 77, 78
- バッテリー リリース ラッチ 11, 76
- ハブ 100
-
- ビデオ伝送方式 39
-
- ファイアウォール 21
- ファイルのバックアップ 149
- ファンクション キー
 - 位置 7
- ブート オプション 159
- ブート順序 159
- ブート順序の変更 168
- ブート デバイス、有効化 166
- 復元
 - ハードドライブ 152
 - 復元用パーティション 152
 - ブルーレイ ディスク (BD) 54
 - プロジェクター、接続 52
 - プロダクト キー 14
 - フロッピーディスク ドライブ 106
-
- ベイ
 - ハードドライブ 11
 - バッテリー 14
- ヘッドフォン (オーディオ出力) コネクタ 10
-
- ポインティング スティック
 - 位置 2
 - 使用 36
- ポインティング スティック ボタン、位置 2
- ポインティング デバイス
 - カスタマイズ 36
 - 使用 36
- ボタン
 - Quick Launch 41
 - QuickLook 5, 41
 - QuickWeb 6, 41
 - 音量 6
 - キーボード ライト 12
 - タッチパッド 2, 6
 - ディスプレイ リリース 8
 - 電源 5
 - ポインティング スティック 2
 - ミュート (消音) 6, 46
 - 無線機能 6
- ホットキー
 - 画面輝度を上げる 40
 - 画面を切り替える 39
 - システム情報を表示する 37
 - 周辺光センサー 40
 - 使用 37
 - スリープの開始 38
 - 説明 36
 - バッテリー残量についての情報を表示する 40
-
- マイク (オーディオ入力) コネクタ 10
- マウス、外付け
 - オプションの設定 36
 - 接続 36
- マルチ コア CPU 161
- マルチメディア ソフトウェア
 - アクセス 48
-
- ミュート (消音) ボタン
 - 位置 6
- ミュート ランプ、位置 4
-
- 無線 LAN アンテナ、位置 13
- 無線 LAN デバイス 15, 16, 20
- 無線 LAN のセットアップ 20
- 無線 LAN への接続 21
- 無線 LAN ラベル 15
- 無線 WAN アンテナ、位置 13
- 無線 WAN デバイス 16, 23
- 無線アイコン 17
- 無線アンテナ 12
- 無線コントロール
 - [HP Connection Manager]ソフトウェア 17
 - [HP Wireless Assistant]ソフトウェア 17
- オペレーティング システム 17
- ボタン 17
- 無線デバイス、種類 16
- 無線認定/認証ラベル 15
- 無線ネットワーク (無線 LAN)
 - 企業無線 LAN への接続 21
 - 公共無線 LAN への接続 21
 - 使用 20
 - セキュリティ 20
 - 接続 21
 - 説明 16
 - 動作範囲 22
 - 必要な機器 20
- 無線ボタン
 - 位置 6
- 無線ランプ
 - 位置 3, 8
- 無線ワイド エリア ネットワーク (無線 WAN) 23
-
- 名刺スロット、位置 8
- 名刺読み取りソフトウェア 67
- メイン メモリ モジュール
 - アップグレード 119
 - 交換 119
 - 取り付け 121
 - 取り外し 120
- メディア カード
 - 挿入 108
 - 停止 109
 - 取り出し 109
- メディア カード リーダー、位置 8
- メモリ モジュール コンパートメント カバー
 - 取り付け 117
 - 取り外し 115
- メモリ モジュールの取り付け
 - 拡張 116
 - メイン 121

- メンテナンス
 - ディスク クリーンアップ 88
 - ディスク デフラグ 88
-
- モデム ケーブル
 - 確認 14
 - 各国仕様のケーブル アダプター 31
 - 接続 30
 - ノイズ抑制コア 30
- モデム ケーブル アダプター、確認 14
- モデム ソフトウェア
 - 国外での接続に関する問題 33
 - 所在地の設定および追加 31
- モデム認定/認証ラベル 15
- モニター コネクタ、外付け 10
- モニター、接続 52
-
- ユーザー管理 157
- ユーザー パスワード 125
-
- 読み取り可能メディア 70
-
- ライト
 - キーボード 12
- ラッチ、バッテリー リリース 11
- ラベル
 - Bluetooth 15
 - HP モバイル ブロードバンド モジュール 15
 - Microsoft Certificate of Authenticity 14
 - SIM 15
 - 規定 14
 - サービス タグ 14
 - 無線 LAN 15
 - 無線認定/認証 15
 - モデム認定 15
- ランプ
 - Caps Lock 4
 - Num Lock 4
 - QuickLook 3
 - QuickWeb 3
 - Web カメラ 12
 - 音量上げ 4
- 音量下げ 4
- タッチパッド 4
- 電源 3, 8
- ドライブ 8, 89
- バッテリー 8
- ミュート 4
- 無線 3, 8
- ローカル エリア ネットワーク (LAN) 8
-
- リリース ラッチ、バッテリー 11, 76
-
- レガシー サポート、USB 154, 159
-
- ローカル エリア ネットワーク (LAN)
 - ケーブルの接続 35
 - 必要なケーブル 35
- ロー バッテリー状態 78
- 論理ドライブ名 167

